

飯田市
子ども・子育て支援事業に関する
ニーズ調査結果報告書

令和6年3月
長野県 飯田市

目 次

第1章 調査実施の概要	3
1 調査の目的	3
2 調査の設計	3
3 調査票の配布と回収状況	3
4 報告書の見方について	4
(1) 年齢の定義	4
(2) 電算処理の注意点	4
(3) グラフの見方について	4
5 調査対象者の属性、家族状況	5
(1) 居住地域の状況	5
(2) 就学前児童の属性	6
(3) 小学生の属性	6
(4) 理想の子どもの数について	7
(5) 調査回答者の状況と配偶者の有無	8
6 調査結果からみた課題等	9
第2章 子育て家庭を取り巻く環境	17
1 子育ての環境について	17
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況	17
(2) 子育てに関する相談者の状況	21
2 保護者の就労状況	24
(1) 母親の就労状況	24
(2) 父親の就労状況	30
第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望	37
1 就学前児童の平日の定期的な教育・保育事業の現状と 今後の利用希望 ..	37
(1) 平日の定期的な教育・保育事業	37
(2) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用の理由	41
2 就学前児童の休日の定期的な教育・保育事業の利用希望	47
(1) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望	47
(3) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望	50
3 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ	52
(1) 病気やケガで通常の事業が利用できない時の対処について	52
(2) 病児・病後児の保育施設の利用希望	56
4 不定期の一時保育の利用について	59

(1) 就学前児童が不定期に利用している教育・保育事業の状況	59
(2) 宿泊を伴う一時保育の利用状況	66
5 放課後の過ごし方について	68
(1) 平日の放課後に過ごさせたい場所	68
(2) 土曜日、日曜日、祝日・長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望	77
6 地域の子育て支援事業の状況と今後の利用希望	83
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況	83
(2) 今後の利用意向	85
(3) 子育て支援事業の認知度、利用状況と今後の利用意向について	87
第4章 育児休業制度の利用状況	91
1 育児と仕事の両立支援制度について	91
(1) 両立支援制度の認知状況	91
(2) 育児休業制度の利用状況	92
(3) 職場復帰の状況	94
(4) 短時間勤務制度の利用状況	97
(5) 育児休業取得期間の希望	98
第5章 子育て支援の充実	101
1 子育てについて	101
(1) 子育て中の働き方について	101
(2) 子育てのことについて	102
(3) 子育てに関する悩みや不安	104
(4) 子育て家庭の暮らし向きについて	106
(5) 子育て環境や支援の満足度	109
資料編	113
1 就学前児童保護者の調査票	113
2 小学生保護者の調査票	120

第1章

調査実施の概要



第1章 調査実施の概要

1 調査の目的

本市では「子ども・子育て支援法」に基づき、全ての子どもや子育て家庭が健やかに成長することができる社会の実現を目指して、令和2年3月に「第2期飯田市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、様々な子育て支援事業に取り組んでいます。

令和7年からの第3期（令和7～11年度）計画を策定するにあたり、必要な情報を得るため、子育て家庭のニーズの動向分析等を行い、本市の現状と今後の子ども・子育て支援における課題の整理を目的としたアンケート形式によるニーズ調査を実施しました。

2 調査の設計

調査票は調査対象者別に作成しており、各調査の件数及び調査期間、方法は、以下のとおりです。

■ 調査票の種類と調査対象者及び調査の実施方法

①調査票「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査【就学前児童保護者用】」	
調査対象者	飯田市に居住する就学前児童の保護者から無作為抽出
調査票配布数	2,000人
調査期間	令和6年3月12日～令和6年3月25日
調査方法	郵送配布後、郵送回収又はWeb回答

②調査票「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査【小学生保護者用】」	
調査対象者	飯田市に居住する小学生の保護者から無作為抽出
調査票配布数	2,000人
調査期間	令和6年3月12日～令和6年3月25日
調査方法	郵送配布後、郵送回収又はWeb回答

3 調査票の配布と回収状況

調査によるそれぞれの配布、回収状況は、以下のとおりです。

■ 調査票の配布、回収状況

調査対象者	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
就学前児童の保護者	2,000	695	34.8
小学生の保護者	2,000	742	37.1



4 報告書の見方について

(1) 年齢の定義

就学前児童の年齢は、アンケート調査において誕生日の年月を回答しているため、下表による年齢区分により集計を行いました。

年齢区分	該当する生年月	1号認定の年齢区分	2号3号認定の年齢区分
0歳児	2023年4月以降	0歳児組	0歳児組
1歳児	2022年4月～2023年3月	0歳児組	0歳児組
2歳児	2021年4月～2022年3月	1歳児組	1歳児組
3歳児	2020年4月～2021年3月	2歳児組 3歳になった翌月から年少組	2歳児組
4歳児	2019年4月～2020年3月	年小組	年小組
5歳児	2018年4月～2019年3月	年中組	年中組
6歳児	2017年4月～2018年3月	年長組	年長組

(注) 調査期間【2023年度】における年齢区分

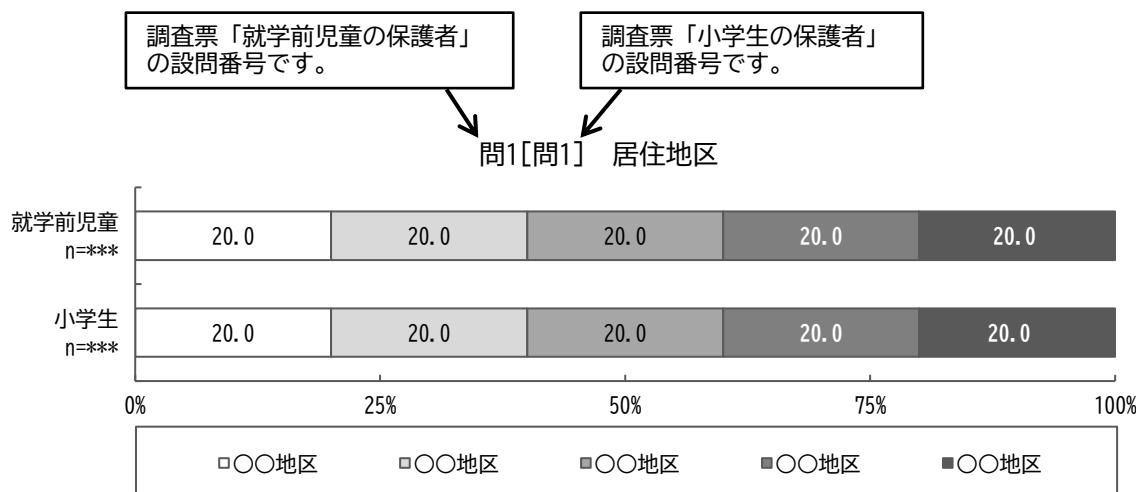
(2) 電算処理の注意点

調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

なお、基底となる実数は「n」として掲載し、各グラフや表の比率は「n」を母数とした割合を示しています。

また、複数回答が可能な設問では、各項目の割合の合計が100%を超える場合があります。

(3) グラフの見方について



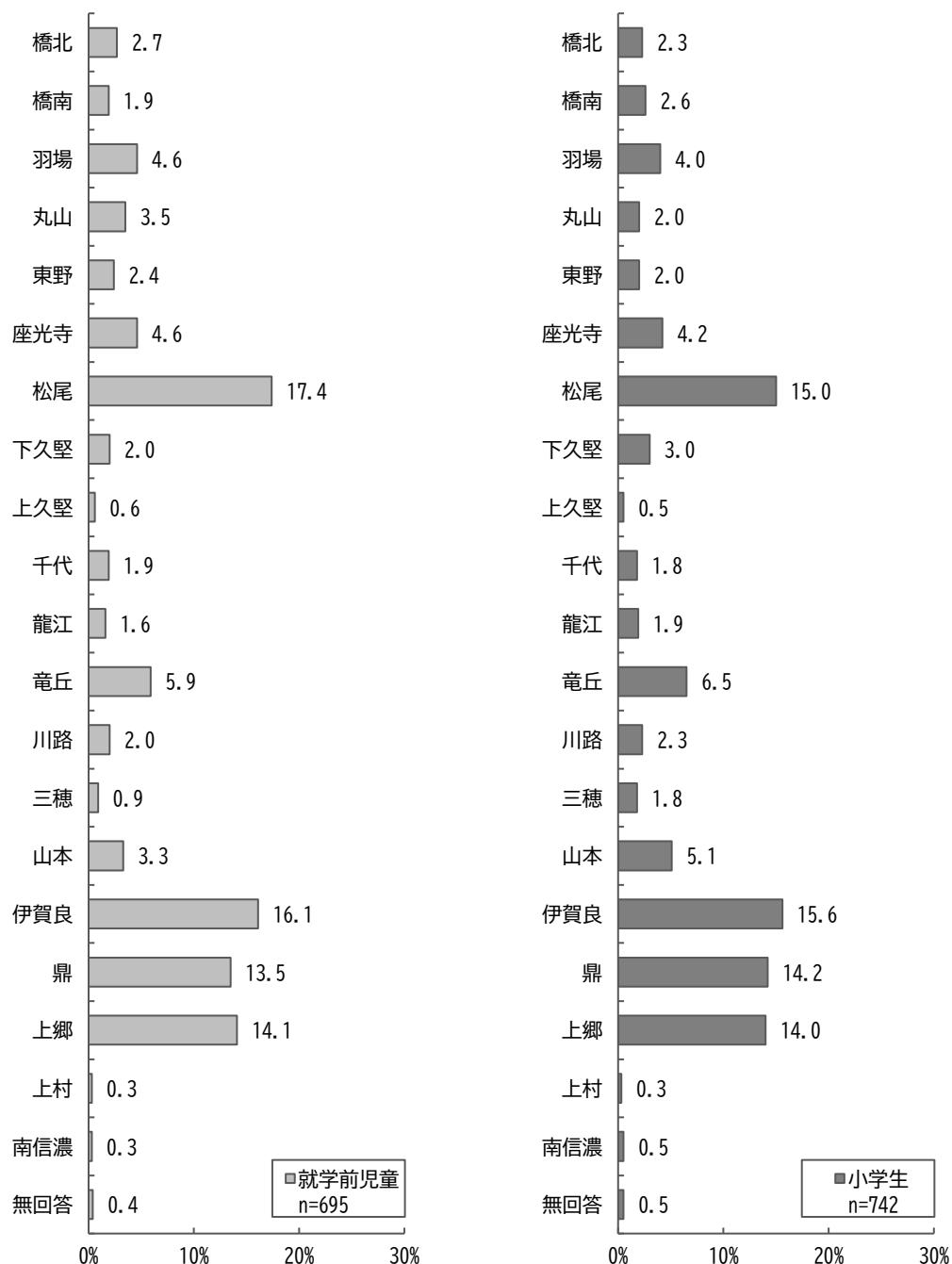


5 調査対象者の属性、家族状況

(1) 居住地域の状況

○回答者が居住する地区は、以下のとおりです。

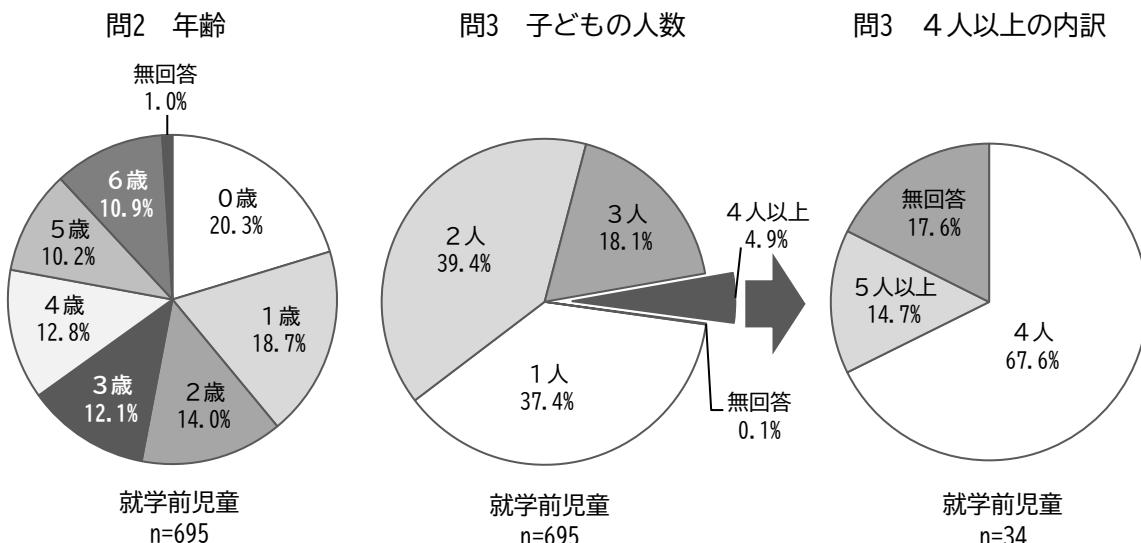
問1[問1] 居住地区





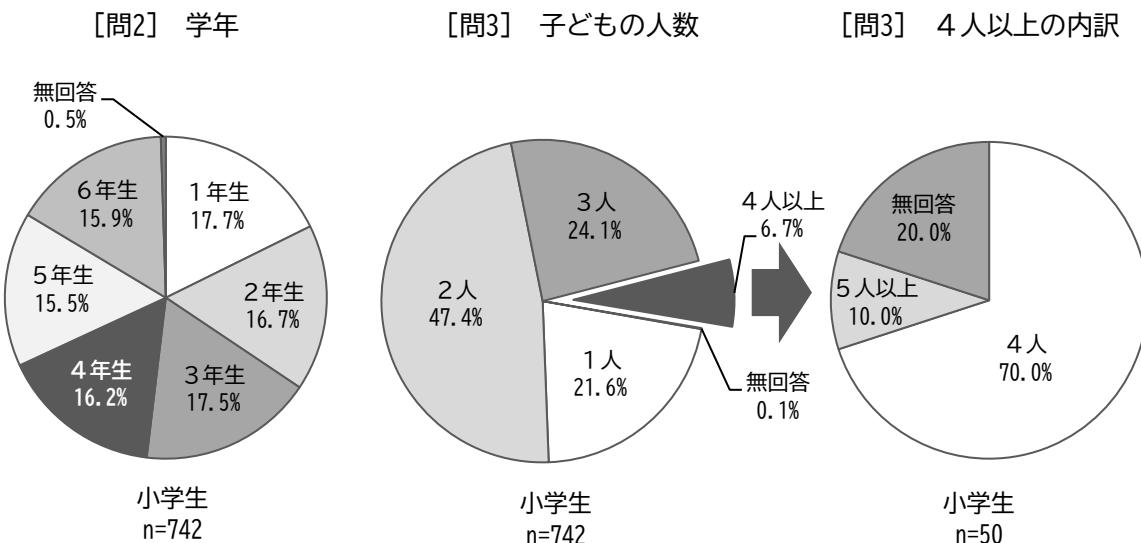
(2) 就学前児童の属性

○回答された695人の就学前児童の属性は、以下のとおりです。



(3) 小学生の属性

○回答された742人の小学生の属性は、以下のとおりです。

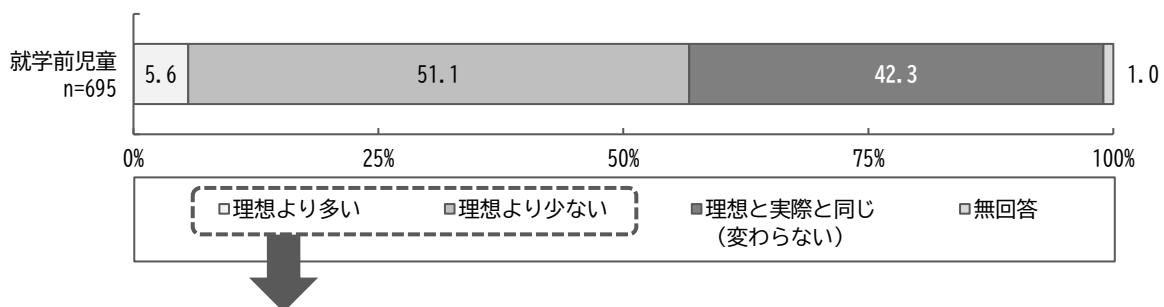




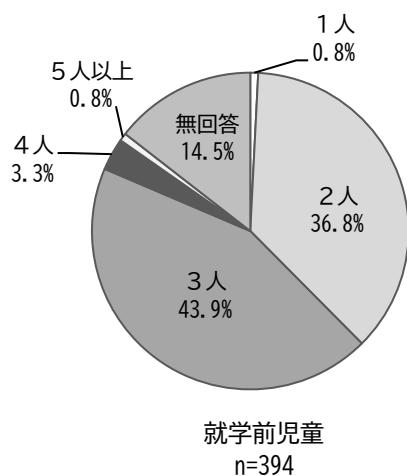
(4) 理想の子どもの数について

- 理想の子どもの数と実際の子どもの数との違いについてみると、「理想より少ない」(51.1%)が最も高く、次いで「理想と実際と同じ」(42.3%)となっています。
- 理想の子どもの人数についてみると、「3人」(43.9%)が最も高く、次いで「2人」(36.8%)となっています。
- 理想より子どもの人数が少ないと理由についてみると、「子育てや教育にかかる費用が大きい」(55.2%)が最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が難しい」(42.3%)となっています。

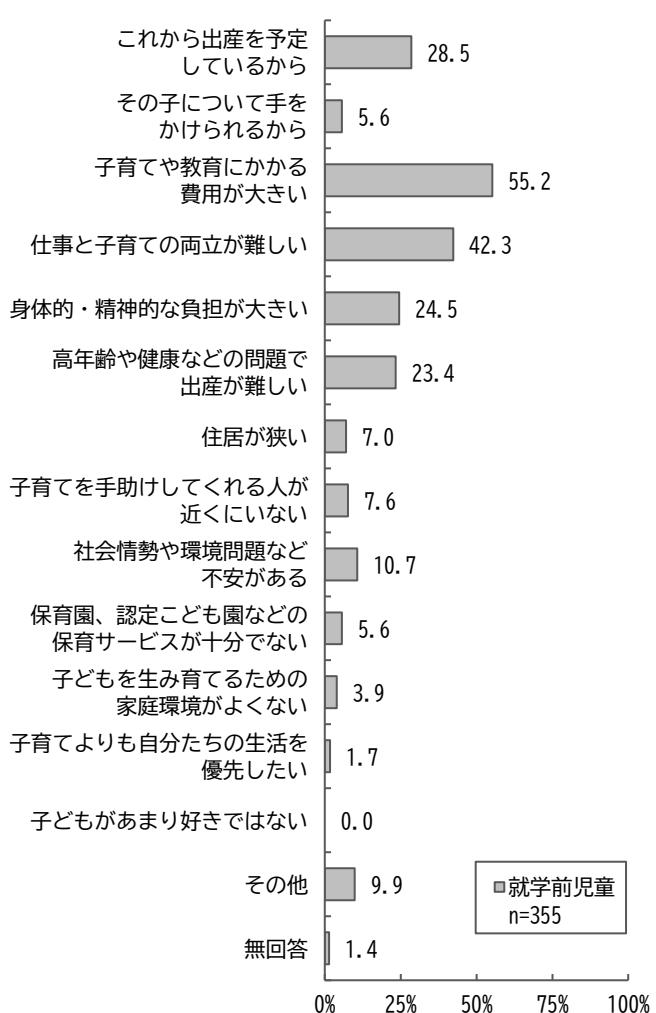
問3-1 理想の子どもの数と実際の子どもの数（就学前児童）



問3-2 理想の子どもの人数（就学前児童）



問3-3 (理想より少ない) 理由（就学前児童）

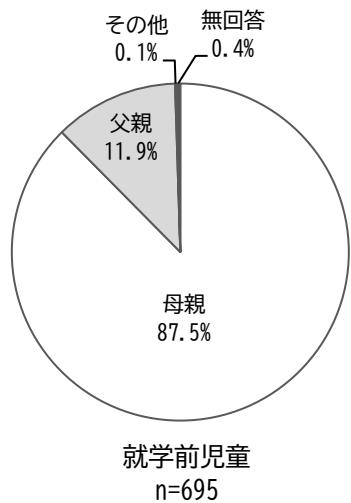




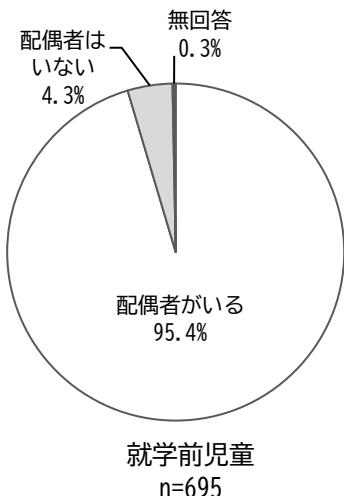
(5) 調査回答者の状況と配偶者の有無

○この調査の回答者は、以下のとおりです。

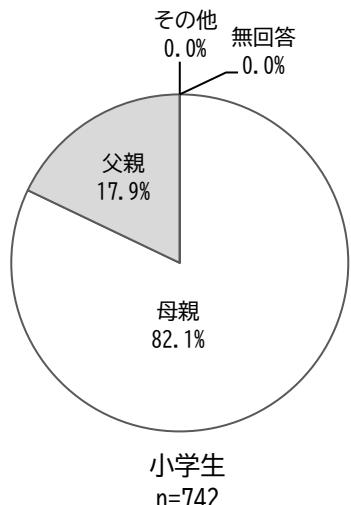
問4 調査回答者（就学前児童）



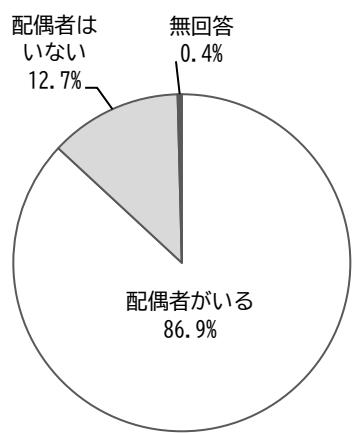
問5 配偶者の有無（就学前児童）



[問4] 調査回答者（小学生）



[問5] 配偶者の有無（小学生）





6 調査結果からみた課題等

分析を通して考察と課題抽出等を行いました。

結果1 周囲の援助が得られない、孤立した子育て環境にいる保護者は前回調査と比較すると、小学生が3.4ポイント増加
子育てをする上で気軽に相談できる相手（先）がいない保護者は就学前児童で5.0%、小学生で12.3%

子育てに関する親族、知人等協力者の状況は、就学前児童の保護者、小学生の保護者いずれも、多くの方が日常的、または緊急時、用事の際に祖父母等の親族に子どもをみてもらえると回答しており、大半の保護者は協力を得られる状況です。

しかし、前回調査（H30）と比較すると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した割合は、就学前児童の保護者では7.5ポイント、小学生の保護者では4.0ポイント減少、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した割合は、就学前児童の保護者では5.1ポイント増加し、小学生の保護者では3.5ポイント減少しています。

一方で、協力者が「いずれもいない」と回答した、孤立した子育て環境にいる方は就学前児童の保護者で9.1%、小学生の保護者で12.4%となっており、前回調査と比較すると、小学生が3.4ポイント増加しています。【問9、【問7】】

子育てをする上で気軽に相談できる相手（先）が、「いる／ある」と回答した方は、就学前児童の保護者で91.8%、小学生の保護者で83.7%となっており、気軽に相談できる先として「祖父母等の親族」、「友人や知人」が上位を占め、その多くは身近な人達となっています。

一方で、気軽に相談できる相手（先）が「いない／ない」と回答した方は、就学前児童の保護者で5.0%、小学生の保護者で12.3%となっています。

【問10・問10-1、【問8・問8-1】】

協力者が「いずれもいない」と回答した方が、気軽に相談できる相手（先）が「いない／ない」と回答している割合は、就学前児童の保護者では12.7%、小学生の保護者では40.2%となっています。【問9×問10、【問7×問8】】

以上の結果から、小学生保護者の孤立割合が高いことが分かりました。孤立した子育て環境にいる保護者に対してどのような子育て支援が必要とされ、有効であるかの把握が課題となっています。さらに、相談することができる公的な機関の充実や教育・保育施設等との連携、活動内容の周知、アクセスしやすく気軽に相談できる体制づくりなど、様々なニーズに即した新たな支援施策についても検討する必要があります。

また、最大の協力先である祖父母等親族に日常的に見てもらえる割合が減ってきてることから、子育て支援の主体をどのように多様化していくか研究する必要があります。



結果2 母親の就労率（育休等を含む）は就学前児童で79.7%、小学生で90.2%

母親の就労状況(産休・育休・介護休業中含む)をみると、就学前児童の保護者が79.7%、小学生の保護者が90.2%となり、そのうち産休、育休、介護休業中の方は、就学前児童の保護者で23.6%、小学生で0.6%となっています。

母親の就労状況を前回調査と比較すると、就学前児童の保護者が4.5ポイント、小学生の保護者が4.0ポイント増加しています。【問12、[問10]】

今後、少子化の進行と働く母親のさらなる増加について注視し、必要な保育供給量を見極めるとともに、就労実態に即した事業体制を整える必要があります。

結果3 年少児以上の子どもはほぼ全員が定期的な教育・保育事業を利用している。3歳児組の76.2%、2歳児の75.3%が定期的な保育事業を利用しており、利用していない家庭はまだこどもが小さいためとしている

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況を年齢別にみると、5歳から6歳の100%、4歳の97.8%が認定こども園又は保育所を利用しています。また、3歳の76.2%、2歳の75.3%が、すでに保育所を利用しています。また、1歳の31.5%、0歳の13.5%が定期的な保育事業を利用しています。【問2×問14】

利用していない理由として、0歳～2歳では「子どもがまだ小さいため口歳くらいになつたら利用しようと考えている」の割合が最も高く、2歳～3歳では「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」、「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」と回答した割合が一定数います。【問2×問14-5】

前回調査と比較すると「利用する必要がない」が12.3ポイント、「子どもの祖父母や親戚がみている」が5.0ポイント減少し、「(利用したいが)保育・教育の事業に空きがない」が2.3ポイント増加しています。【問14-5】

利用していない理由は子どもの年齢によって変化がみられます。国の制度改正によって令和元年10月より4歳～6歳(年少組以上)の保育料は無償化されましたが、年少組未満の保育料は有料です。

しかし、飯田市では女性就労率の上昇などを背景に、2歳～3歳の75%超が、未満児保育を利用している点が特徴的です。今後、未満児保育・乳児保育について「希望するが利用できない」とするニーズへ対応する体制について検討する必要があります。



結果4 保育園を選ぶときの基準は、0歳・1歳では母親または父親の職場に近いこと

保育園を選ぶときの基準として「母親の職場（職場が自宅の場合は自宅）に近いこと」

「親の職場や近所の子に関わらず、地元小学校の通学区内に通わせたい」の割合が高くなっています。【問15-4】

年齢別にみると、2歳～6歳の保護者では、「親の職場や近所の子に関わらず地元小学校の通学区内に通わせたい」との回答が最も多くなっています。一方、0歳～2歳の保護者では、4割以上が「母親の職場（職場が自宅の場合は自宅）に近いこと」と、1割以上が「父親の職場（職場が自宅の場合は自宅）に近いこと」と回答しています。特に「父親の職場に近いこと」の回答は、前回に比べ4.4ポイント上昇しています。

また、0歳～4歳の保護者では、「園舎の設備や衛生面」、「外遊びをしっかりさせること」、「自然体験をさせてくれること」、「親の不安や子育ての相談を聞いてくれる」など、保育の内容や質への関心が見られます。

4歳～6歳の保護者では、「長く預かってくれること」「乳児から預かってくれること」といった回答が一定数みられます。

【問2×問15-4】【問1×年齢3区分（0～1歳・2～3歳・4～6歳）×問15-4】

こどもの数の動向を踏まえつつ、多様化する保護者のニーズに応えるため、保育園の配置・機能の集約などについても議論していく必要があります。

結果5 病気やケガで幼稚園・小学校等を利用できなかった場合の対処方法は、「母親が休んだ」が「父親が休んだ」を大きく上回る

病気やケガで幼稚園・小学校等を利用できなかった場合の対処方法は、就学前児童の保護者、小学生の保護者いずれも「母親が休んだ」（就学前児童91.1%・小学校83.3%）が最も高く、「父親が休んだ」（就学前児童48.9%・小学生28.0%）、「親族・知人に子どもをみてもらった」（就学前児童39.5%・小学生28.4%）、「父親または母親のうち就労してない方が子どもをみた」（就学前児童8.9%・小学生5.8%）となっています。

前回調査と比較すると、就学前児童の保護者では「父親が休んだ」が28.3ポイント、「母親が休んだ」が13.3ポイント、小学生の保護者では「母親が休んだ」が13.4ポイント、「父親が休んだ」が11.8ポイント、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が5.9ポイント高くなっています。【問21-1、【問12-1】】

病気やケガをした子どもを見るのは母親の役目であるという役割意識の定着がうかがわれます。しかし、前回調査と比較すると、父親が休んだ割合が大幅に増加していることから、父親が休暇を取得しやすい職場環境づくりが徐々に始まっていると推察されます。さらに父親の育児参加の促進やワーク・ライフ・バランスの取組など、父親の育児参加を促すための対策を進めていく必要があります。



結果6 小学生の長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望が大幅に増加

放課後児童クラブの長期休暇期間中の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」と回答した方は小学生の保護者では82.5%となっています。また、就学前児童の保護者も、こどもがやがて小学生となったときの長期休暇中の児童クラブを求めている傾向がうかがえます。【問28、[問16]】

前回調査と比較すると、利用希望（「低学年の間は利用したい」+「高学年になっても利用したい」の合計）は、小学生で53.4ポイント増加しています。【[問16]】

長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望について、利用者ニーズに合致した事業運営が提供できるよう、各事業の提供量について検証する必要があります。また、保護者の働き方に注視するとともに、運営側の人員や場所の確保等についても、関係各所と連携し、考えていく必要があります。

結果7 育児休業を取得又は取得中の就学前児童の母親は58.8%、父親は14.4%

就学前児童の保護者の育児休業の取得率をみると、母親が58.8%、父親が14.4%となり、前回調査と比較すると、母親は18.2ポイント、父親は12.6ポイント増加しています。

母親の育児休業取得期間についてみると、実際の取得期間、希望取得期間ともに「1歳～1歳半未満」（実際の取得期間56.0%、希望取得期間32.1%）が最も高くなっています。また、3歳以上の長期期間では、実際の取得期間（1.2%）より希望取得期間（30.0%）の割合が上回っています。

育児休業を取得していない理由は、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が26.3%で前回調査同様最も高くなっていますが、前回と比較すると14.0ポイント減少しています。それ以外では、前回調査において15.1%であった「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が21.3%に増加しています。父親では「仕事が忙しかった」（43.8%）が最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（42.3%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（34.7%）となっています。

また、「その他」の理由として、母親・父親ともに「自営業のため」「フリーランスのため」との回答が多くなっています。【問30・問30-1・問30-4】

以上の結果から、子育て世帯への社会全体の意識の変化にともない、母親・父親ともに育児休業取得率が前回調査時よりも高くなっています。

一方で、育児休業から復帰したときの子どもの実際の月齢と希望する月齢との差があることから、希望の育児休業期間を取得できるような職場の環境づくりなど、安心して出産、子育てができるよう、経済的な支援を含めた更なる取得の支援を推進する必要があります。



結果8 地域の行事や園・学校の行事への参加（「よく参加している」+「時々参加している」）割合は高いが、まったく参加していない割合は就学前児童保護者で高い

地域の行事等に参加している割合（「よく参加している」+「時々参加している」）は就学前児童の保護者で55.0%、小学生の保護者で78.2%となっています。

また、お子さんが通う園や学校の行事に参加している割合（「よく参加している」+「時々参加している」）は、就学前児童の保護者で70.6%、小学生の保護者で97.4%となっています。

一方で、地域の行事等にまったく参加していない割合は、就学前児童の保護者で22.0%、小学生の保護者で6.7%となっています。【問39①②、【問25①②】】

以上の結果から、行事の参加については年齢が上がると参加率が高くなる傾向にあります、まったく行事に参加していない割合は、就学前児童の保護者で高い結果となっています。

地域住民との関わりが少ない家庭が一定数みられることから、主任児童委員（民生児童委員）をはじめ、地域住民の声掛け等、推進していく必要があります。また、子どもの人間関係形成能力をはぐくむために、地域で交流できる機会やイベントの企画などを通して、地域全体で子どもを見守っていく環境づくりの整備が望されます。

結果9 子育て環境や支援に対する満足度（「高い」+「やや高い」+「ふつう」）は、就学前児童保護者で53.4%、小学生保護者で52.1%

子育て環境や支援に対する保護者の満足度をみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者いずれも「ふつう」（就学前児童41.2%・小学生42.7%）が最も高く、「高い+やや高い」（就学前児童12.2%・小学生9.4%）、「やや低い+低い」（就学前児童46.2%・小学生47.5%）となっています。【問44、【問30】】

今後さらにこの評価を引き上げていくには、現在実施している事業に対して、ニーズに即した対策の見直し・改善を図る必要があります。また、子育て環境や地域資源等が市民に十分認知されるよう、浸透性の高い情報発信のあり方について検討が必要です。

第2章

子育て家庭を取り巻く環境



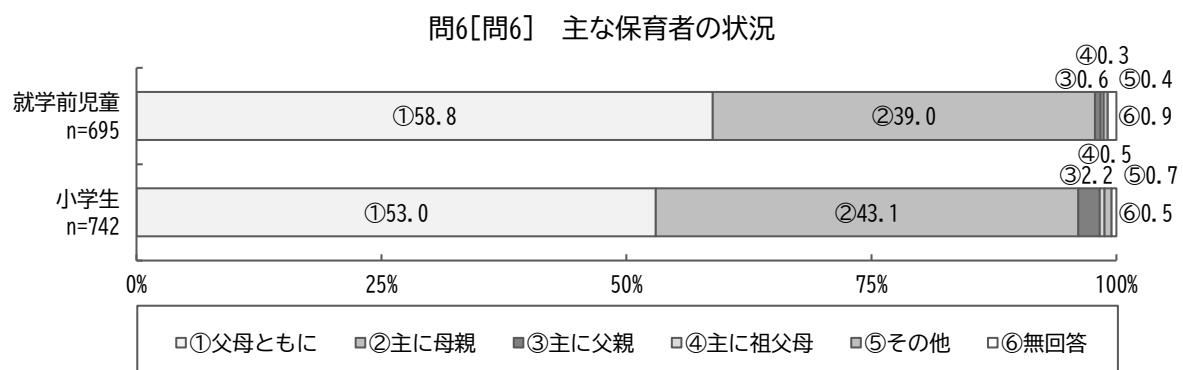
第2章 子育て家庭を取り巻く環境

1 子育ての環境について

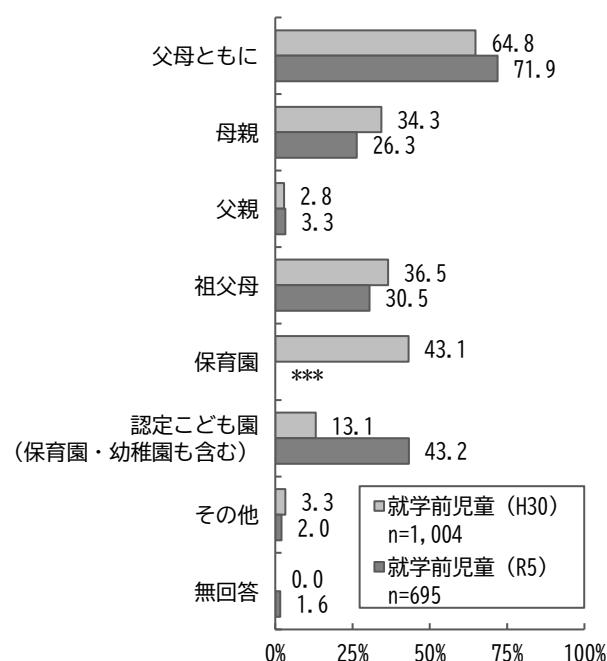
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況

○主な保育者の状況をみると、「父母ともに」「主に母親」を合わせると就学前児童では97.8%、小学生では96.1%となっています。

○日常的に子育てに関わっている人（施設含む）をみると、就学前児童では、「父母ともに」(71.9%)が最も高く、次いで「認定こども園（保育園・幼稚園も含む）」(43.2%)、「祖父母」(30.5%)となっています。前回調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加し、「母親」「祖父母」の割合が減少しています。



問7 子育てに日常的に関わっている人・施設（経年比較）

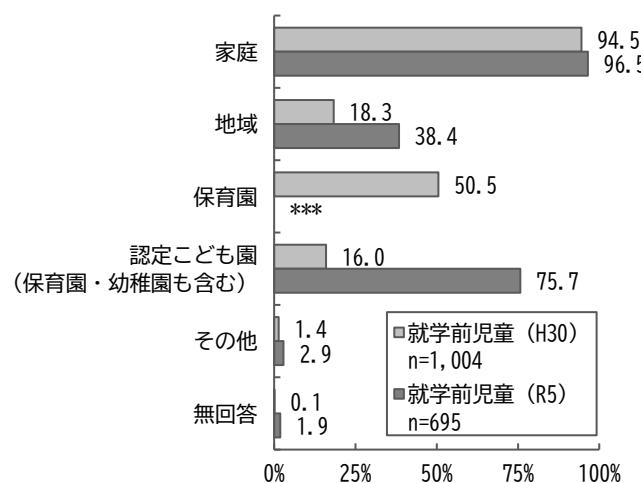


※「保育園」はR5年調査では「認定こども園（保育園・幼稚園も含む）」へ統合のため、選択肢がありません。
H30は「認定こども園（幼稚園も含む）」となっています



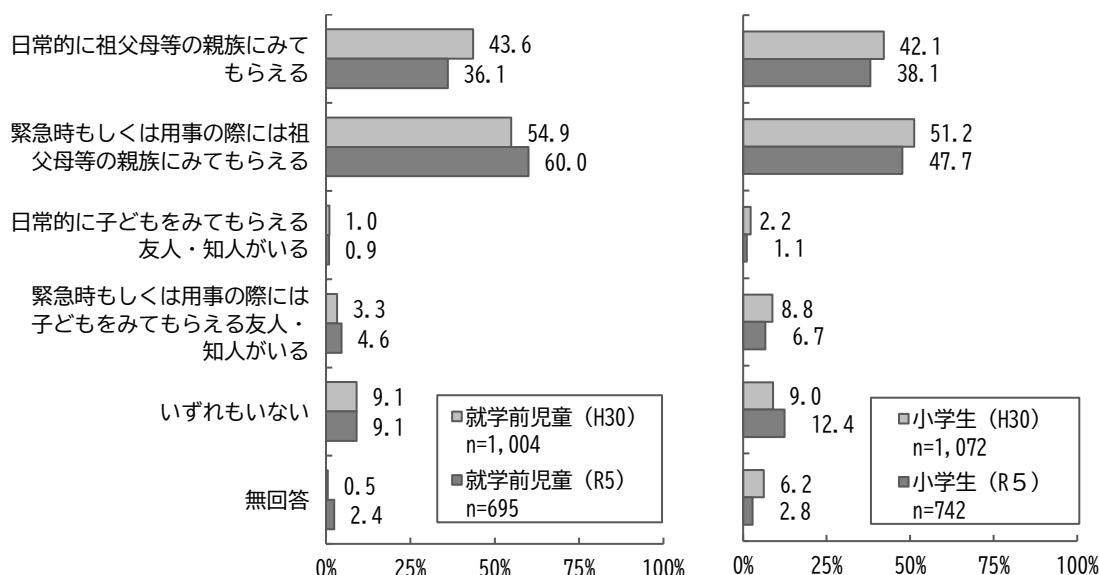
- 子育てに影響を与える環境をみると、就学前児童では、「家庭」(96.5%)が最も高く、次いで「認定こども園（保育園・幼稚園も含む）」(75.7%)、「地域」(38.4%)となっています。前回調査と比較すると、「地域」の割合が大幅に増加しています。
- 親族、知人等協力者の状況をみると、就学前児童、小学生いずれも「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(就学前児童60.0%、小学生47.7%)、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(就学前児童36.1%、小学生38.1%)と回答した方が多い一方で、「いずれもいない」と回答した方が就学前児童では9.1%、小学生では12.4%となっています。前回調査と比較すると、就学前、小学生ともに「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が減少し、小学生では、「いずれもいない」が増加しています。

問8 子育てに影響を与えると思う環境（経年比較）



※「保育園」はR5年調査では「認定こども園（保育園・幼稚園も含む）」へ統合のため、選択肢がありません。
H30は「認定こども園（幼稚園も含む）」となっています

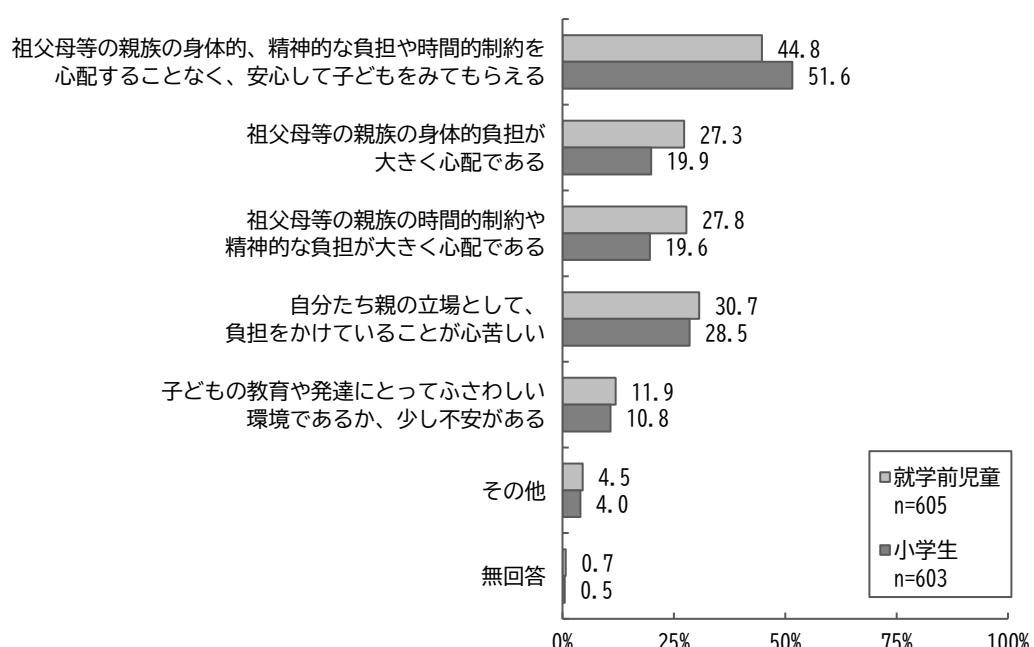
問9[問7] 親族、知人等の協力者の状況（経年比較）





○祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況をみると、就学前児童、小学生いずれも「祖父母等の親族の身体的、精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(就学前児童44.8%、小学生51.6%)が最も高いものの、一方で、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」(就学前児童27.3%、小学生19.9%)、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(就学前児童27.8%、小学生19.6%)「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(就学前児童30.7%、小学生28.5%)と祖父母等の負担を心配しながらみてもらっている割合も高くなっています。

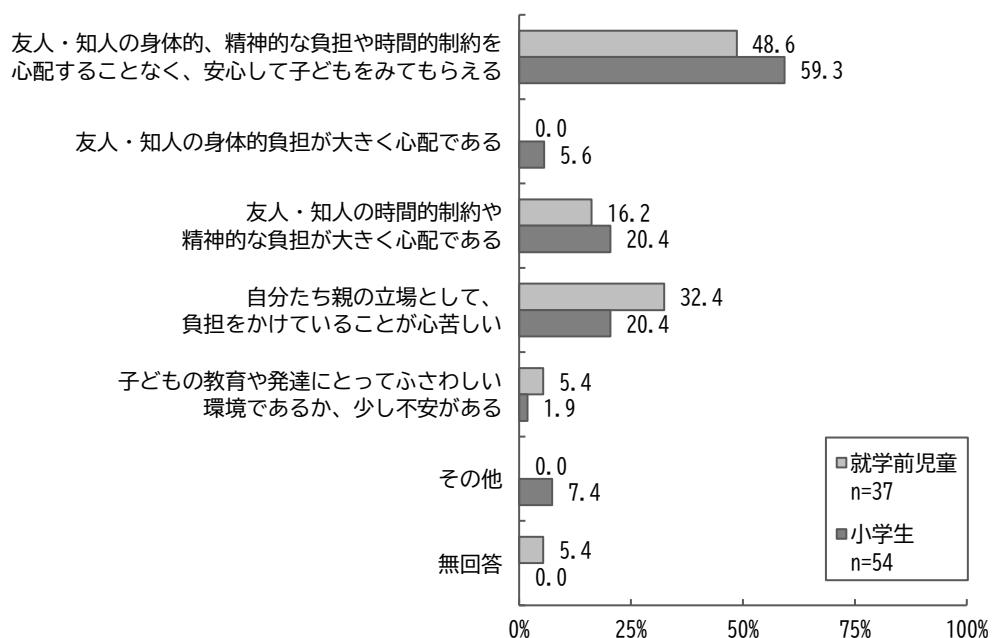
問9-1[問7-1] 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え方





○友人、知人に子どもを預かってもらっている状況をみると、就学前児童、小学生いずれも「友人・知人の身体的、精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(就学前児童48.6%、小学生59.3%)が最も高いものの、一方で、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(就学前児童32.4%、小学生20.4%)「友人、知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(就学前児童16.2%、小学生20.4%)と回答した方の割合も多く、友人、知人の負担を心配しながらみてもらっている状況です。

問9-2[問7-2] 友人、知人に子どもをみてもらうことへの考え方



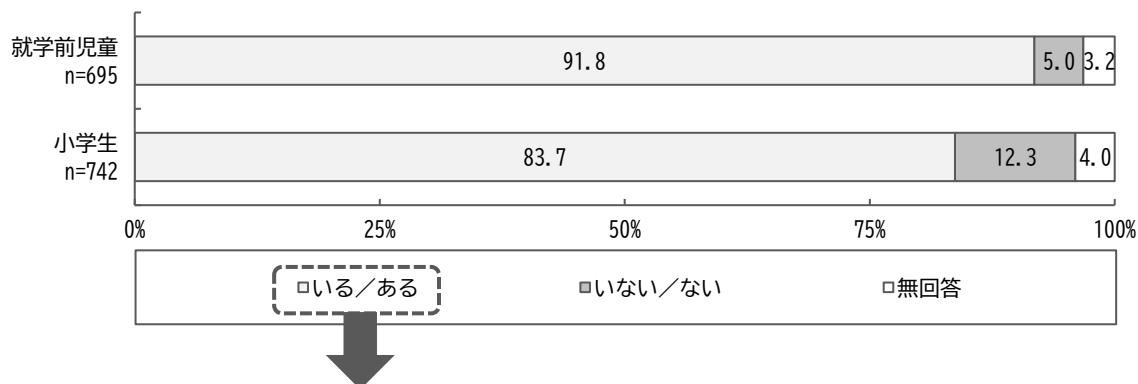


(2) 子育てに関する相談者の状況

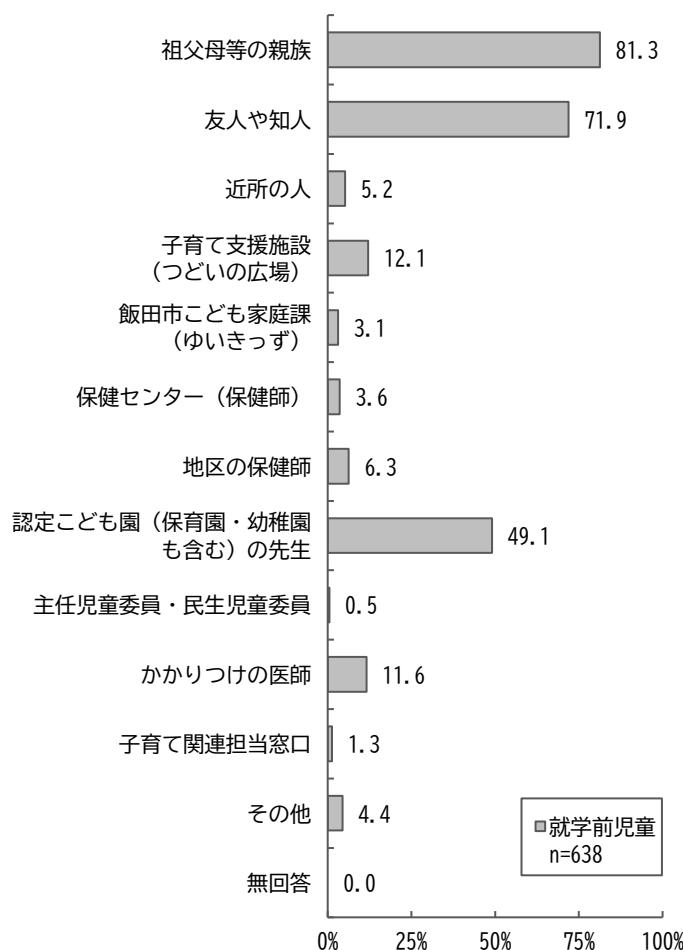
○気軽に相談できる人の有無をみると、「いる／ある」が就学前児童では91.8%、小学生では83.7%となっています。

○気軽に相談できる先の状況をみると、就学前児童では、「祖父母等の親族」(81.3%)が最も高く、次いで「友人や知人」(71.9%)、「認定こども園（保育園・幼稚園も含む）の先生」(49.1%)となっています。

問10[問8] 子育てに関して気軽に相談できる人（場所）の有無



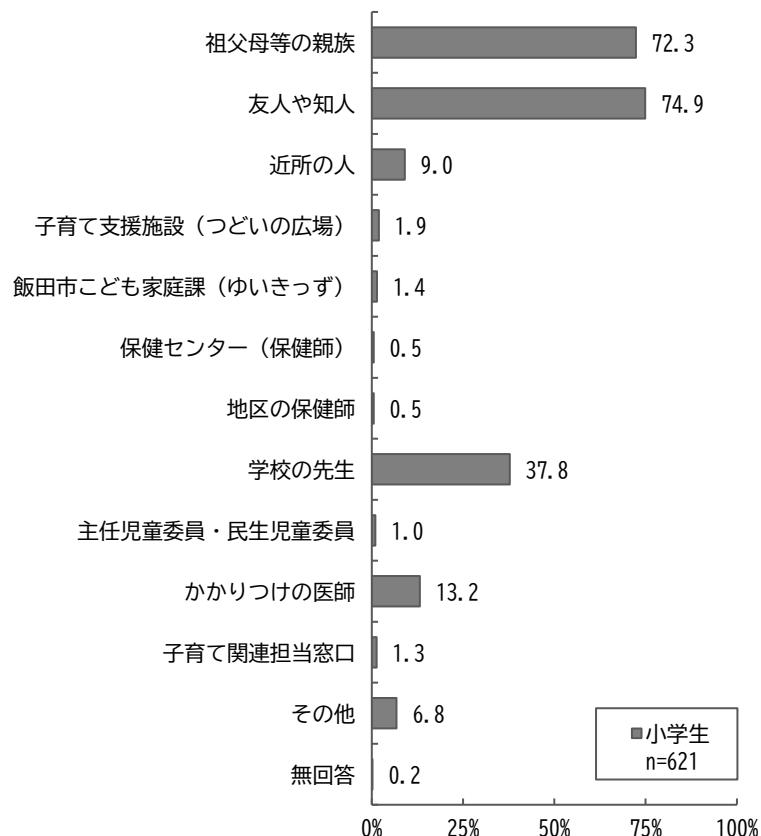
問10-1 気軽に相談できる先





○気軽に相談できる先の状況をみると、小学生では、「友人、知人」(74.9%)が最も高く、次いで「祖父母等の親族」(72.3%)、「学校の先生」(37.8%)となっています。

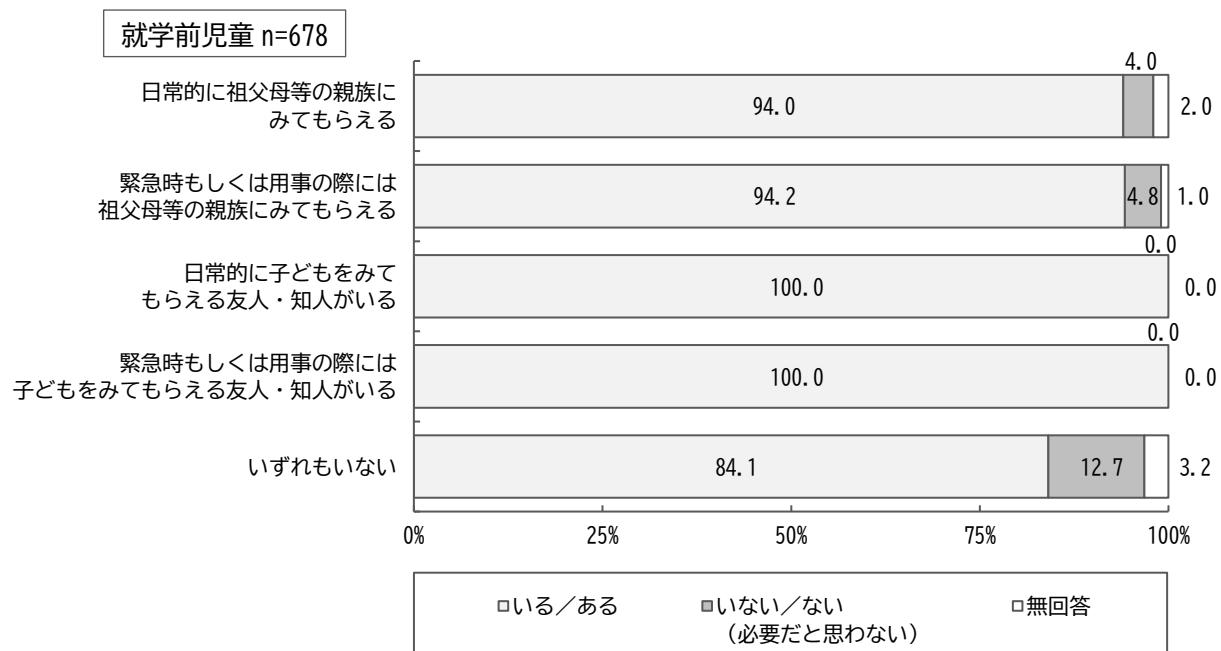
[問8-1] 気軽に相談できる先



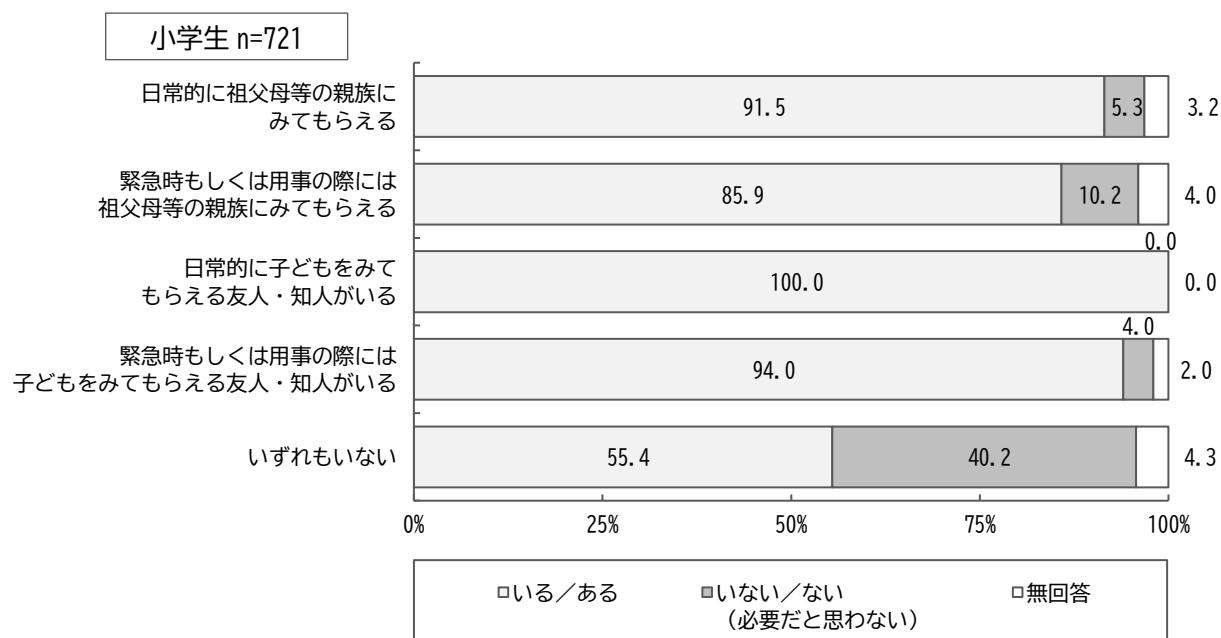


○親族、知人等の協力者の状況を子育てに関して気軽に相談できる人（場所）の有無別にみると、協力者も気軽に相談できる人も「いない/ない」と回答した方は、就学前児童では12.7%、小学生では40.2%となっています。

問9 親族、知人等の協力者の状況×問10 子育てに関して気軽に相談できる人（場所）の有無



[問7] 親族、知人等の協力者の状況×[問8] 子育てに関して気軽に相談できる人（場所）の有無





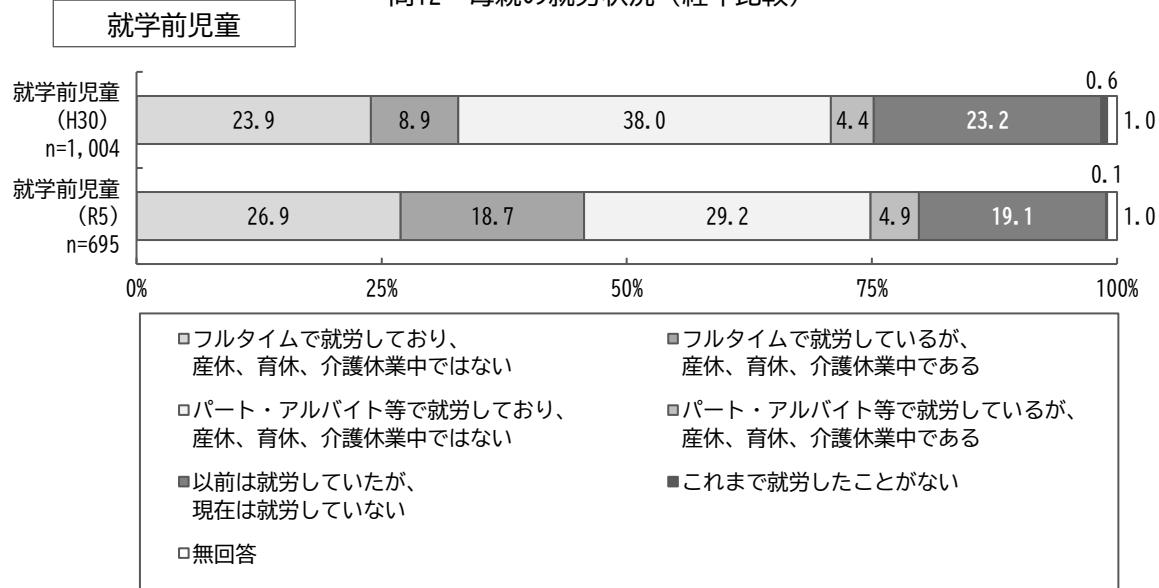
2 保護者の就労状況

(1) 母親の就労状況

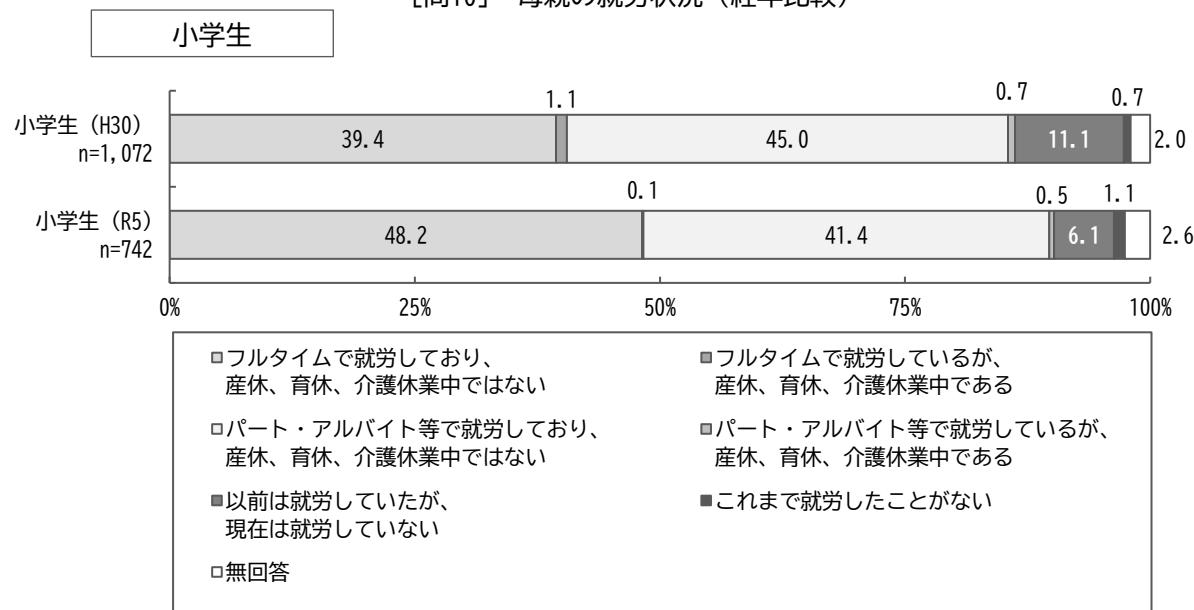
○母親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している」「パート・アルバイト等で就労している」(産休・育休・介護休業中含む)を合わせた現在就労している方は、就学前児童が79.7%、小学生が90.2%となっています。そのうち産休、育休、介護休業を取得中の方は、就学前児童が23.6%、小学生が0.6%となっています。

○前回調査と比較すると、就労している母親は、就学前児童が4.5ポイント、小学生が4.0ポイント増加しています。

問12 母親の就労状況（経年比較）



[問10] 母親の就労状況（経年比較）

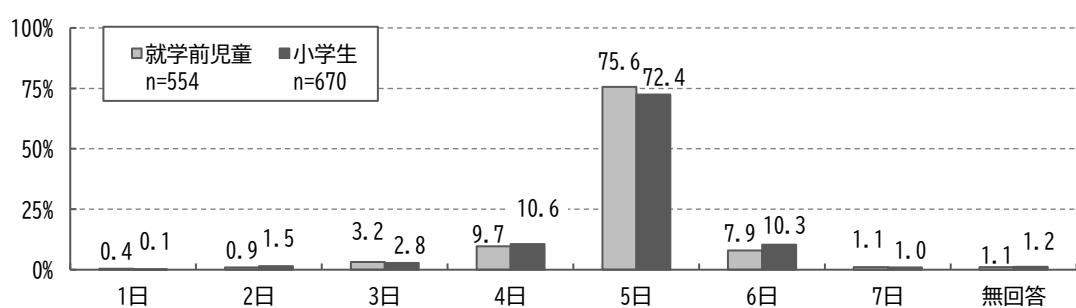




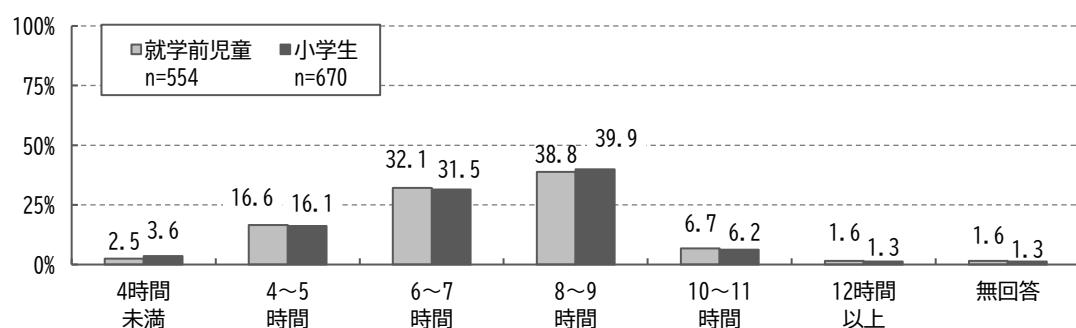
○母親の就労日数をみると、就学前児童、小学生いずれも「5日」(就学前児童75.6%、小学生72.4%)が最も高くなっています。

○母親の就労時間みると、就学前児童、小学生いずれも「8~9時間」(就学前児童38.8%、小学生39.9%)が最も高く、「6~7時間」(就学前児童32.1%、小学生31.5%)となっています。

問12-1(1)[問10-1(1)] 母親の就労日数（1週当たり）



問12-1(1)[問10-1(1)] 母親の就労時間（1日当たり）

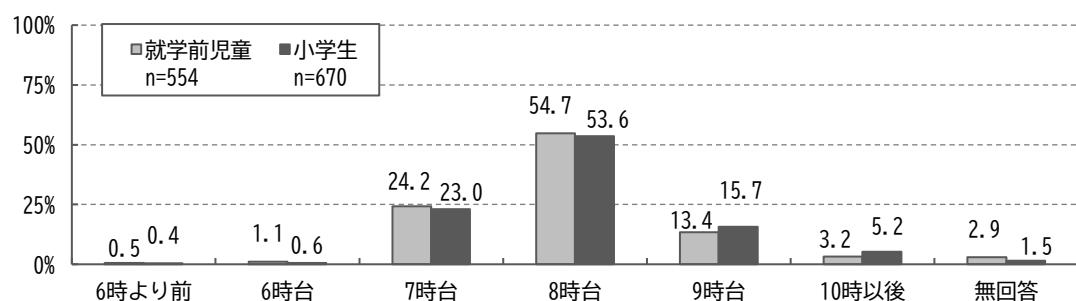




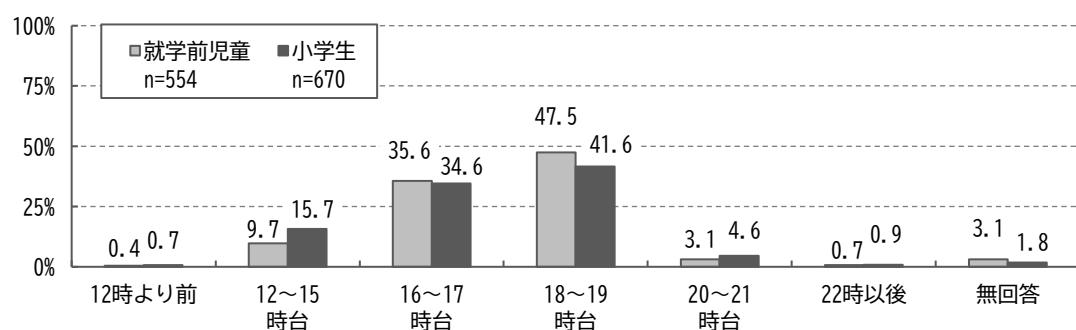
○母親の家を出る時刻をみると、就学前児童、小学生いずれも「8時台」(就学前児童54.7%、小学生53.6%)が最も高く、次いで「7時台」(就学前児童24.2%、小学生23.0%)となっています。

○母親の帰宅時刻をみると、就学前児童、小学生いずれも「18~19時台」(就学前児童47.5%、小学生41.6%)が最も高く、次いで「16~17時台」(就学前児童35.6%、小学生34.6%)となっています。

問12-1(2)[問10-1(2)] 母親の家を出る時刻



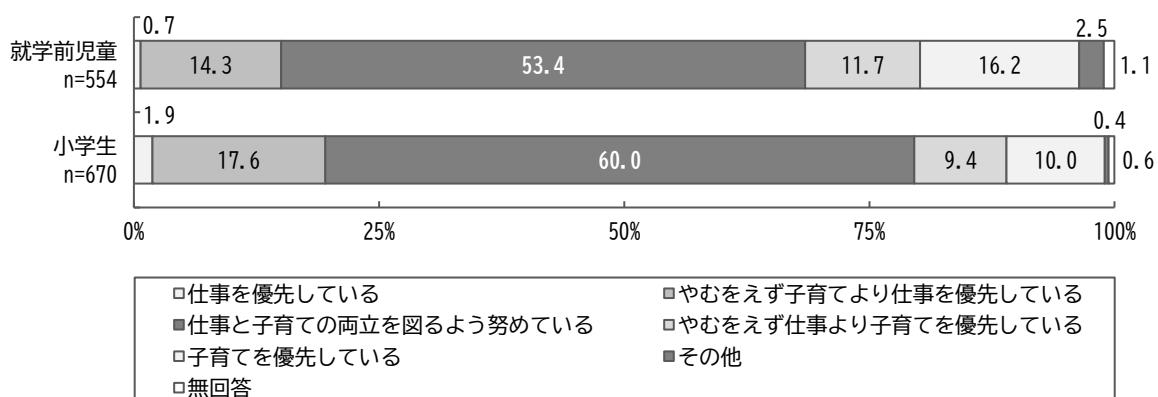
問12-1(2)[問10-1(2)] 母親の帰宅時刻



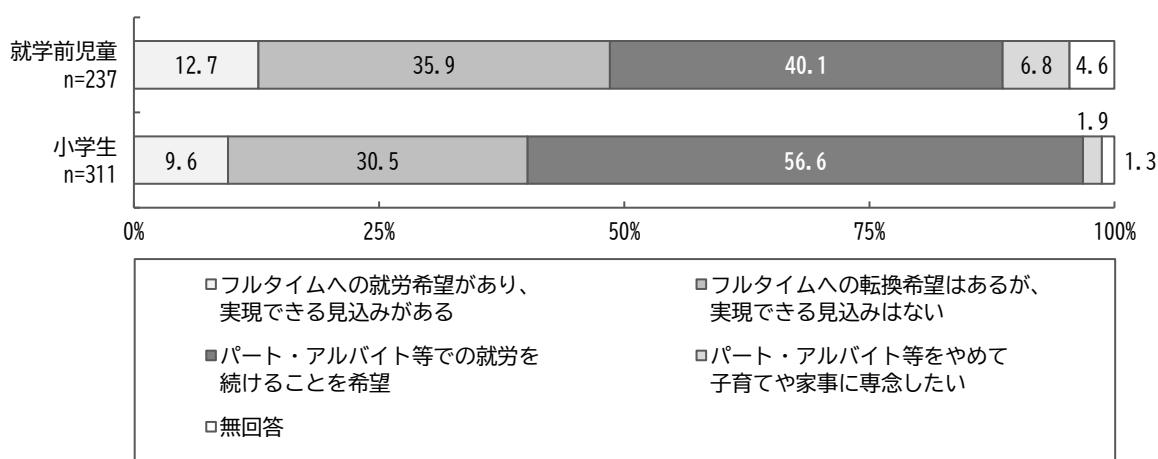


- 母親仕事と子育ての両立の状況についてみると、就学前児童、小学生いずれも「仕事を優先している」と「仕事と子育ての両立を図るよう努めている」(就学前児童53.4%、小学生60.0%)となっています。
- 母親のフルタイム勤務に対する意向をみると、就学前児童、小学生いずれも「パート・アルバイト等での就労を続けることを希望」(就学前児童40.1%、小学生56.6%)となっています。また、フルタイムへの転換希望は就学前児童が48.6%、小学生が40.1%あり、約1割の方が実現できる見込みがあります。

問12-2[問10-2] 仕事と子育ての両立



問12-3[問10-3] 母親のフルタイム勤務に対する意向



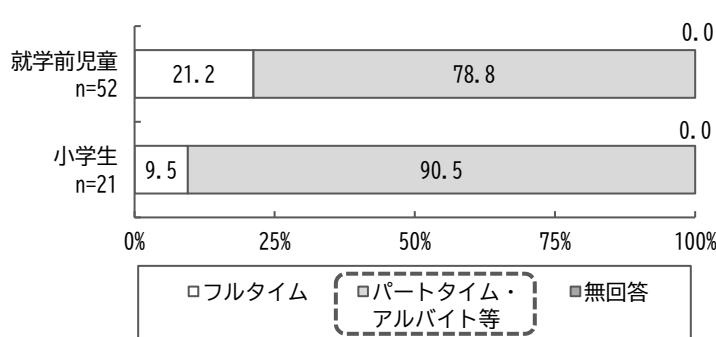
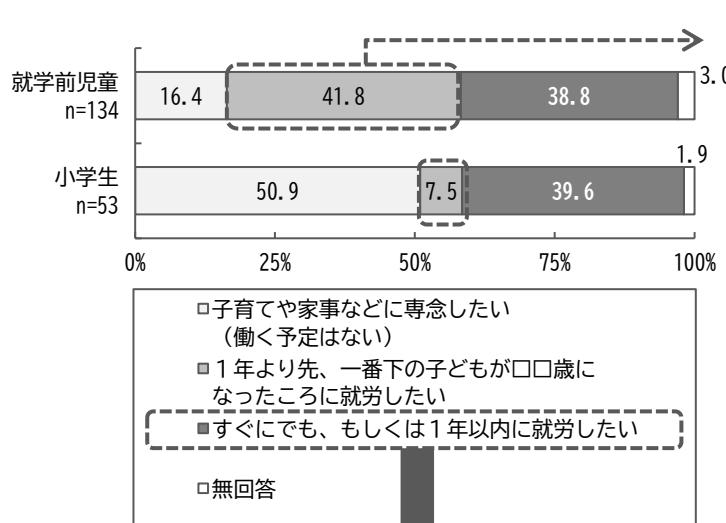


○現在就労していないが、今後就労したい母親の希望をみると、就学前児童では80.6%となっており、その内訳は「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」(41.8%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」(38.8%)となっています。小学生では47.1%となっており、その内訳は「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」(7.5%)、「すぐにでも、または1年以内に就労したい」(39.6%)となっています。

○現在就労していないが、今後就労したい母親の希望する就労形態をみると、就学前児童では「パートタイム・アルバイト等」(78.8%)、「フルタイム」(21.2%)となっています。小学生では「パートタイム・アルバイト等」(90.5%)、「フルタイム」(9.5%)となっています。

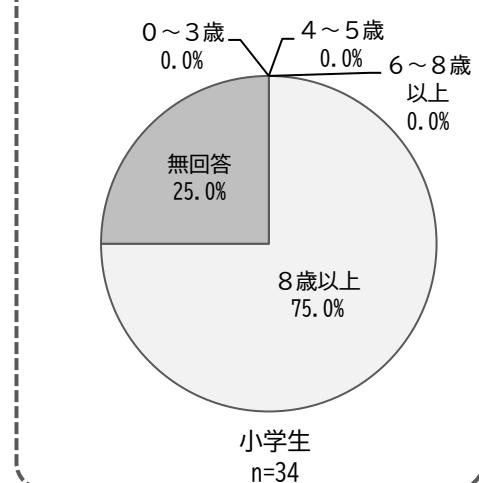
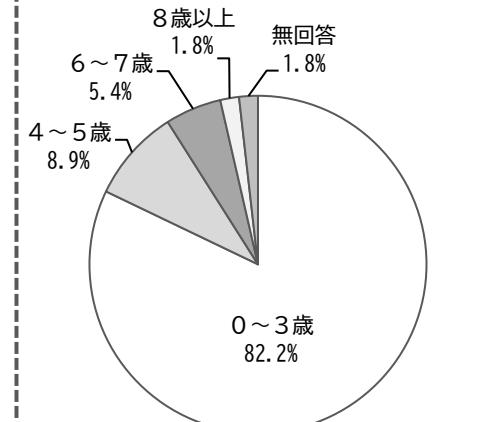
○現在就労していないが、今後就労したい母親の希望する就労時期となる子どもの年齢は就学前児童では「0～3歳」(82.2%)、小学生では「8歳以上」(75.0%)が最も高くなっています。

問12-4[問10-4] 就労していない母親の就労希望



「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」を選んだ方

【就労希望時の末子の年齢】

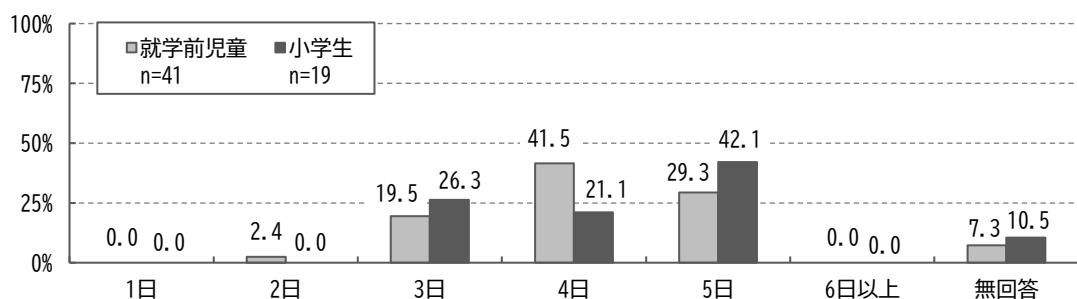




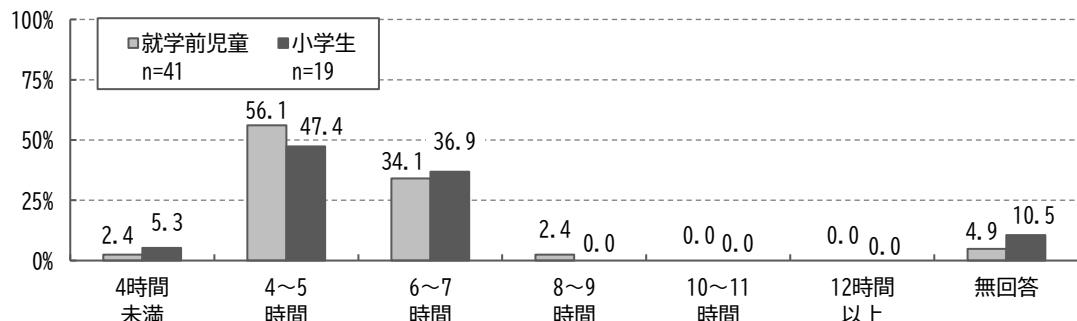
○パートタイム・アルバイト等での就労を希望する母親の希望就労日数をみると、就学前児童では「4日」(41.5%)が最も高く、次いで「5日」(29.3%)、「3日」(19.5%)となっています。小学生では「5日」(42.1%)が最も高く、次いで「3日」(26.3%)、「4日」(21.1%)となっています。

○パートタイム・アルバイト等での就労を希望する母親の希望就労時間みると、就学前児童、小学生いずれも「4～5時間」(就学前児童56.1%、小学生47.4%)が最も高く、次いで「6～7時間」(就学前児童34.1%、小学生47.4%)となっています。

問12-4[問10-4] パートタイム・アルバイト等希望の母親の希望就労日数（1週当たり）



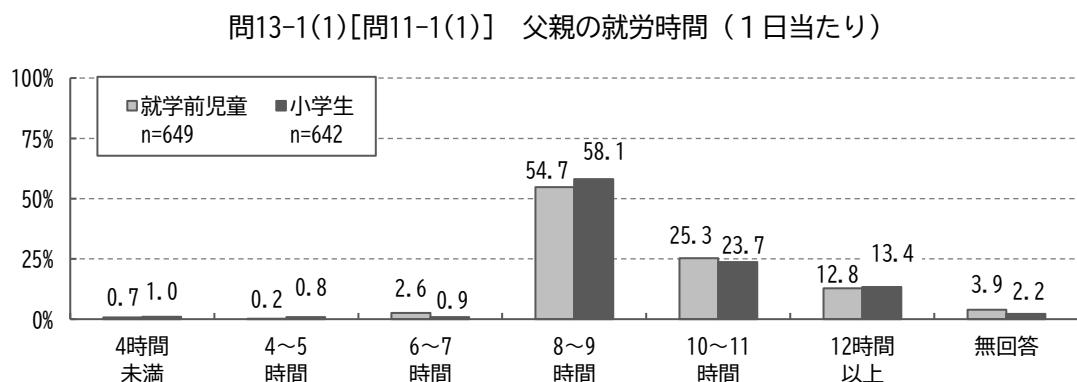
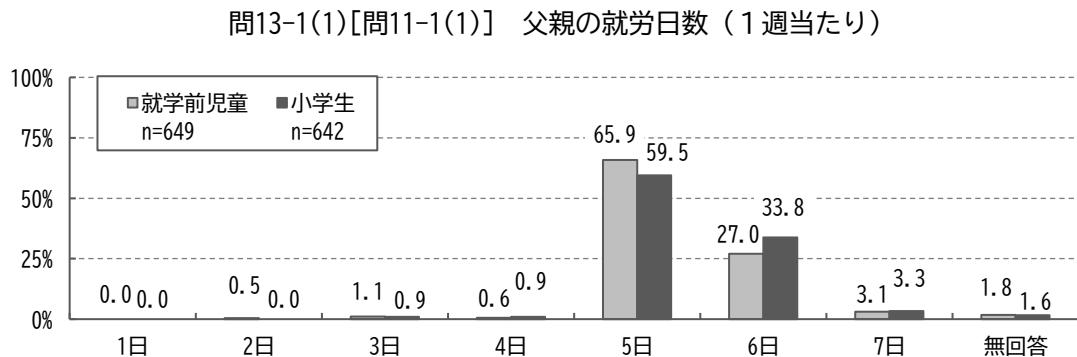
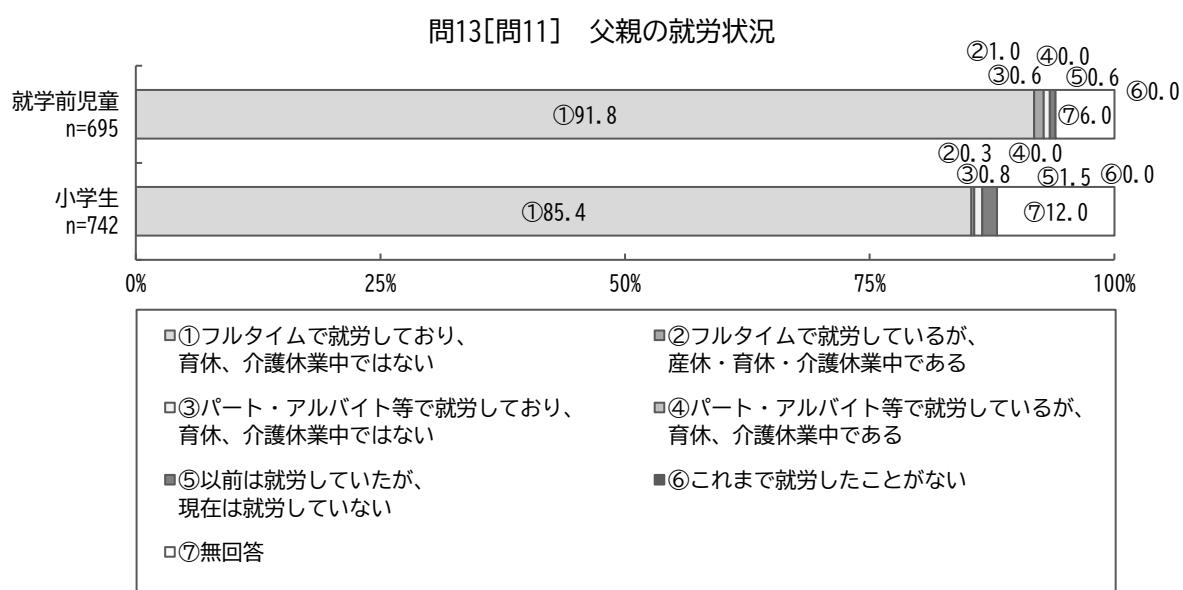
問12-4[問10-4] パートタイム・アルバイト等希望の母親の希望就労時間（1日当たり）





(2) 父親の就労状況

- 父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している」「パート・アルバイト等で就労している」を合わせると就学前児童では93.4%、小学生では86.5%となっています。
- 父親の就労日数をみると、就学前児童、小学生いずれも「5日」(就学前児童65.9%、小学生59.5%)が最も高く、次いで「6日」(就学前児童27.0%、小学生33.8%)となっています。
- 父親の就労時間を見ると、就学前児童、小学生いずれも「8~9時間」(就学前児童54.7%、小学生58.1%)が最も高く、次いで「10~11時間」(就学前児童25.3%、小学生23.7%)となっています。

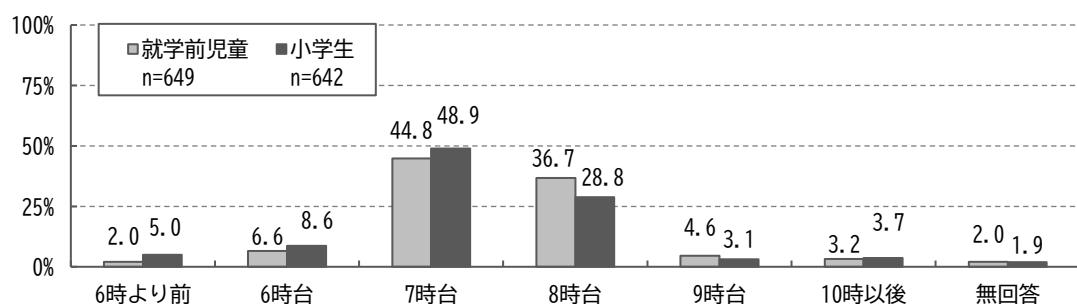




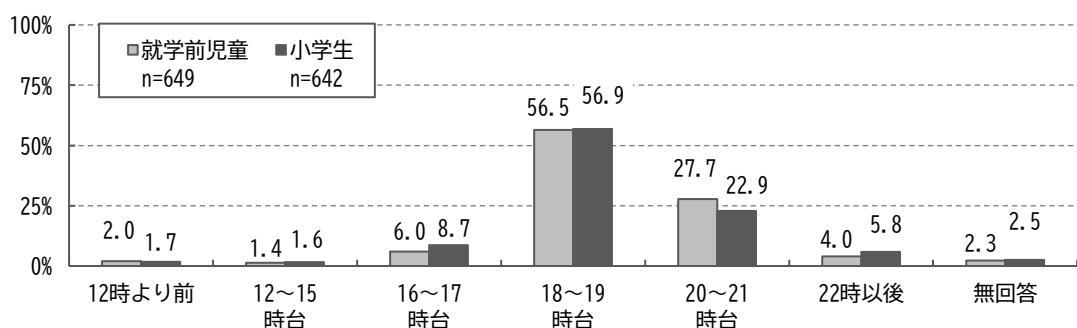
○父親の家を出る時刻をみると、就学前児童、小学生いずれも「7時台」（就学前児童44.8%、小学生48.9%）が最も高く、次いで「8時台」（就学前児童36.7%、小学生28.8%）となっています。

○父親の帰宅時刻をみると、就学前児童、小学生いずれも「18～19時台」（就学前児童56.5%、小学生56.9%）が最も高く、次いで「20～21時台」（就学前児童27.7%、小学生22.9%）となっています。

問13-1(2)[問11-1(2)] 父親の家を出る時刻



問13-1(2)[問11-1(2)] 父親の帰宅時刻

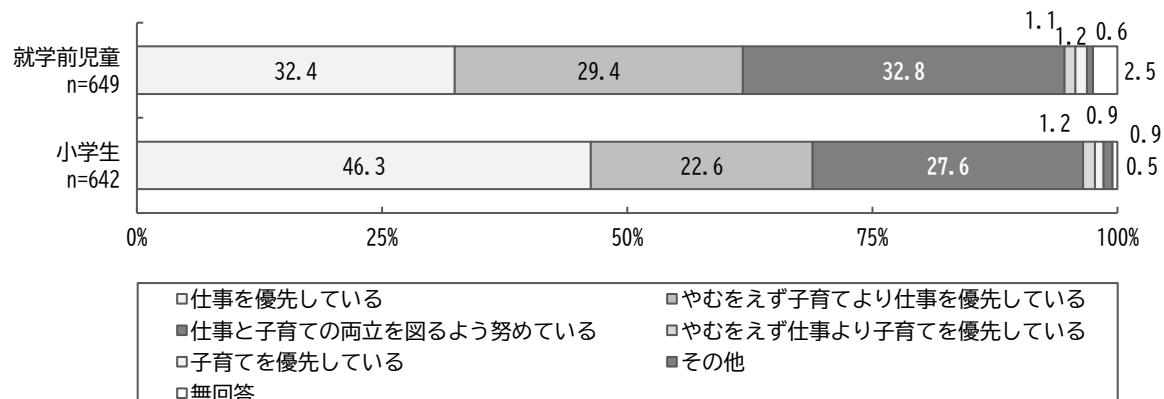




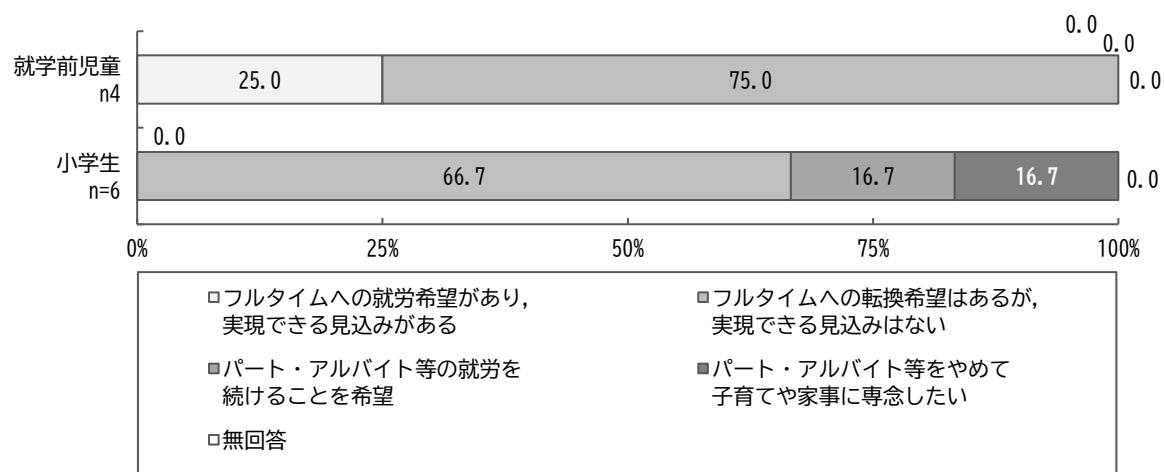
○父親の仕事と子育ての両立の状況についてみると、就学前児童、小学生いずれも「仕事と子育ての両立を図るよう努めている」(就学前児童32.8%、小学生27.6%)となっています。

○父親のパートタイムからフルタイムへの転換意向は以下のとおりです。

問13-2[問11-2] 仕事と子育ての両立



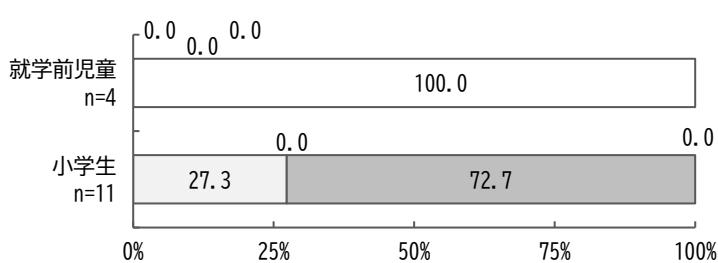
問13-3[問11-3] 父親のフルタイム勤務に対する意向





○現在就労していない父親の今後の就労意向は、以下のとおりです。

問13-4[問11-4] 就労していない父親の就労希望



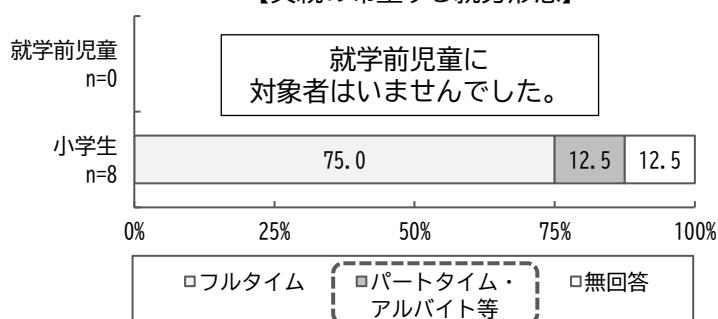
「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」を選んだ方

【就労希望時の末子の年齢】

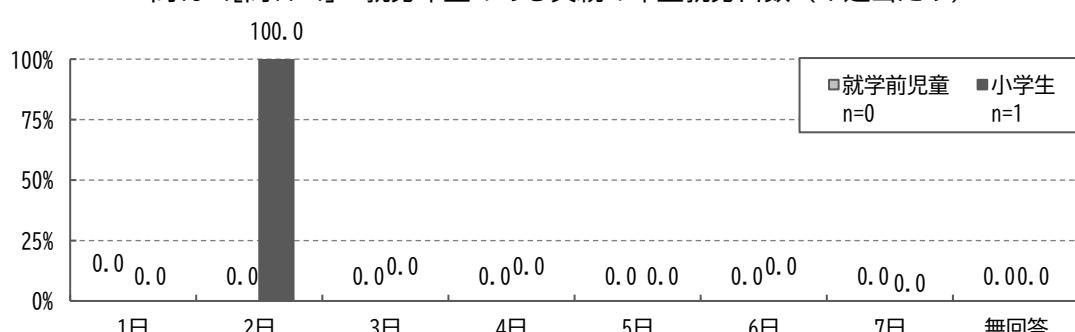
- 子育てや家事などに専念したい
(働く予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい
- すぐにでも、または1年内に就労したい
- 無回答

就学前児童、小学生に
対象者はいませんでした。

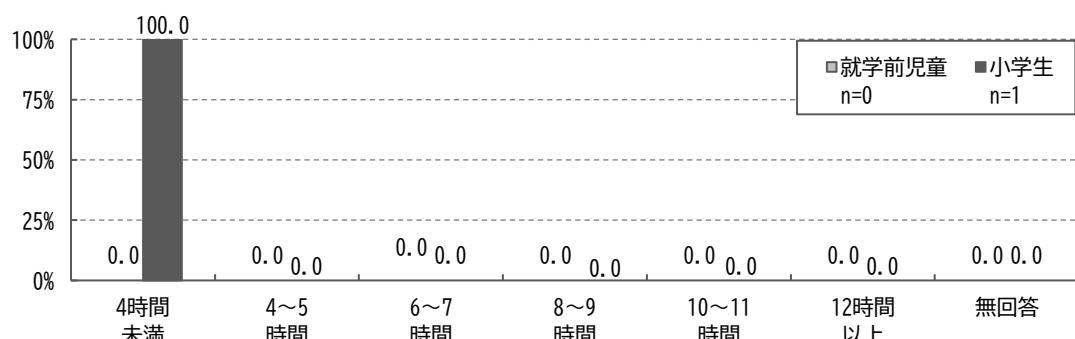
【父親の希望する就労形態】



問13-4[問11-4] 就労希望のある父親の希望就労日数（1週当たり）



問13-4[問11-4] 就労希望のある父親の希望就労時間（1日当たり）



第3章

子育て支援サービスの現状と 今後の利用希望



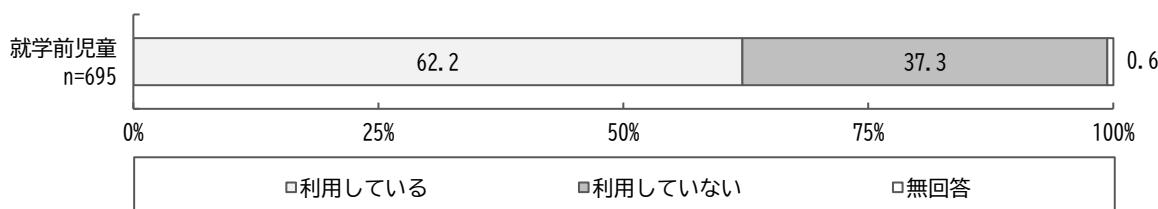
第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

1 就学前児童の平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

(1) 平日の定期的な教育・保育事業

○定期的な教育・保育事業の利用状況をみると、「利用している」が62.2%、「利用していない」が37.3%となっています。

問14 定期的な教育・保育事業の利用状況



年代別

○問14「定期的な教育・保育事業の利用状況」を年齢別でみると、5歳、6歳では「利用している」がそれぞれ100%となっています。2歳から4歳でも「利用している」が高くなっています。一方、0歳、1歳は「利用していない」割合が高くなっています。

問2 宛名の子どもの年齢×問14 定期的な教育・保育事業の利用状況

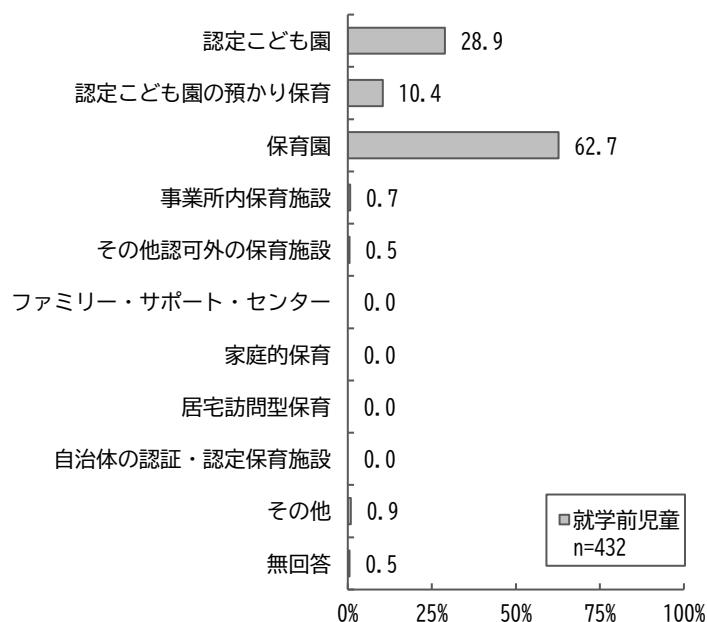
単位：(%)

	有効回答数 (件)	利用している	利用していない	無回答
合計	688	62.6	36.9	0.4
6歳	76	100.0	-	-
5歳	71	100.0	-	-
4歳	89	97.8	1.1	1.1
3歳	84	76.2	21.4	2.4
2歳	97	75.3	24.7	-
1歳	130	31.5	68.5	-
0歳	141	13.5	86.5	-



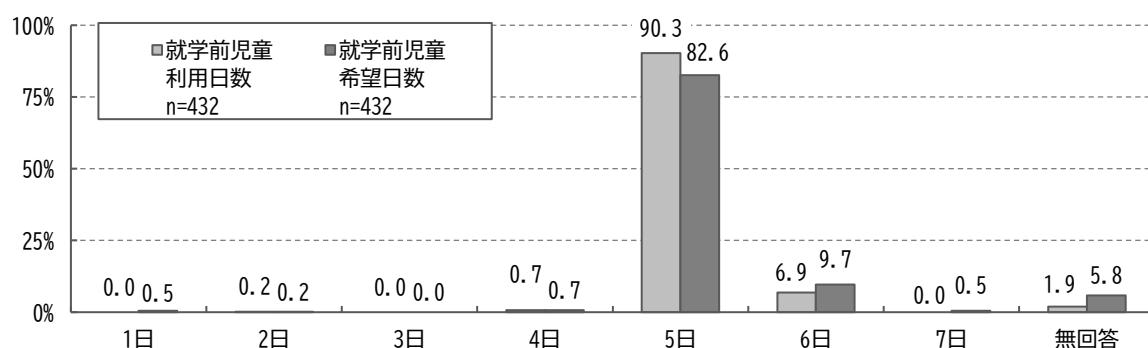
○利用中の事業をみると、「保育園」(62.7%)が最も高く、次いで「認定こども園」(28.9%)、「認定こども園の預かり保育」(10.4%)となっています。

問14-1 定期的な教育・保育事業の利用状況



○定期的な教育・保育事業の1週当たりの利用日数と希望日数をみると、利用日数、希望日数いずれも「5日」(利用日数90.3%、希望日数82.6%)が最も高くなっています。

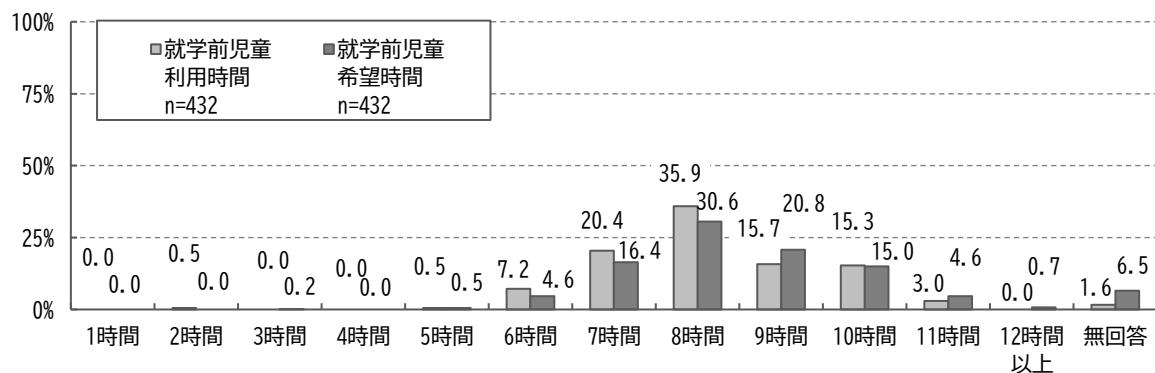
問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）





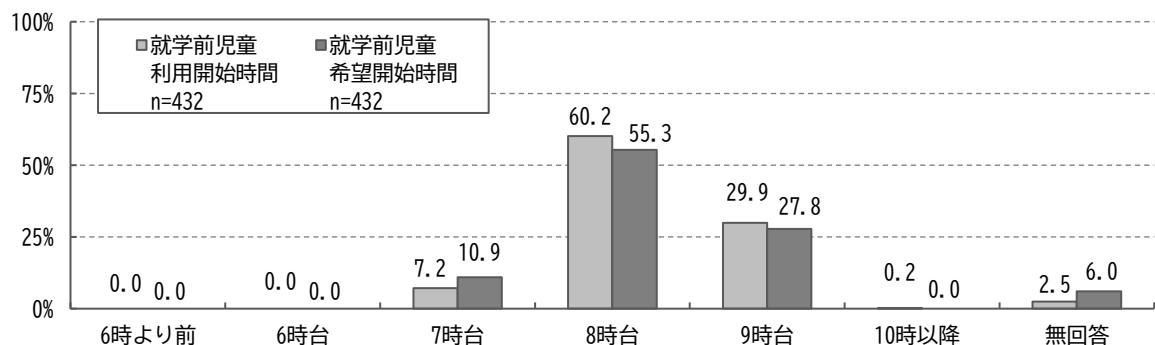
○1日当たりの利用時間と希望時間をみると、利用時間、希望時間いずれも「8時間」（利用時間35.9%、希望時間30.6%）が最も高く、次いで利用時間では「7時間」（20.4%）、希望時間では「9時間」（20.8%）となっています。

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）



○定期的な教育・保育事業の利用開始時間と希望開始時間をみると、利用開始時間、希望開始時間いずれも「8時台」（利用開始時間60.2%、希望開始時間55.3%）が最も高くなっています。

問14-2(1)(2) 利用開始時間 希望開始時間



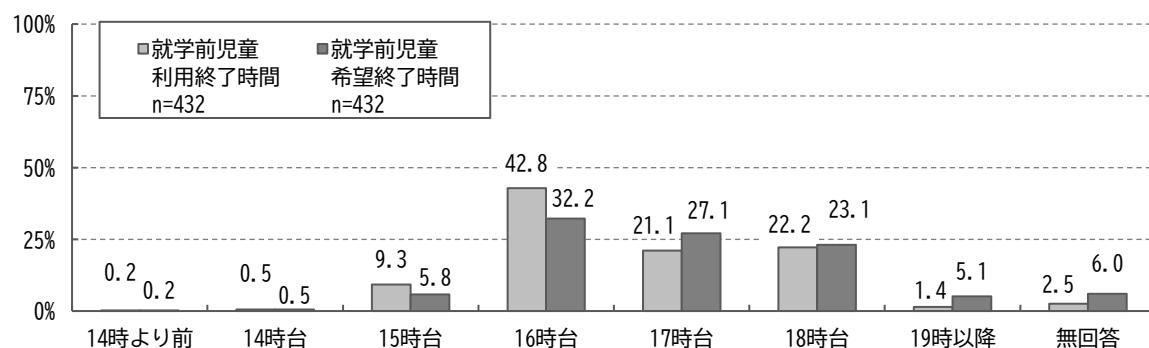
飯田市



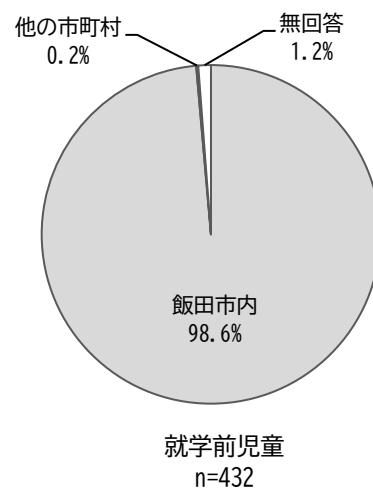
○定期的な教育・保育事業の利用終了時間と希望終了時間みると、利用終了時間、希望終了時間いずれも「16時台」(利用終了時間42.8%、希望終了時間32.2%)が最も高くなっています。

○現在、利用している教育・保育事業の実施場所をみると、「飯田市内」が98.6%となっています。

問14-2(1)(2) 利用終了時間 希望終了時間



問14-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所

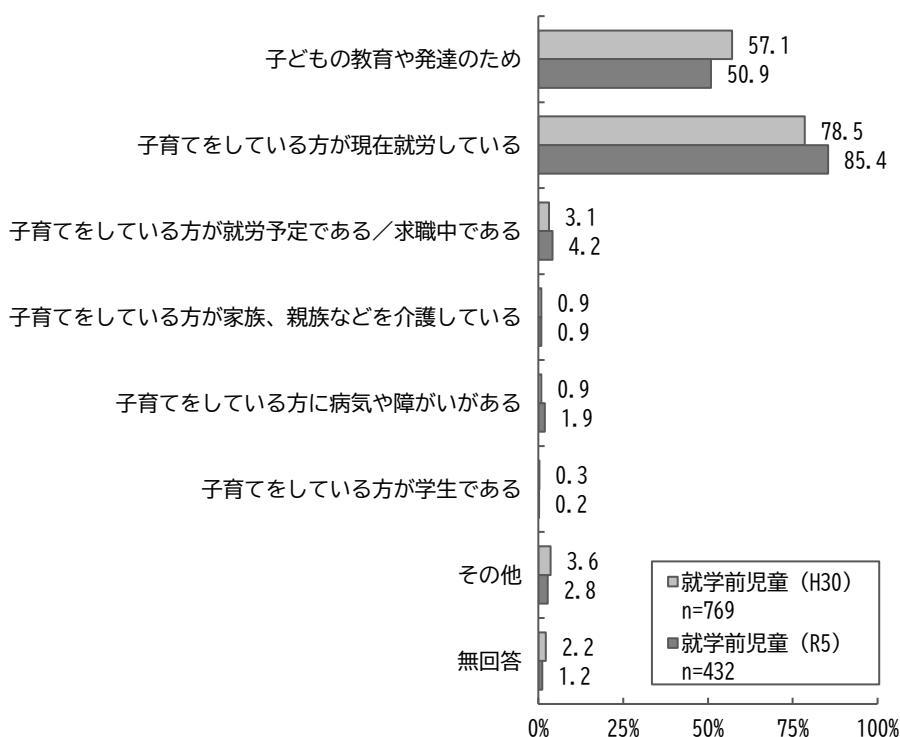




(2) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用の理由

○平日に教育・保育事業を利用している理由をみると、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」(85.4%)が最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」(50.9%)となっています。前回調査と比較すると、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が6.9ポイント増加し、「子どもの教育や発達のため」が6.2ポイント減少しています。

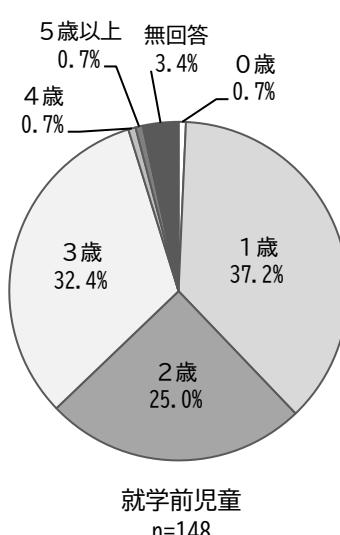
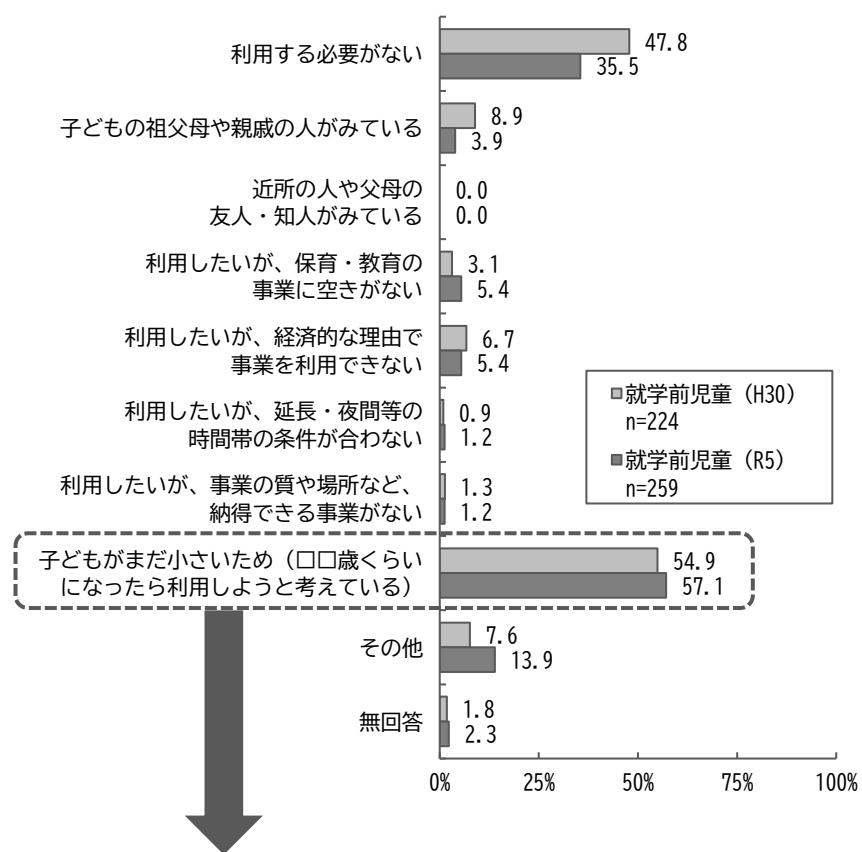
問14-4 平日に教育・保育事業を利用している理由（経年比較）





- 平日に教育・保育事業を利用していない理由をみると、「子どもがまだ小さいため□歳くらいになつたら利用しようと考えている」(57.1%)が最も高く、次いで「利用する必要がない」(35.5%)となっています。前回調査と比較すると、「利用する必要がない」が12.3ポイント、「子どもの祖父母や親戚がみている」が5.0ポイント減少しています。
- 「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになつたら利用しようと考えている）」と回答した人が、教育・保育事業の利用を希望する子どもの年齢をみると、「1歳」(37.2%)が最も高くなっています。

問14-5 教育・保育事業を利用していない理由（経年比較）





年代別

○問14-5「教育・保育事業を利用していない理由」を年齢別でみると、0歳～2歳では「子どもがまだ小さいため□歳くらいになつたら利用しようと考えている」、3歳では「利用する必要がない」が最も高くなっています。また、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」、「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」と回答した方が一定数います。

※4歳は回答者が1人のため、コメントを省略します

問2 宛名の子どもの年齢×問14-5 教育・保育事業を利用していない理由

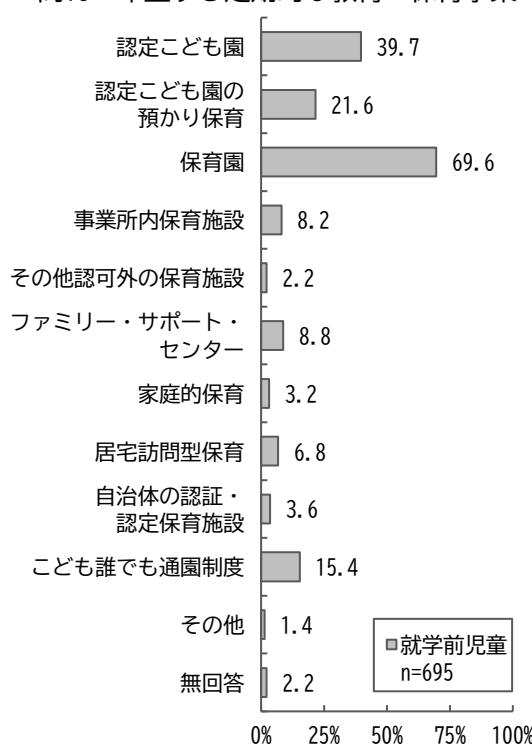
単位：(%)

有効回答数 (件)	利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	空きがないが、保育・教育の事業に	利用したいが、経済的な理由で事業を	利用できないが、延長・夜間等の時間帯の	条件が合わないが、延長・夜間等の時間帯の	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	利用したいが、事業がない	その他	無回答
合計	254	35.4	3.9	-	5.5	5.1	1.2	1.2	57.1	14.2	2.4
6歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
3歳	18	38.9	11.1	-	11.1	11.1	5.6	-	22.2	33.3	-
2歳	24	37.5	8.3	-	12.5	16.7	-	-	50.0	16.7	4.2
1歳	89	39.3	4.5	-	5.6	2.2	1.1	2.2	47.2	19.1	2.2
0歳	122	32.0	1.6	-	3.3	4.1	0.8	0.8	71.3	6.6	2.5

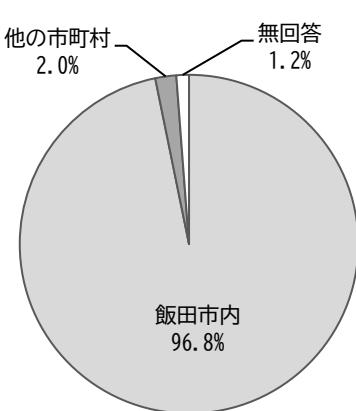


- 希望する定期的な事業をみると、「保育園」(69.6%)が最も高くなっています。また、「子ども誰でも通園制度」は15.4%となっています。
- 利用したい場所は「飯田市内」が96.8%となっています。
- 何歳から保育園に預けることが適当かについてみると、「3歳以上」(36.2%)が最も高く、次いで「1歳～1歳半未満」(25.2%)、「2歳～3歳未満」(21.9%)となっています。
- 保育園での保育を希望する理由をみると、「働いている時間帯に子どもを見る人がいないから」(91.3%)が最も高く、次いで「同じ年の子どもと一緒に遊ぶことが大切だと思うから」(79.1%)となっています。

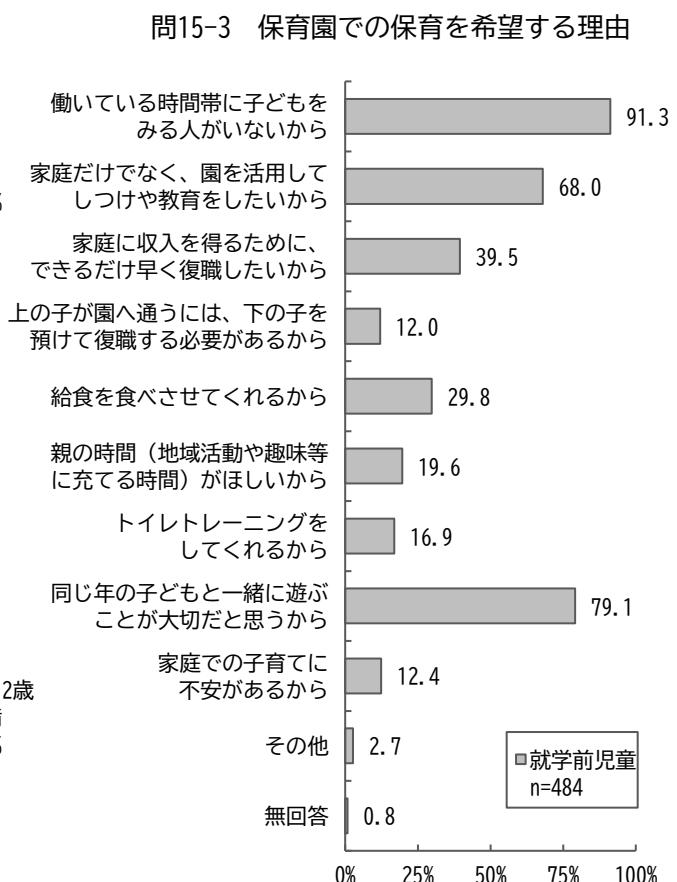
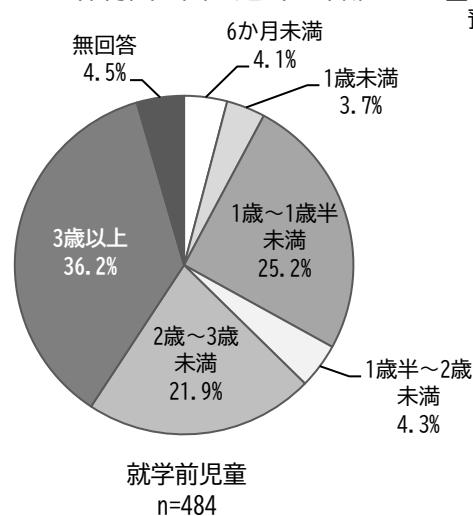
問15 希望する定期的な教育・保育事業



問15-1 教育・保育事業を利用したい場所

就学前児童
n=695

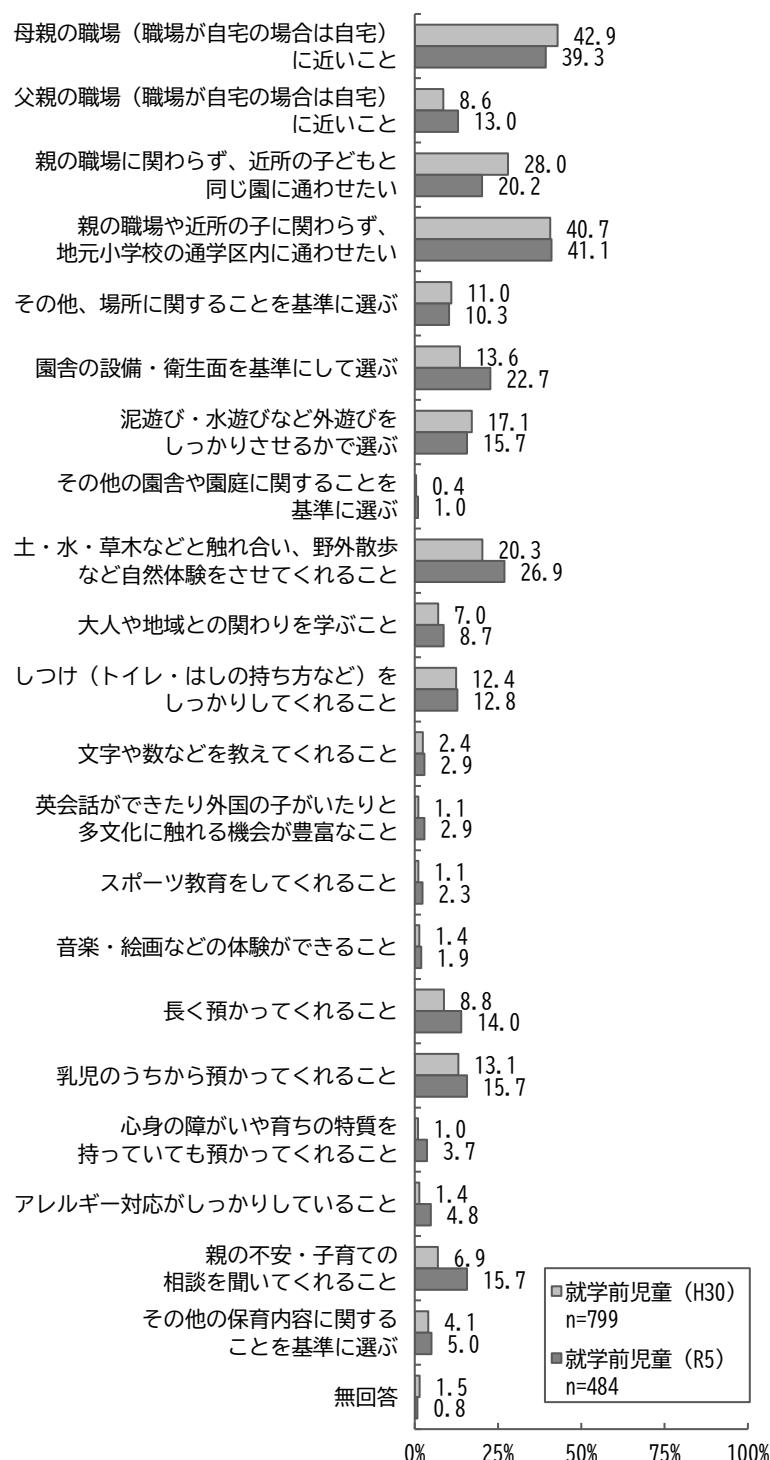
問15-2 保育園入園に適当な年齢





○保育園を選ぶときの基準をみると、「親の職場や近所の子に関わらず、地元小学校の通学区内に通わせたい」(41.1%)が最も高く、次いで「母親の職場（職場が自宅の場合は自宅）に近いこと」(39.3%)、「土・水・草木などと触れ合い、野外散歩など自然体験をさせてくれること」(26.9%)となっています。前回調査と比較すると、「園舎の設備・衛生面を基準にして選ぶ」が9.1ポイント、「親の不安・子育ての相談を聞いてくれること」が8.8ポイント増加しています。

問15-4 保育園を選ぶときの基準（経年比較）





年代別

- 問15-4「保育園を選ぶときの基準」を年齢別でみると、2歳～6歳の保護者では、「親の職場や近所の子に関わらず地元小学校の通学区内に通わせたい」との回答が最も多くなっています。一方、0歳～2歳の保護者では、4割以上が「母親の職場（職場が自宅の場合は自宅）に近いこと」と、1割以上が「父親の職場（職場が自宅の場合は自宅）に近いこと」と回答しています。
- 0歳～4歳の保護者では、「園舎の設備や衛生面」、「外遊びをしっかりさせること」、「自然体験をさせてくれること」、「親の不安や子育ての相談を聞いてくれる」など、保育の内容や質への関心が見られます。
- 4歳～6歳の保護者では、「長く預かってくれること」「乳児から預かってくれること」といった回答が一定数みられます。

問2 宛名の子どもの年齢×問15-4 保育園を選ぶときの基準（抜粋）

単位：(%)

有効回答数 (件)	近母親のこと (職場が自宅の場合は自宅) に	近父親のこと (職場が自宅の場合は自宅) に	親の職場に通わせたい、 近所の子どもと同じ	地元小学校の通学区内に通わせたい	園舎の設備・衛生面を基準にして選ぶ	か泥遊び・水遊びなど外遊びをしっかりさせる	野土・水・草木などと触れ合い、 野外散歩など自然体験をさせてくれること	長く預かってくれること	乳児のうちから預かってくれること	親の不安・子育ての相談を聞いてくれること	無回答	
全体	481	39.5	13.1	20.4	41.0	22.9	15.6	26.6	14.1	15.8	15.8	0.8
6歳	54	27.8	13.0	31.5	44.4	18.5	18.5	18.5	11.1	16.7	9.3	-
5歳	54	40.7	16.7	22.2	44.4	16.7	5.6	18.5	20.4	16.7	13.0	-
4歳	61	36.1	8.2	24.6	41.0	23.0	18.0	21.3	14.8	11.5	18.0	1.6
3歳	59	39.0	8.5	22.0	49.2	10.2	16.9	22.0	8.5	10.2	10.2	-
2歳	61	41.0	11.5	14.8	47.5	29.5	18.0	31.1	8.2	16.4	19.7	1.6
1歳	93	46.2	14.0	17.2	34.4	28.0	15.1	38.7	18.3	15.1	17.2	1.1
0歳	99	40.4	17.2	16.2	34.3	27.3	16.2	27.3	15.2	21.2	19.2	1.0



2 就学前児童の休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

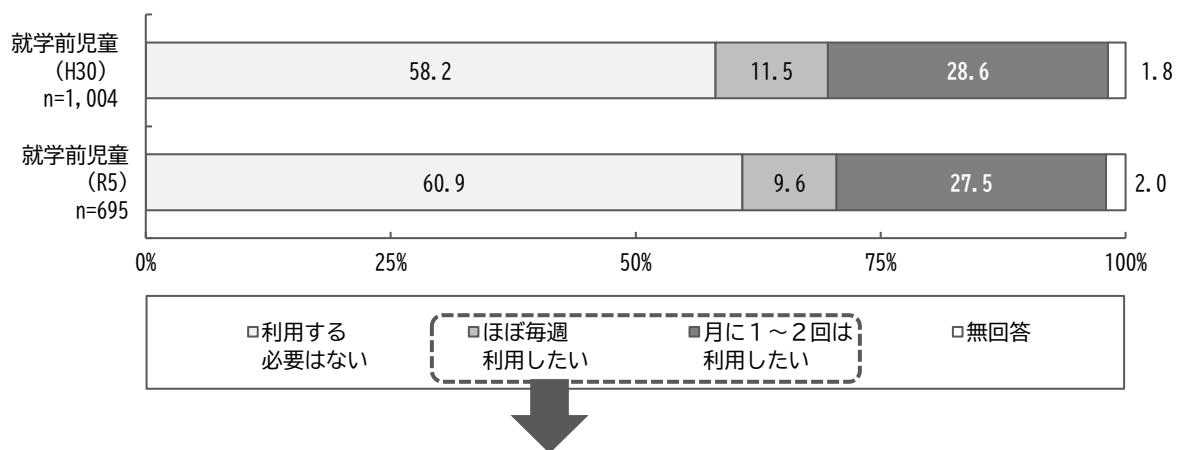
(1) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

○土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向をみると、「利用する必要はない」(60.9%)

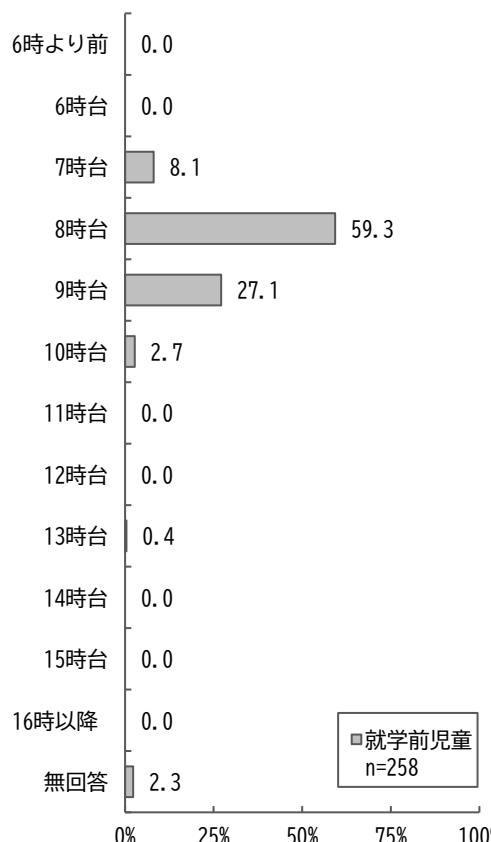
が最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」(27.5%) となっています。前回調査と比較すると、「ほぼ毎週利用したい」、「月に1～2回は利用したい」が微減しています。

○利用希望者の利用したい時間帯をみると、開始時間は「8時台」(59.3%)、終了時間は「16時台」(29.5%) が最も高くなっています。

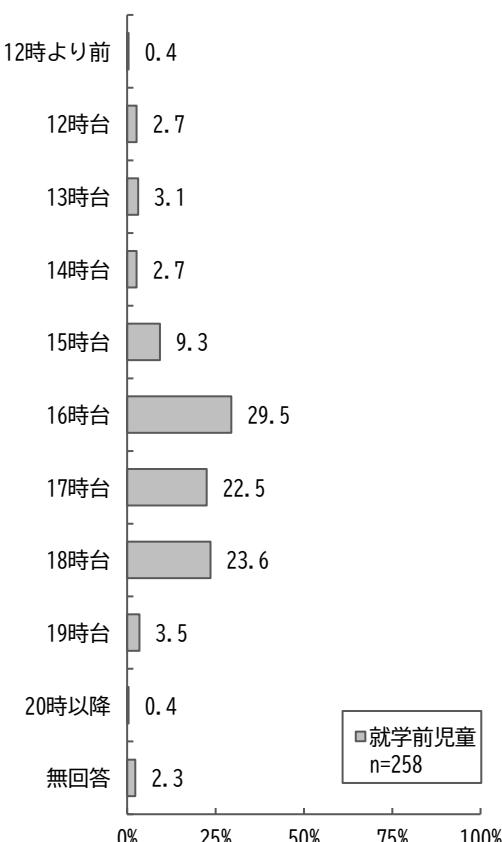
問19(1) 土曜日の利用希望（経年比較）



問19(1) 希望開始時間 (R5)



問19(1) 希望終了時間 (R5)

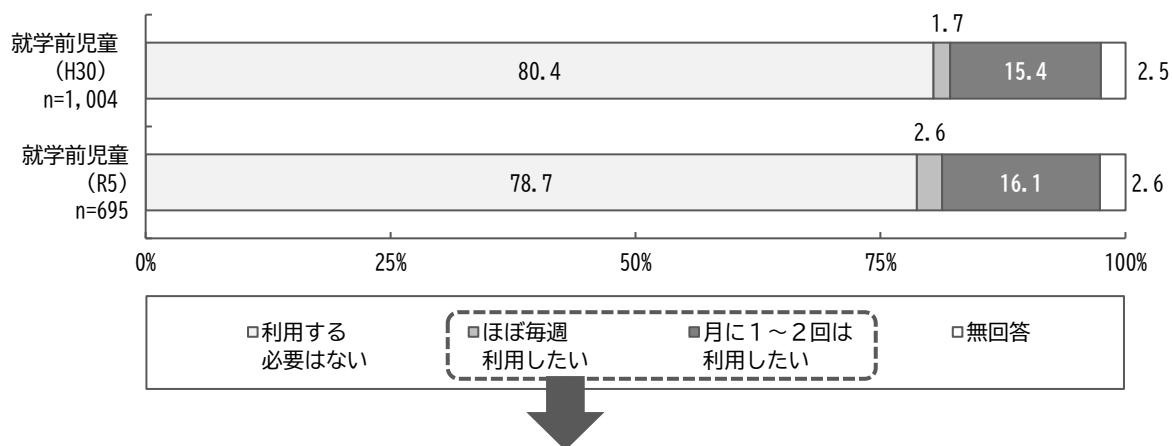




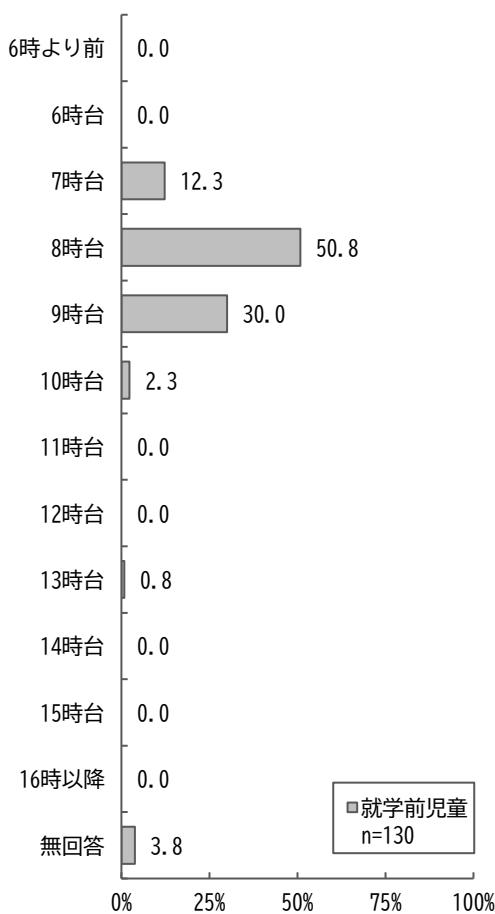
○日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向をみると、「利用する必要はない」(78.7%)が最も高くなっています。前回調査と比較すると、「ほぼ毎週利用したい」、「月に1~2回は利用したい」が微増しています。

○利用希望者の利用したい時間帯をみると、開始時間は「8時台」(50.8%)、終了時間は「18時台」(30.8%)が最も高くなっています。

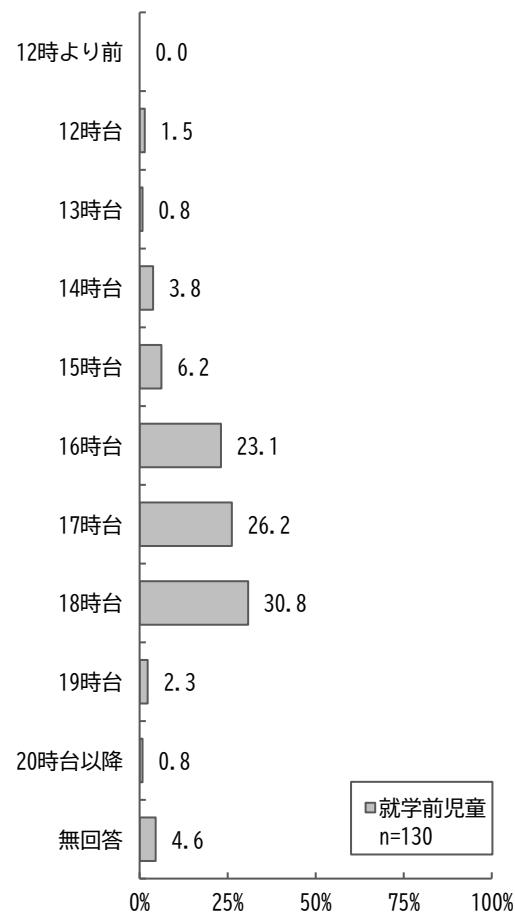
問19(2) 日曜・祝日の利用希望（経年比較）



問19(2) 希望開始時間 (R5)



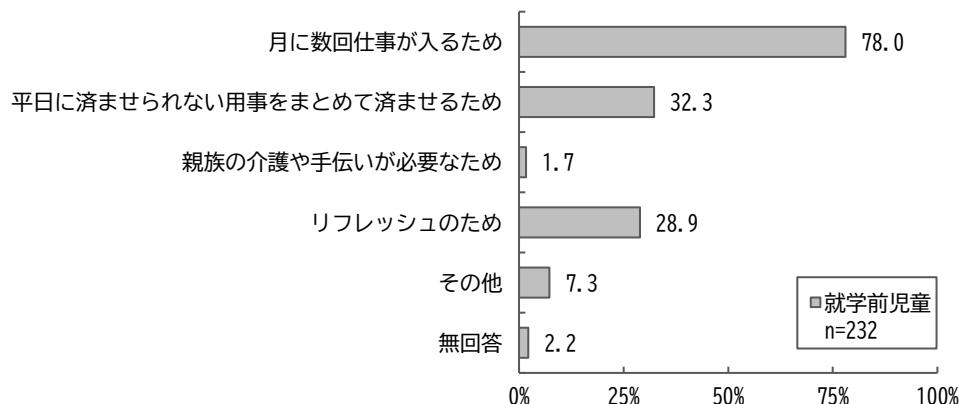
問19(2) 希望終了時間 (R5)





○土曜日と日曜日において「月に1～2回は利用したい」と回答した方の理由をみると、「月に数回仕事が入るため」(78.0%)が最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(32.3%)、「リフレッシュのため」(28.9%)となっています。

問19-1 毎週ではなく「月に1～2回は利用したい」理由



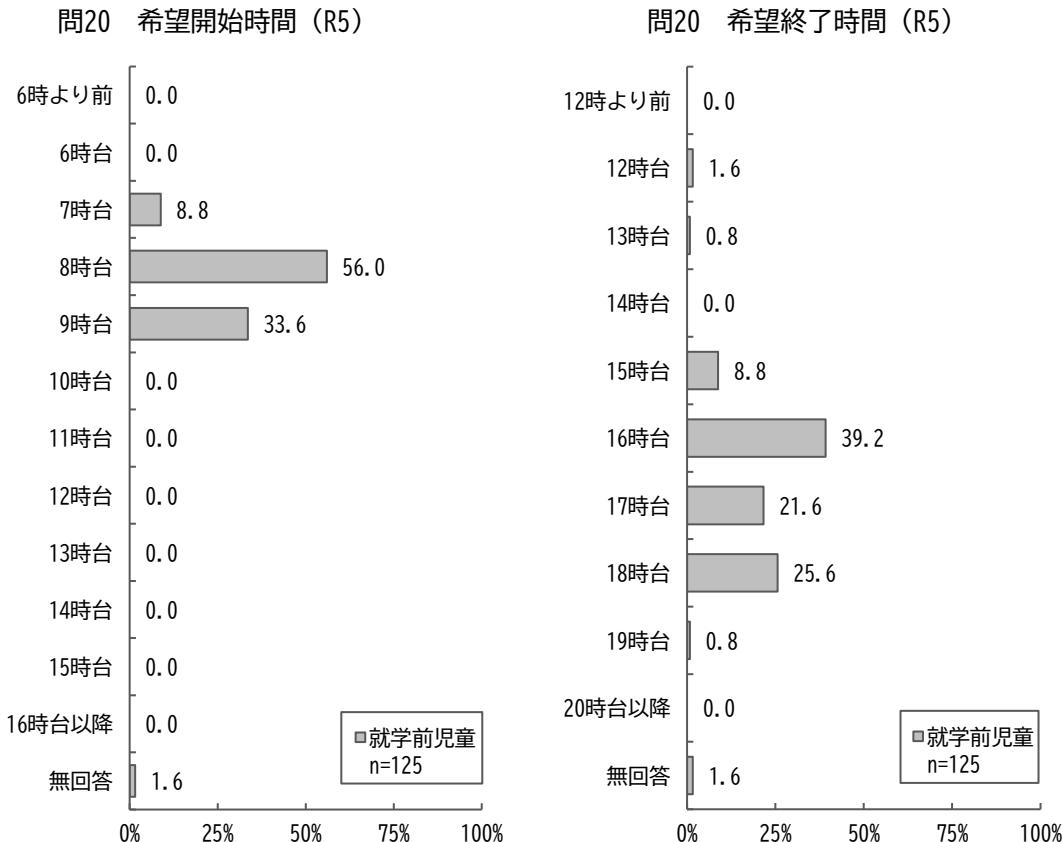
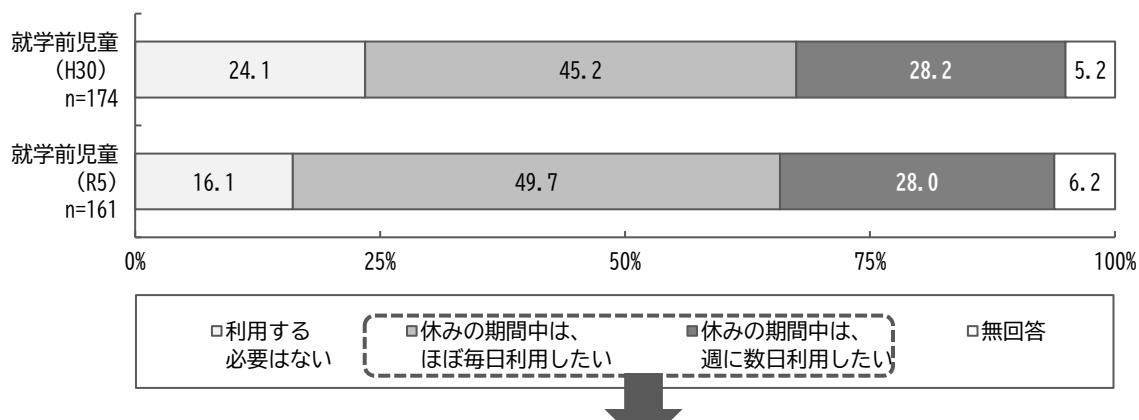


(3) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

○幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向をみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(49.7%)が最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」(28.0%)となっています。前回調査と比較すると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が4.5ポイント増加しています。

○利用希望者の利用したい時間帯をみると、開始時間は「8時台」(56.0%)、終了時間で「16時台」(39.2%)が最も高くなっています。

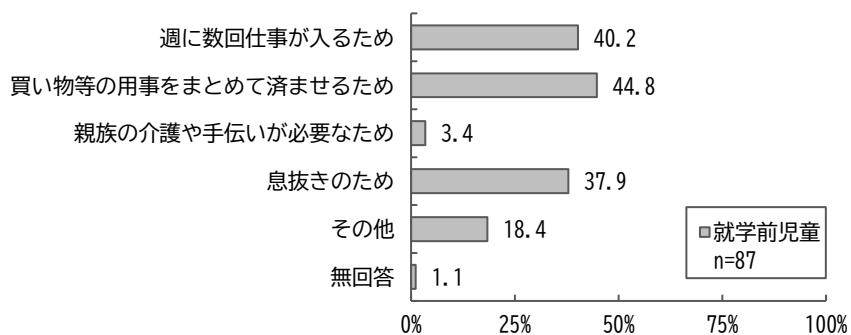
問20 長期休暇中の利用希望（認定こども園利用者【幼稚園利用者も含む】）（経年比較）





○長期休暇中において「休みの期間中は、週に数日利用したい」と回答した方の理由をみると、就学前児童では、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(44.8%)が最も高く、次いで「週に数回仕事が入るため」(40.2%)、「息抜きのため」(37.9%)となっています。

問20-1 「休みの期間中、週に数日利用したい」理由



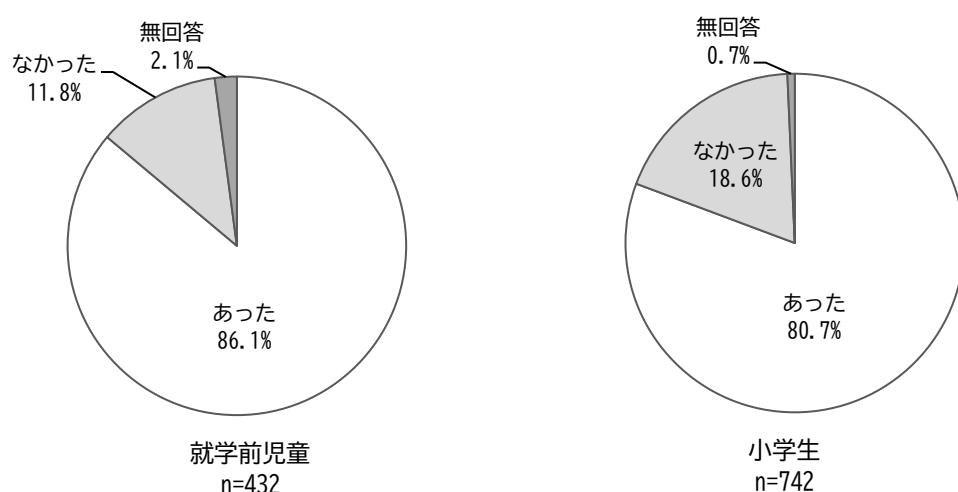


3 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

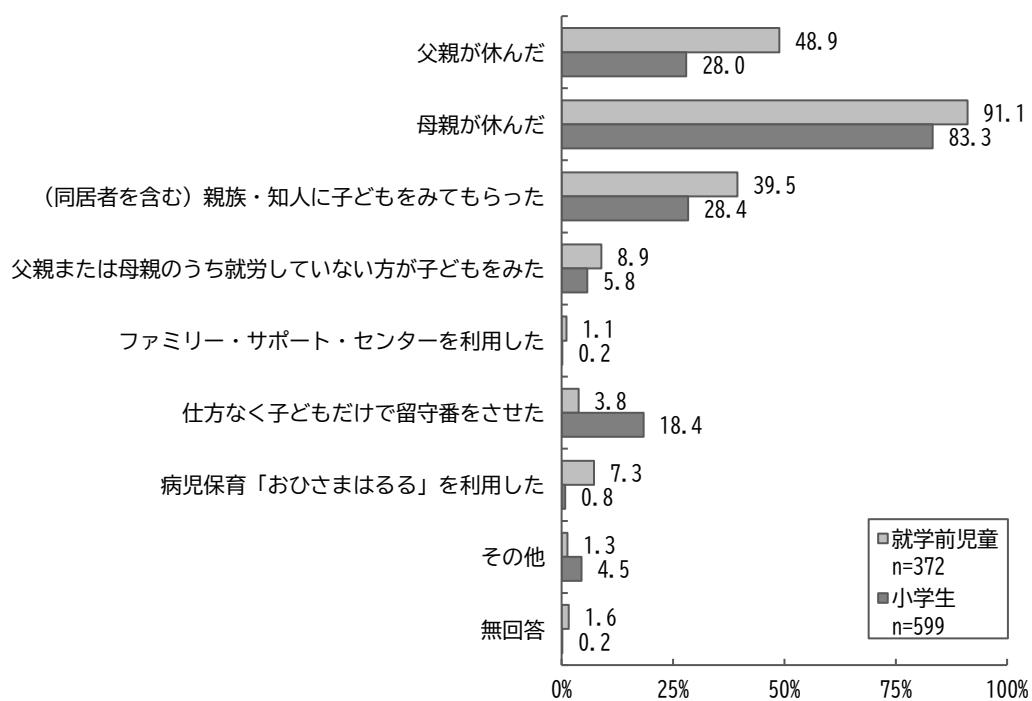
(1) 病気やケガで通常の事業が利用できない時の対処について

- 病気やケガで通常の事業が利用できなかったことが、「あった」と回答した方をみると、就学前児童では86.1%、小学生では80.7%となっています。
- その際の対処方法をみると、就学前児童、小学生いずれも「母親が休んだ」（就学前児童91.1%、小学生83.3%）が最も高く、次いで就学前児童では「父親が休んだ」（48.9%）、小学生では「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」（28.4%）となっています。

問21[問12] 病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無



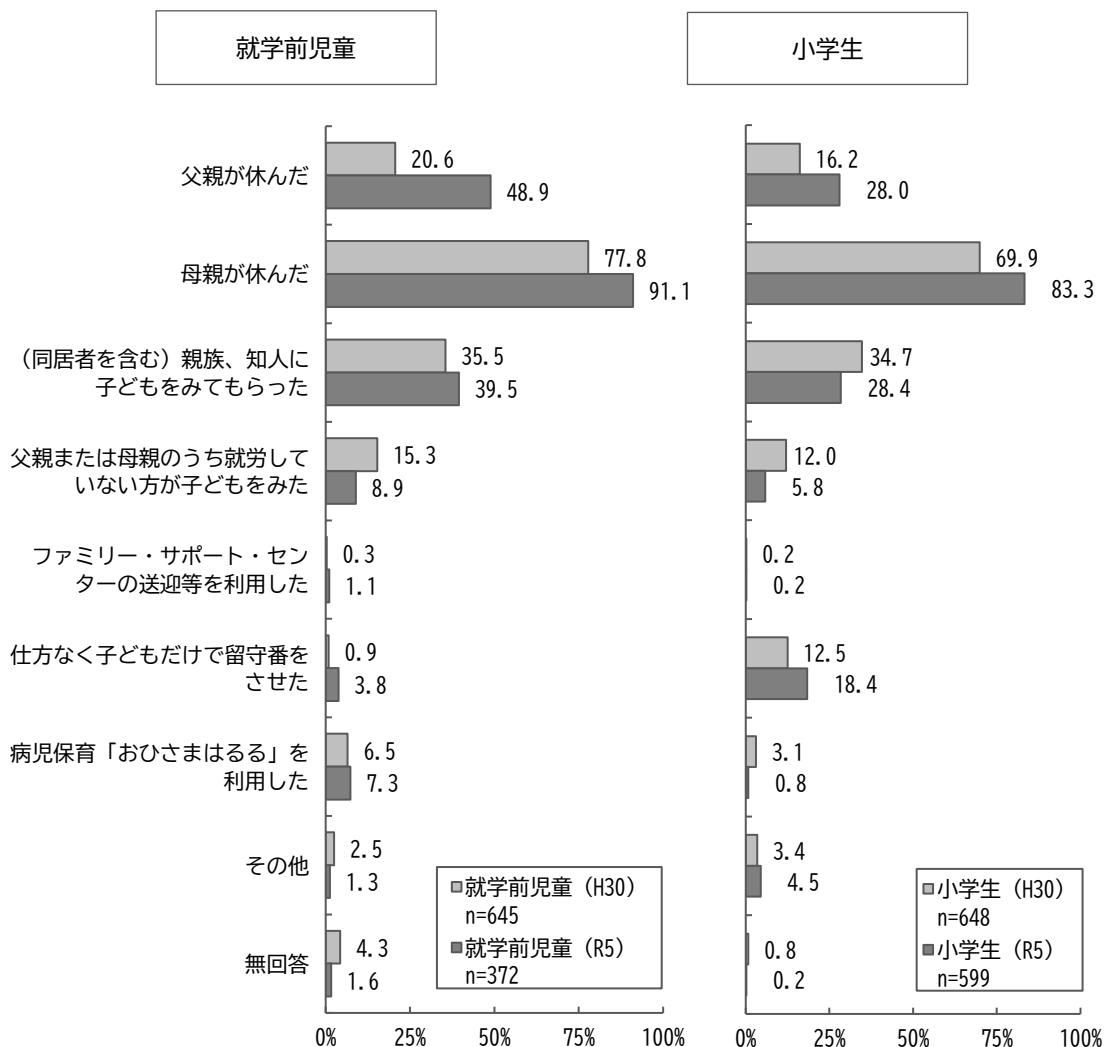
問21-1[問12-1] この1年間の対処方法





○病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の対処方法について前回調査と比較すると、就学前児童では、「父親が休んだ」が、28.3ポイント、「母親が休んだ」が13.3ポイント増加しています。小学生では「母親が休んだ」が13.4ポイント、「父親が休んだ」が11.8ポイント、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が5.9ポイント増加しています。

■ 問21-1[問12-1] この1年間の対処方法（経年比較）

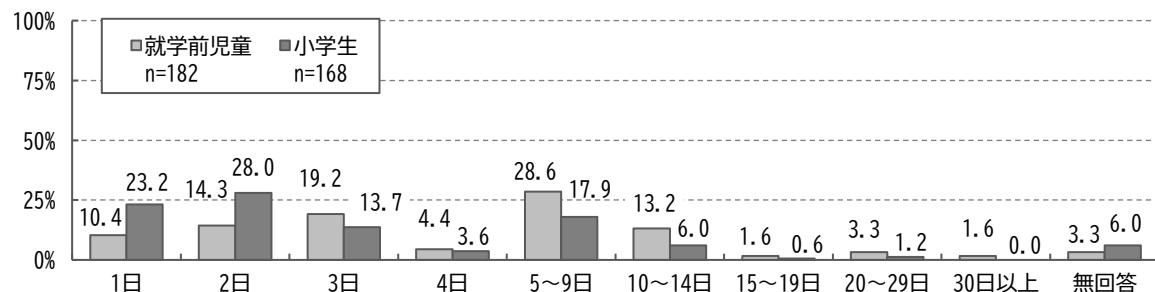


飯田市



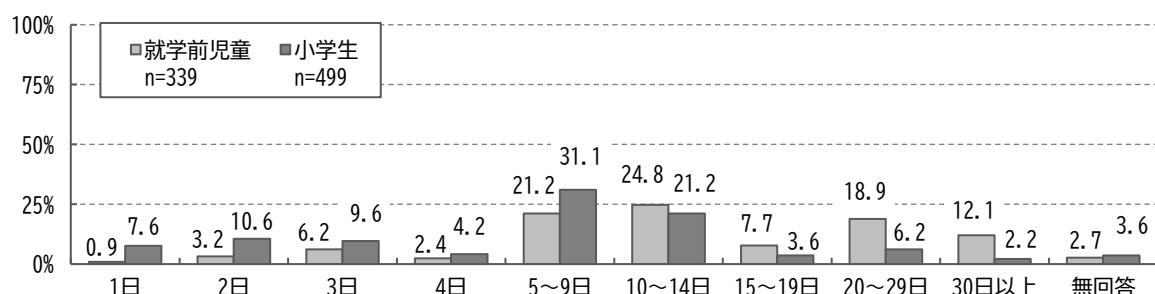
○対処方法別にこの1年間の対処日数をみると、「父親が休んだ日数」は、就学前児童では「5～9日」(28.6%)、小学生では「2日」(28.0%)が最も高くなっています。

問21-1.1[問12-1.1] 父親が休んだ日数



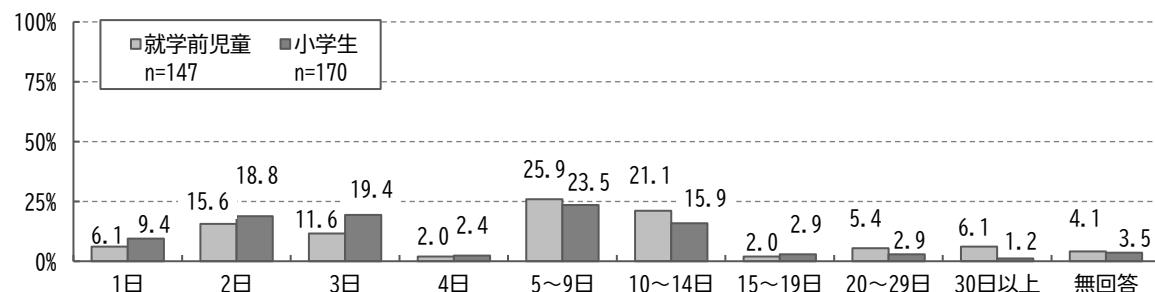
○「母親が休んだ日数」は、就学前児童では「10～14日」(24.8%)、小学生では「5～9日」(31.1%)が最も高くなっています。

問21-1.2[問12-1.2] 母親が休んだ日数



○「親族・知人に子どもをみてもらった日数」は、就学前児童、小学生いずれも「5～10日」(就学前児童25.9%、小学生23.5%)が最も高くなっています。

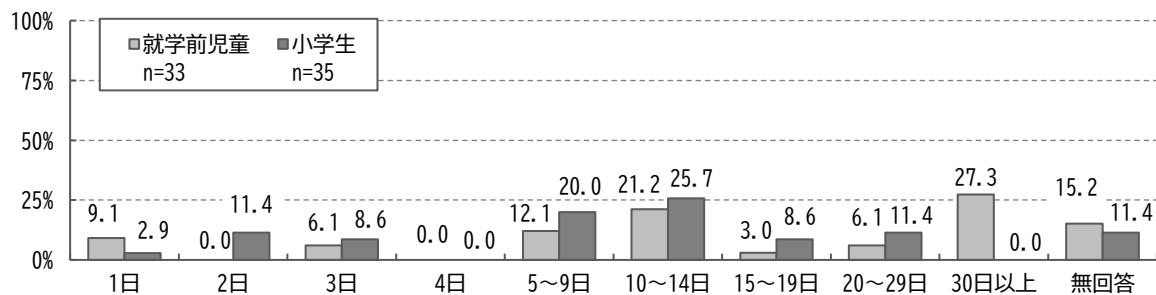
問21-1.3[問12-1.3] (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数





- 「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた日数」は、就学前児童では「10～14日」(21.2%)、小学生では、「30日以上」(23.7%)となっています。

問21-1.4[問12-1.4] 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた日数



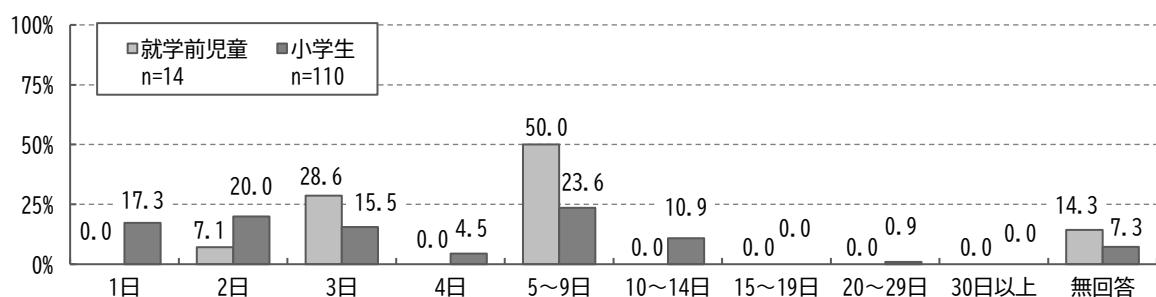
- 「ファミリー・サポート・センターを利用した日数」は、以下のとおりです。

問21-1.5[問12-1.5] ファミリー・サポート・センターを利用した日数



- 「仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数」は、就学前児童、小学生いずれも「5～9日」(就学前児童50.0%、小学生23.6%)が最も高くなっています。

問21-1.6[問12-1.6] 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

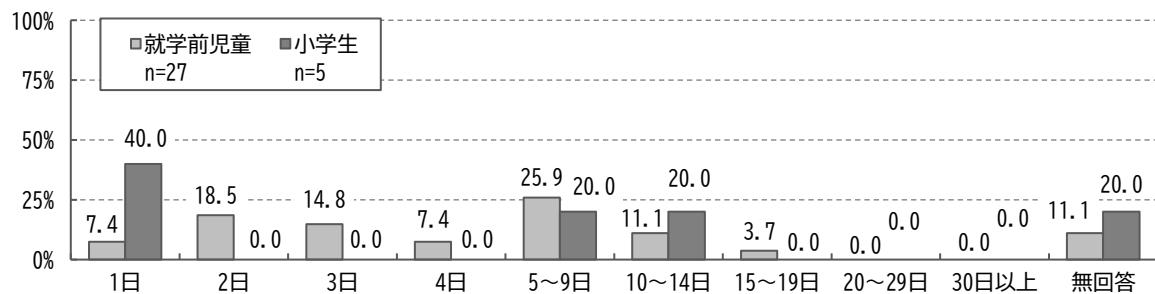


飯田市



- 「病児保育「おひさまはるる」を利用した日数」は、就学前児童では、「5～9日」(25.9%)が最も高くなっています。

問21-1.7[問12-1.7] 病児保育「おひさまはるる」を利用した日数

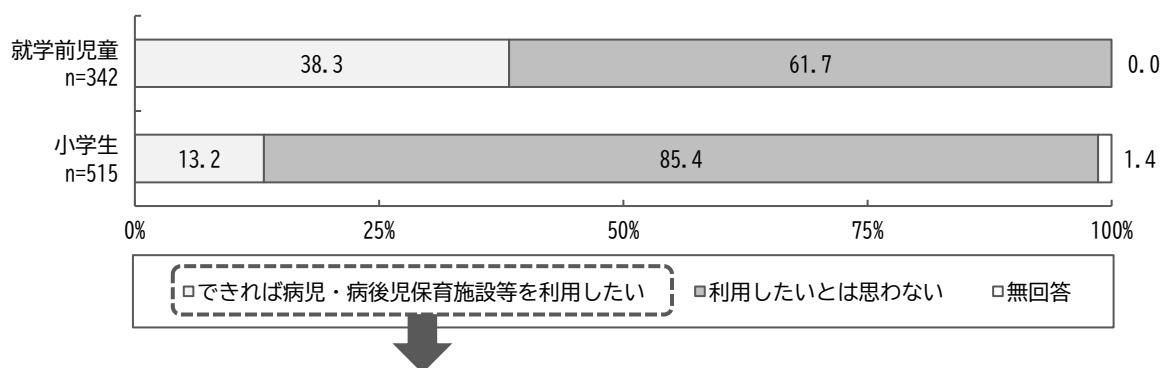


(2) 病児・病後児の保育施設の利用希望

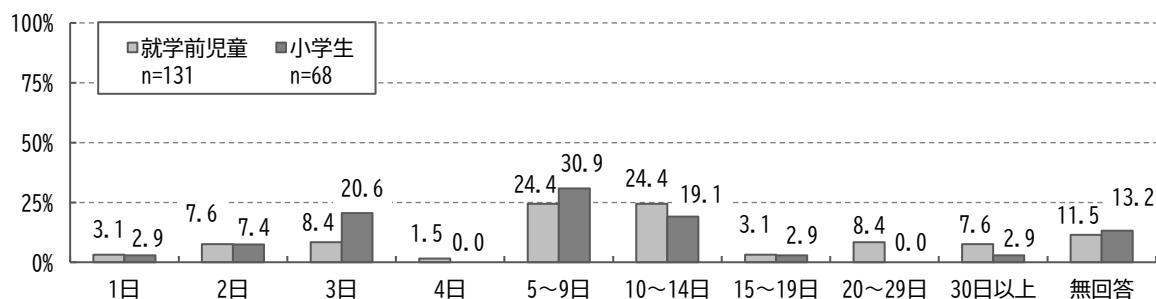
- 父親、母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用意向をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方は、就学前児童では38.3%、小学生では13.2%となっています。

- その際の年間利用希望日数をみると、就学前児童、小学生いずれも「5～9日」(就学前児童24.4%、小学生30.9%)が最も高くなっています。

問21-2[問12-2] 父親、母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用意向



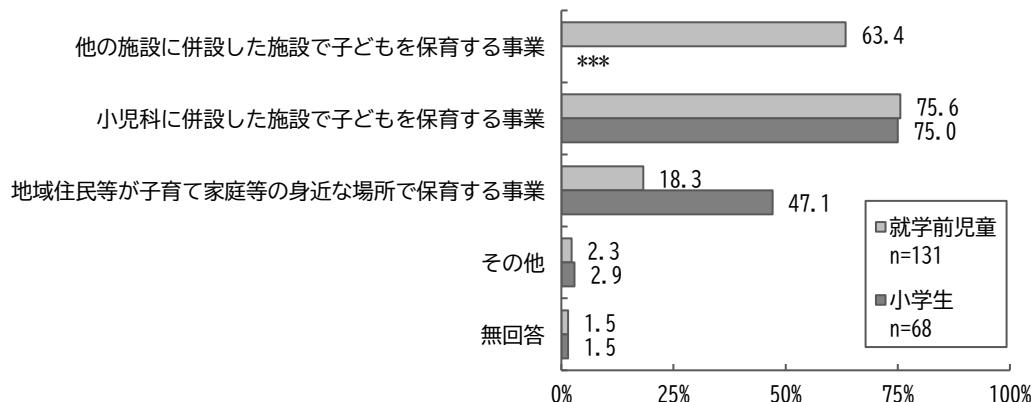
問21-2[問12-2] 病児・病後児保育施設の利用希望日数





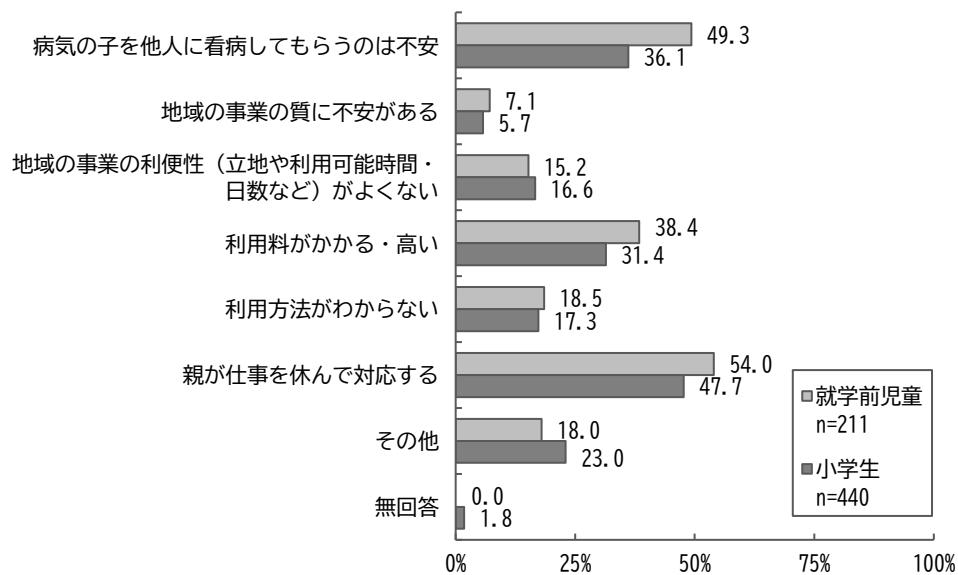
- 子どもを預ける場合の望ましい事業形態をみると、就学前児童、小学生いずれも「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(就学前児童75.6%、小学生75.0)が最も高くなっています。
- 病児・病後児保育施設等の利用意向がない方の理由をみると、就学前児童、小学生いずれも「親が仕事を休んで対応する」(就学前児童54.0%、小学生47.7%)が最も高くなっています。

問21-3[問12-3] 子どもを預ける場合の望ましい事業形態



※ 「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」は就学前のみの選択肢

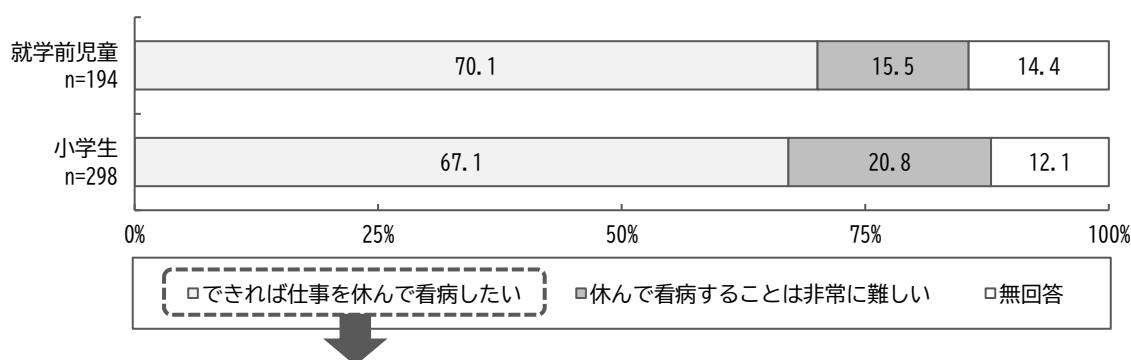
問21-4[問12-4] 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由



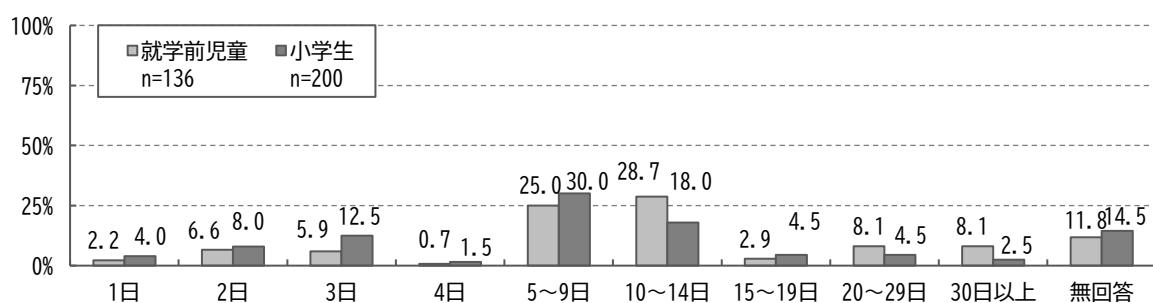


- 父母が休む以外の対処方法を選んだ方のうち、「できれば仕事を休んで看病したい」と回答した方をみると、就学前児童では70.1%、小学生では67.1%となっています。
- 「できれば仕事を休んで看病したい」と回答した方の年間希望日数は、就学前児童では「10～14日」(28.7%)、小学生では「5～9日」(30.0%)が最も高くなっています。
- 「休んで看病することは非常に難しい」と回答した方の理由をみると、就学前児童では「休暇日数が足りないので休めない」(36.7%)、小学生では「子どもの看病を理由に休みがとれない」(33.9%)が最も高くなっています。また、「その他」が就学前児童では40.0%、小学生では41.9%となっていることから、選択項目以外にもさまざまな理由があることがうかがえます。

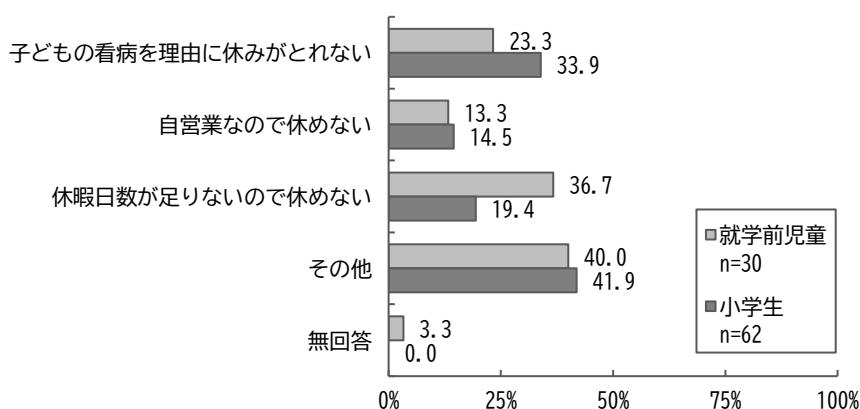
問21-5[問12-5] 「父母が仕事を休んで看病したい」意向



問21-5.1[問12-5.1] 「できれば仕事を休んで看病したい」希望日数（年間）



問21-6[問12-6] 「休んで看病することは非常に難しい」理由



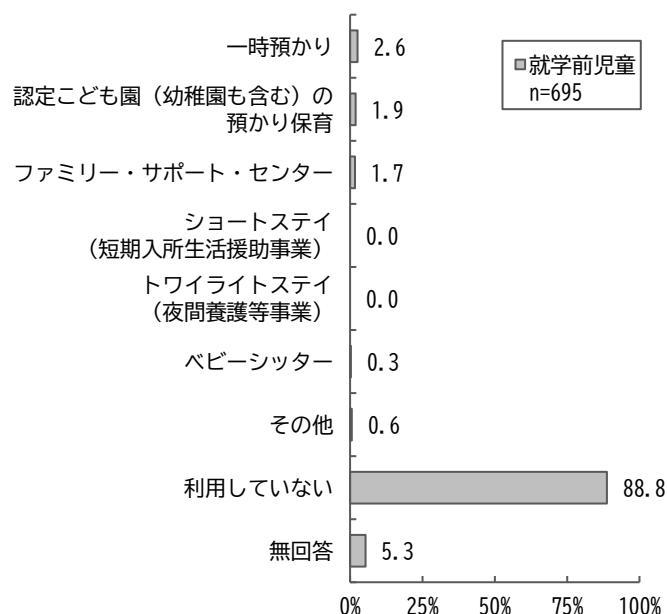


4 不定期の一時保育の利用について

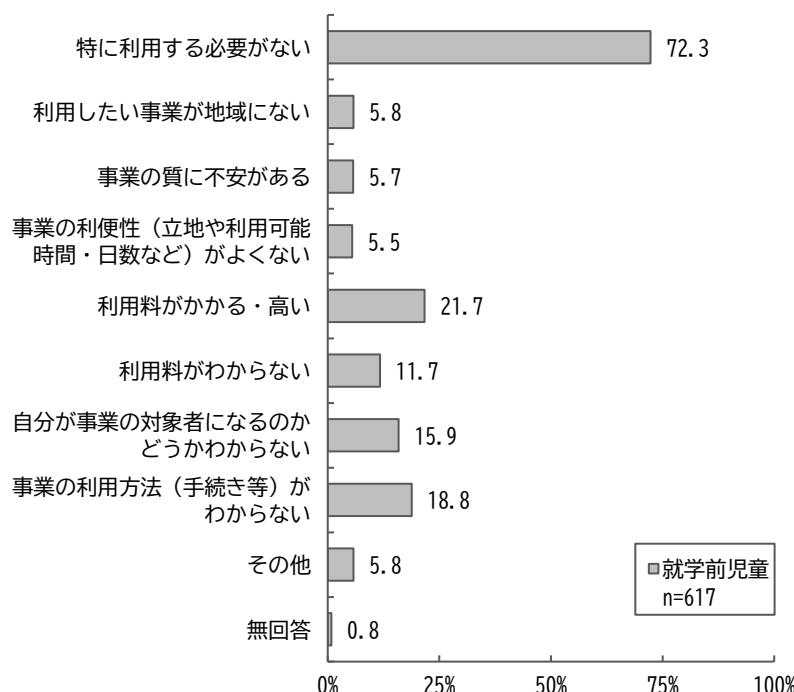
(1) 就学前児童が不定期に利用している教育・保育事業の状況

- 不定期に利用している教育・保育事業の状況をみると、「利用していない」が88.8%となっています。利用している事業は「一時預かり」(2.6%)となっています。
- 「利用していない」理由をみると「特に利用する必要がない」が72.3%となっています。

問22 不定期に利用している一時預かり事業



問22-1 現在利用していない理由

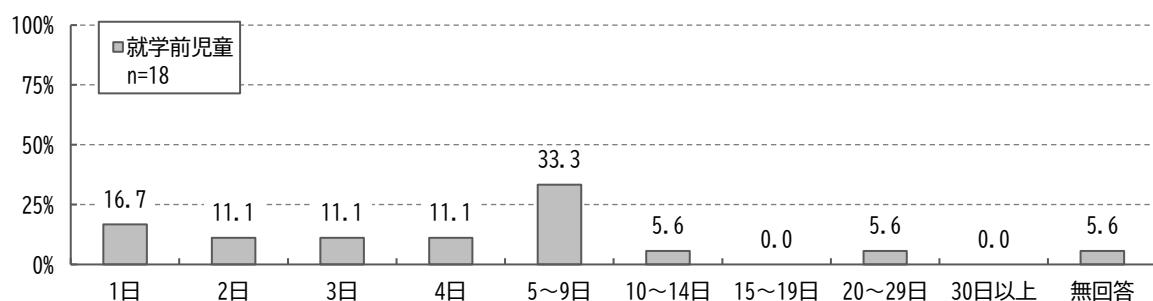


飯田市

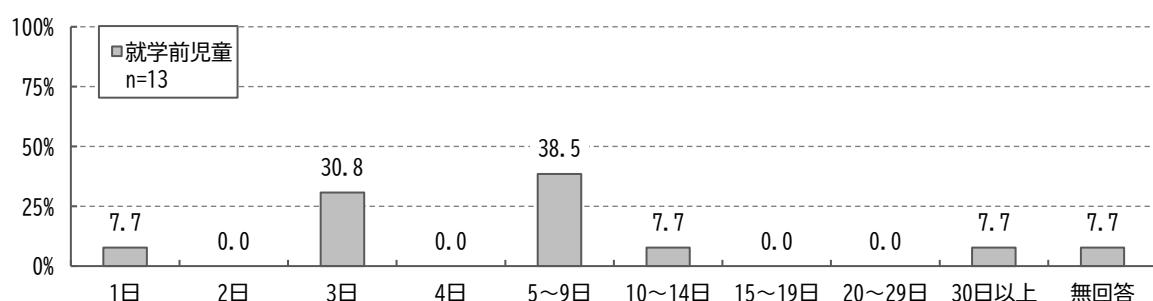


○事業別の年間利用日数は以下のとおりです。

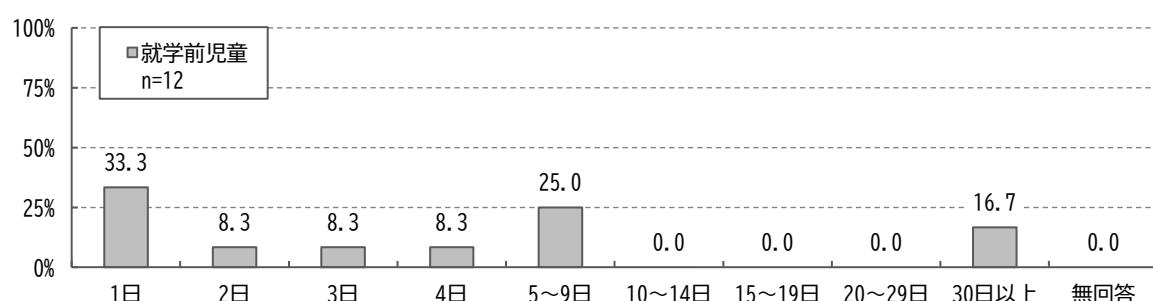
問22.1 「一時預かり」年間利用日数



問22.2 「認定こども園（幼稚園も含む）の預かり保育」年間利用日数



問22.3 「ファミリー・サポート・センター」年間利用日数



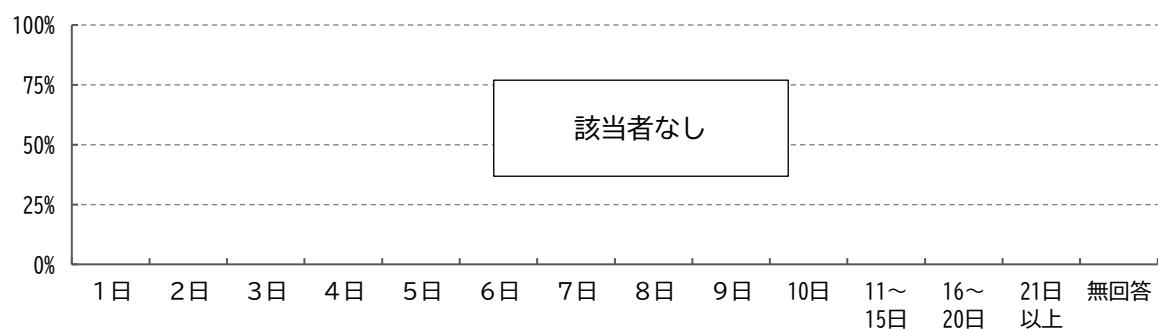
問22.4 「ショートステイ（短期入所生活援助事業）」年間利用日数



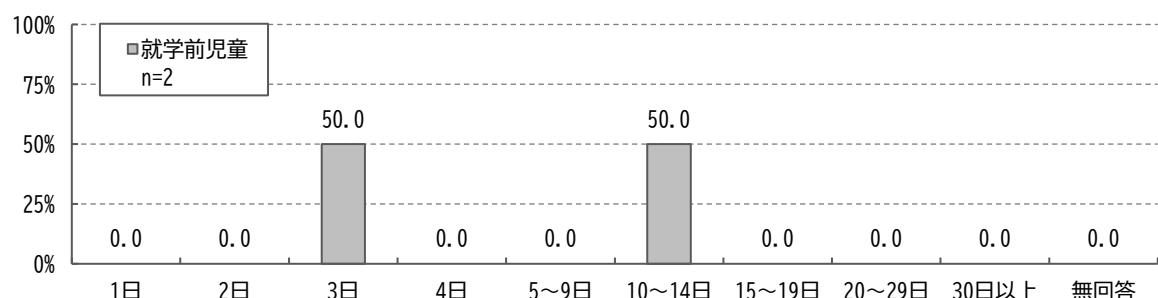
第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望



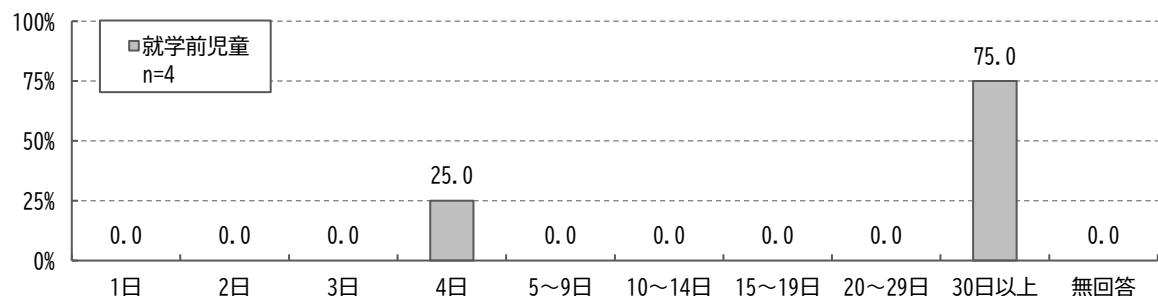
問22.5 「トワイライトステイ（夜間養護等事業）」年間利用日数



問22.6 「ベビーシッター」年間利用日数



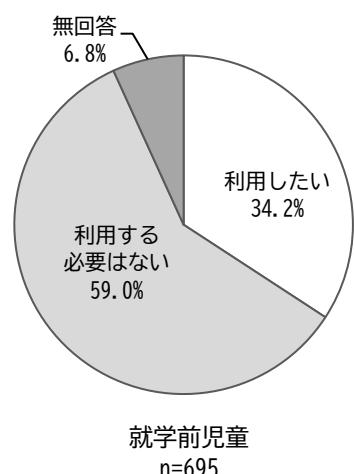
問22.7 「その他」年間利用日数



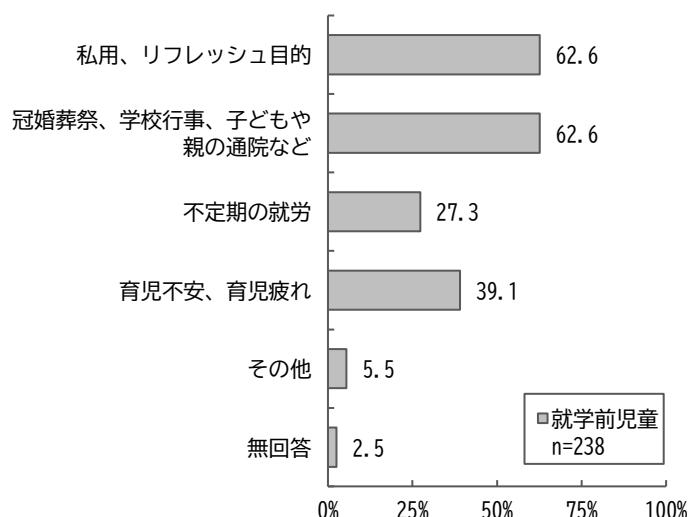


- 一時保育事業の利用希望をみると、「利用したい」が34.2%となっています。
- 一時保育事業の利用目的をみると、「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（各62.6%）が最も高くなっています。

問23 一時保育事業の利用希望

就学前児童
n=695

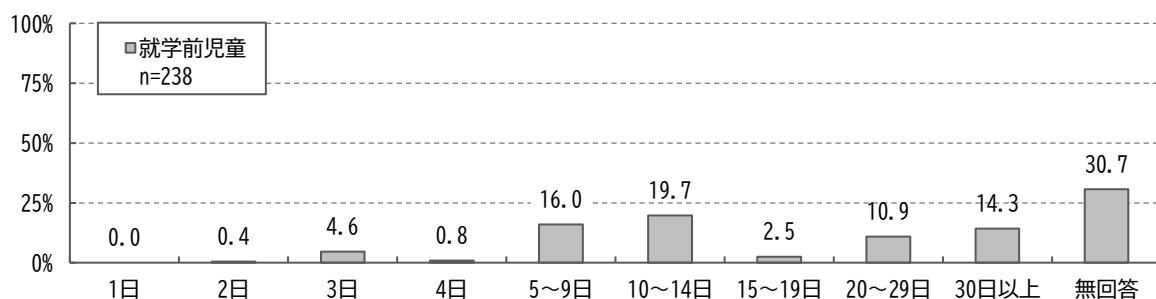
問23 利用したい目的





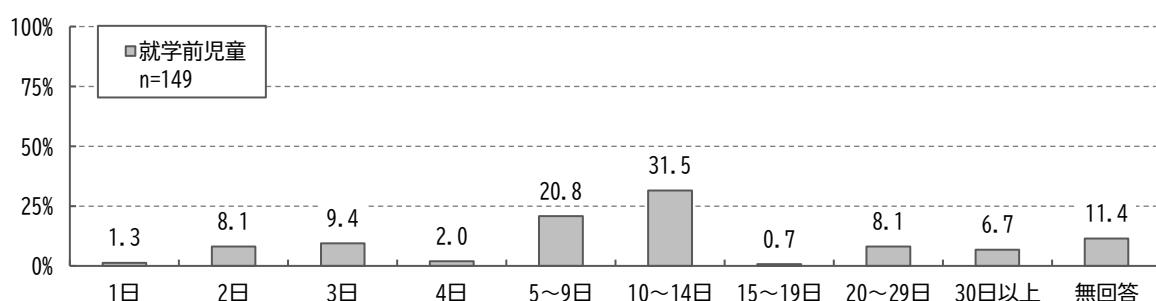
○事業の利用希望年間合計日数をみると、「10～14日」(19.7%)が最も高くなっています。

問23.1 事業の利用希望年間合計日数



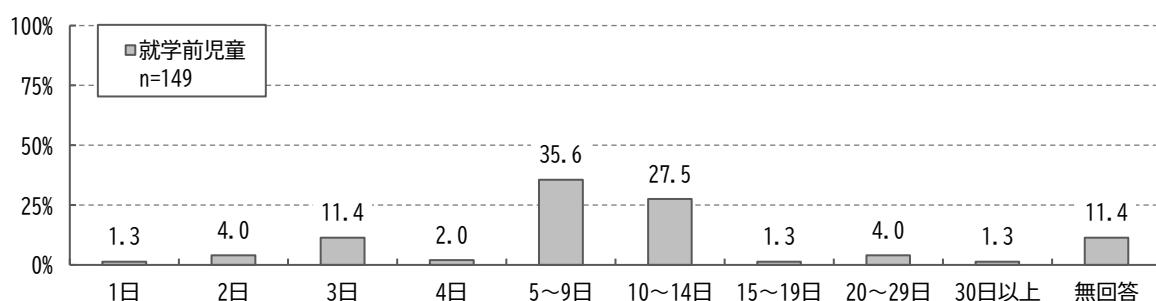
○目的ごとの年間利用希望日数をみると、「私用、リフレッシュ目的」では「10～14日」(31.5%)が最も高くなっています。

問23.① 私用、リフレッシュ目的



○「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」では「5～9日」(35.6%)が最も高くなっています。

問23.② 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等

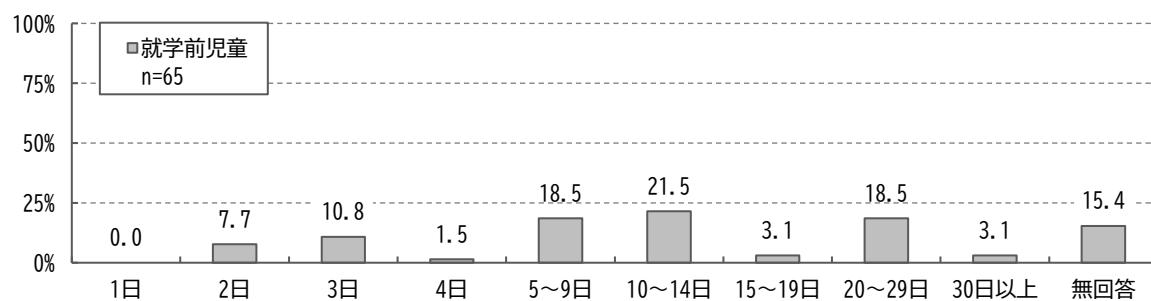


飯田市



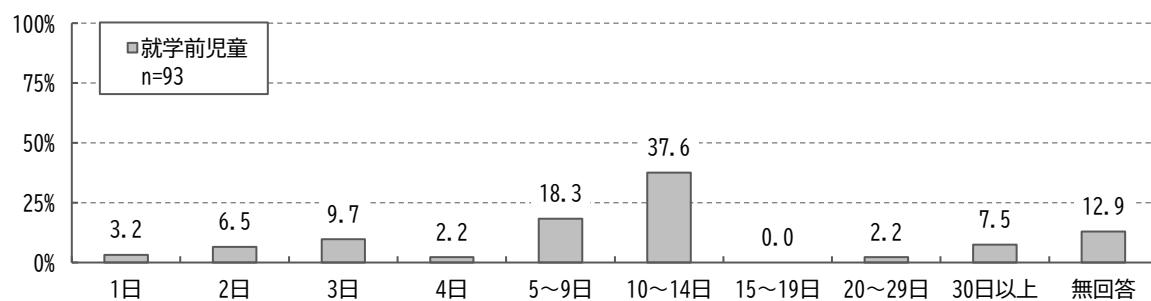
○「不定期の就労」では「10～14日」(21.5%)が最も高くなっています。

問23.③ 不定期の就労



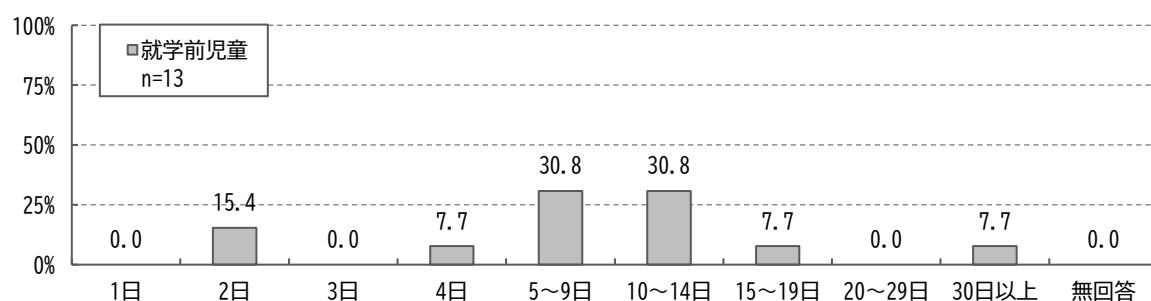
○「育児不安、育児疲れ」では「10～14日」(37.6%)が最も高くなっています。

問23.④ 育児不安、育児疲れ



○「その他」では「5～9日」「10～14日」(各30.8%)が最も高くなっています。

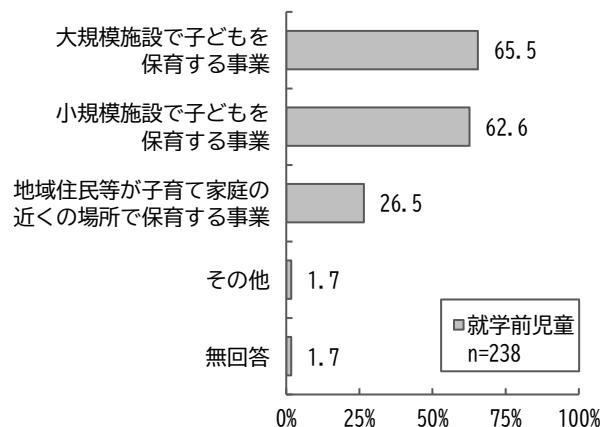
問23.⑤ その他





○一時保育として子どもを預ける場合の望ましい事業形態をみると、「大規模施設で子どもを保育する事業」(65.5%)が最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」(62.6%)となっています。

問23-1 子どもを預ける場合の望ましい事業形態

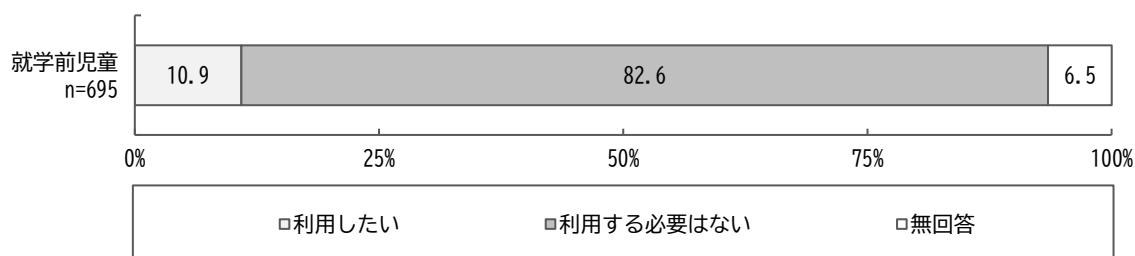




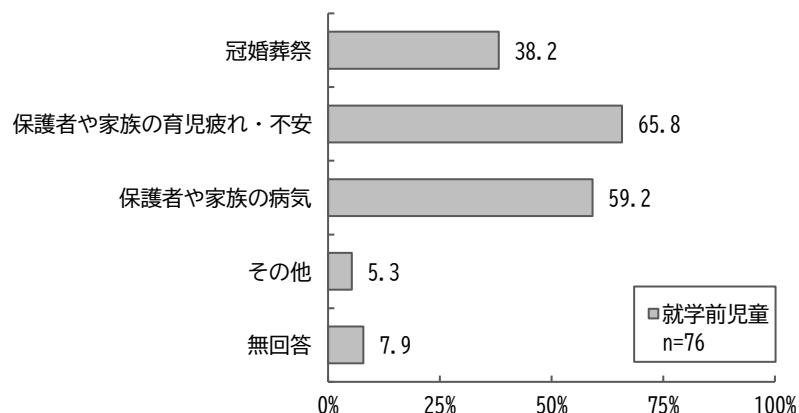
(2) 宿泊を伴う一時保育の利用状況

- 保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預ける事業の利用希望をみると、「利用したい」が10.9%となっています。
- 事業を利用したい理由についてみると、「保護者や家族の育児疲れ・不安」(65.8%)が最も高く、次いで「保護者や家族の病気」(59.2%)となっています。
- 利用希望年間合計日数をみると、「5～9泊」(19.7%)が最も高くなっています。

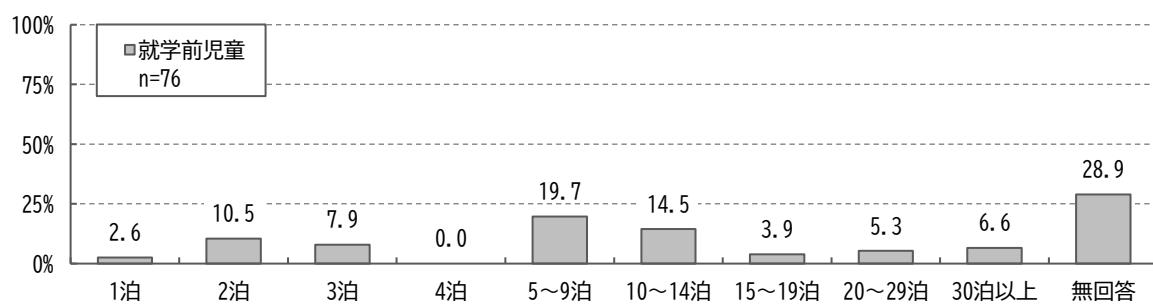
問24 保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預ける事業の利用希望



問24.1 利用したい理由

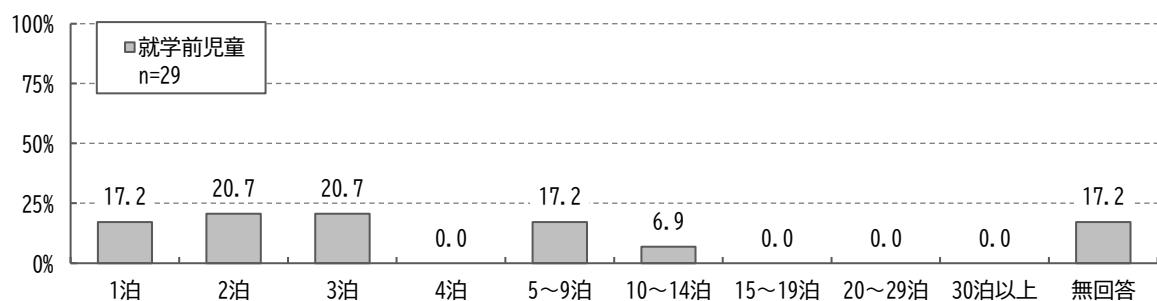


問24.1 利用希望年間合計日数

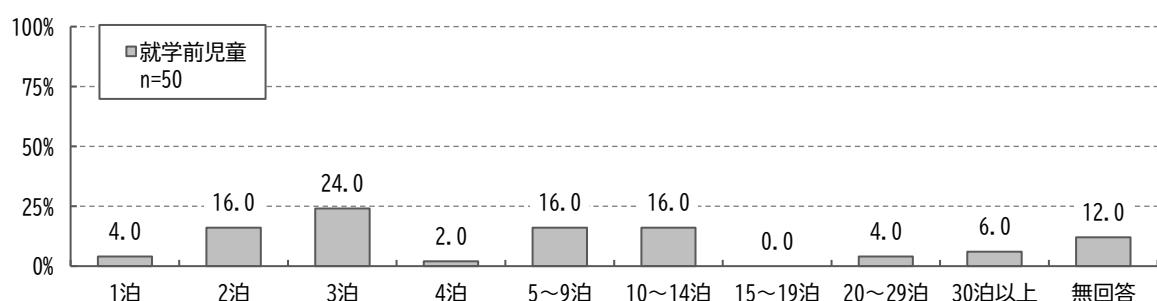




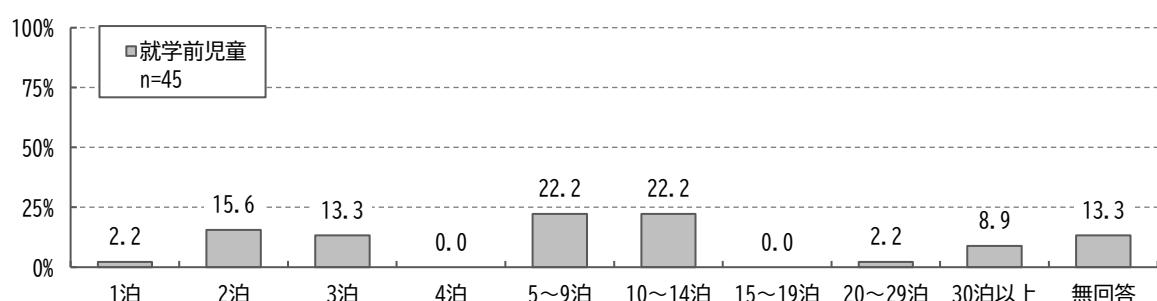
問24.① 冠婚葬祭



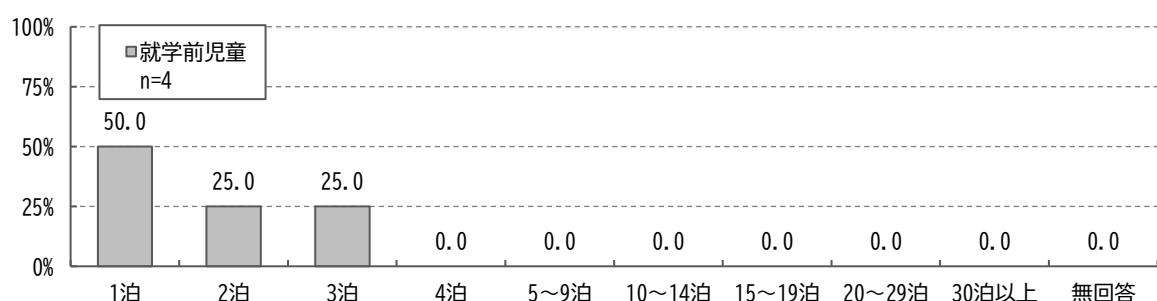
問24.② 保護者や家族の育児疲れ・不安



問24.③ 保護者や家族の病気



問24.④ その他





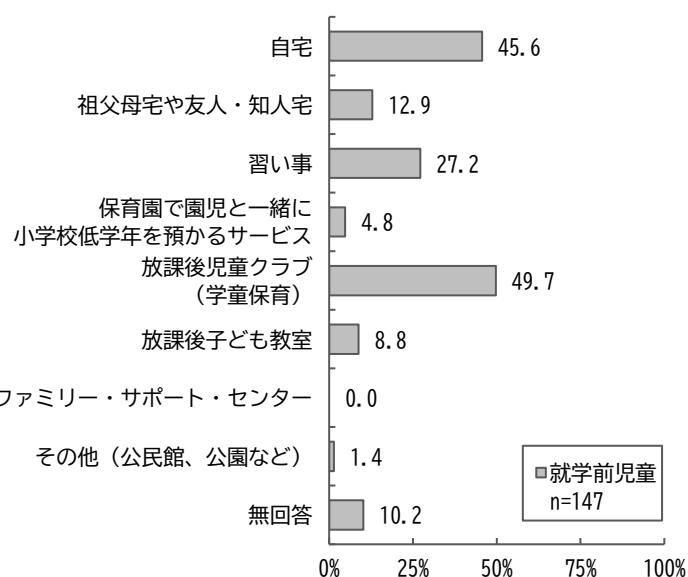
5 放課後の過ごし方について

(1) 平日の放課後に過ごさせたい場所

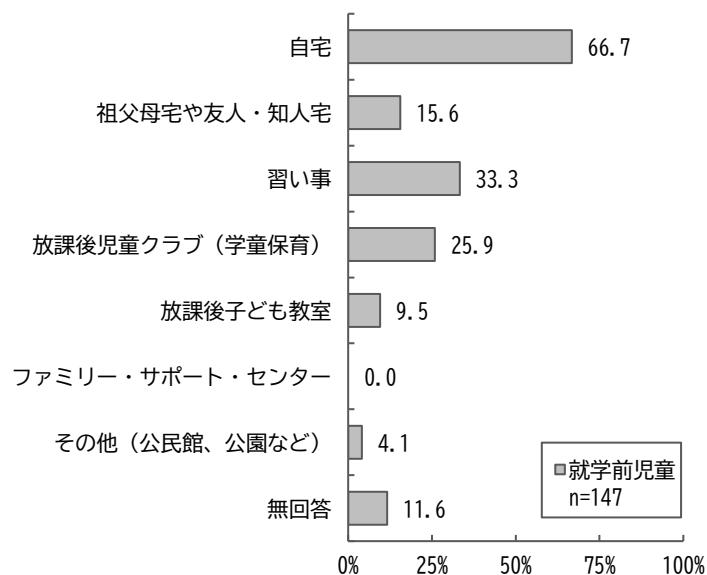
①就学前児童

○就学前児童保護者に小学校就学後の放課後の過ごし方の希望についてみると、低学年のうちには「放課後児童クラブ(学童保育)」(49.7%)が最も高く、次いで「自宅」(45.6%)となっています。高学年になると「自宅」(66.7%)が最も高く、次いで「習い事」(33.3%)、「放課後児童クラブ(学童保育)」(25.9%)となっています。

問25 放課後の過ごし方の希望（小学校低学年）



問26 放課後の過ごし方の希望（小学校高学年）

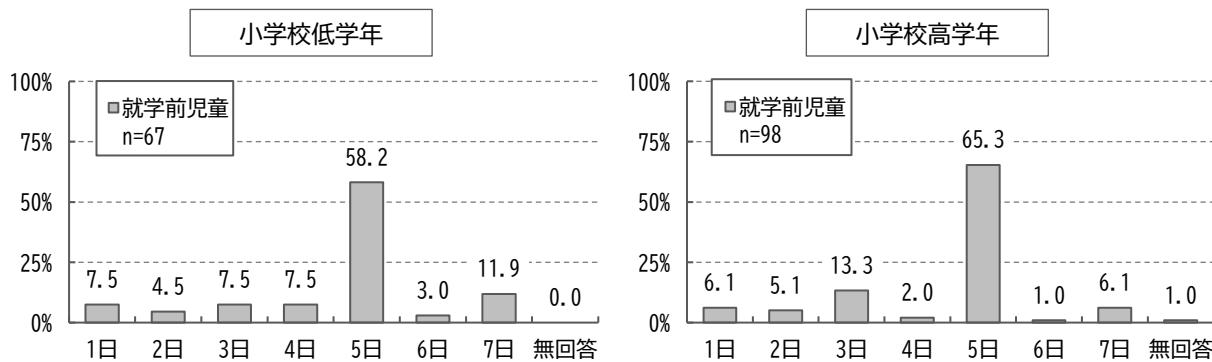


※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生です。



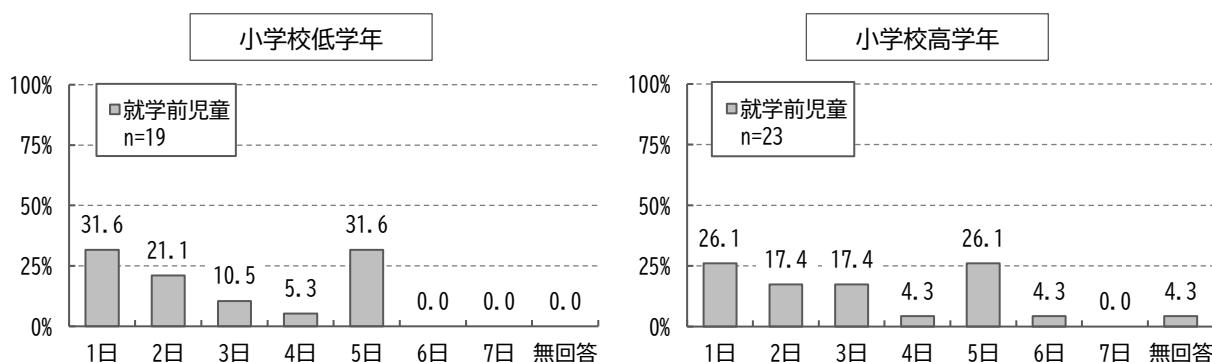
○保護者が放課後を過ごさせたい場所別に1週当たりの希望日数をみると、「自宅」では、低学年時期、高学年時期いずれも「5日」(低学年時期58.2%、高学年時期65.3%)が最も高くなっています。

問25.1・問26.1 「自宅」希望日数（1週当たり）



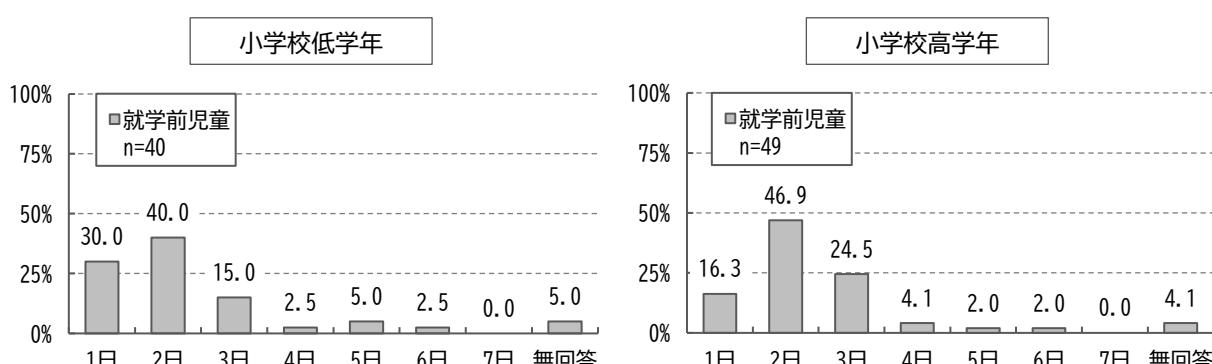
○「祖父母宅や友人、知人宅」では、低学年時期、高学年時期いずれも「1日」「5日」(低学年時期各31.6%、高学年時期各26.1%)が最も高くなっています。

問25.2・問26.2 「祖父母宅や友人、知人宅」希望日数（1週当たり）



○「習い事」では、低学年時期低学年時期、高学年時期いずれも「2日」(低学年時期40.0%、高学年時期46.9%)が最も高くなっています。

問25.3・問26.3 「習い事」希望日数（1週当たり）

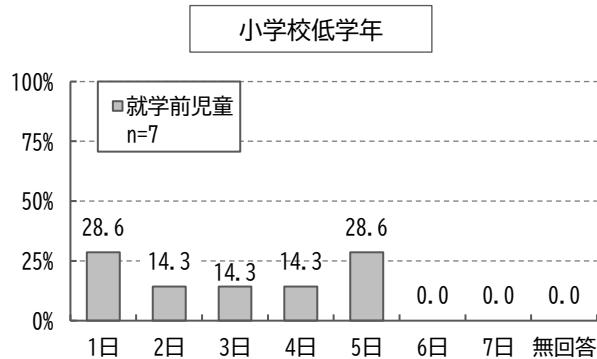


飯田市



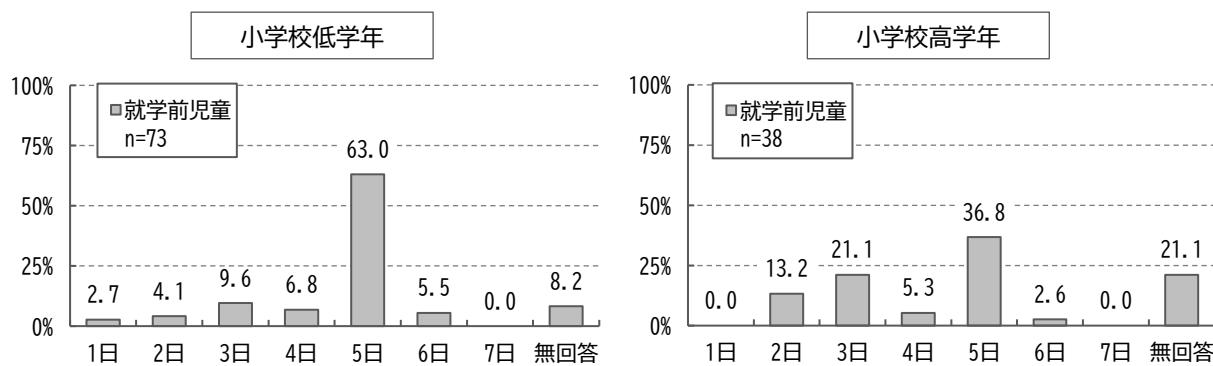
- 「保育園で園児と一緒に小学校低学年を預かるサービス」では、低学年時期「1日」「5日」(各28.6%)が最も高くなっています。

問25.4 「保育園で園児と一緒に小学校低学年を預かるサービス」希望日数（1週当たり）



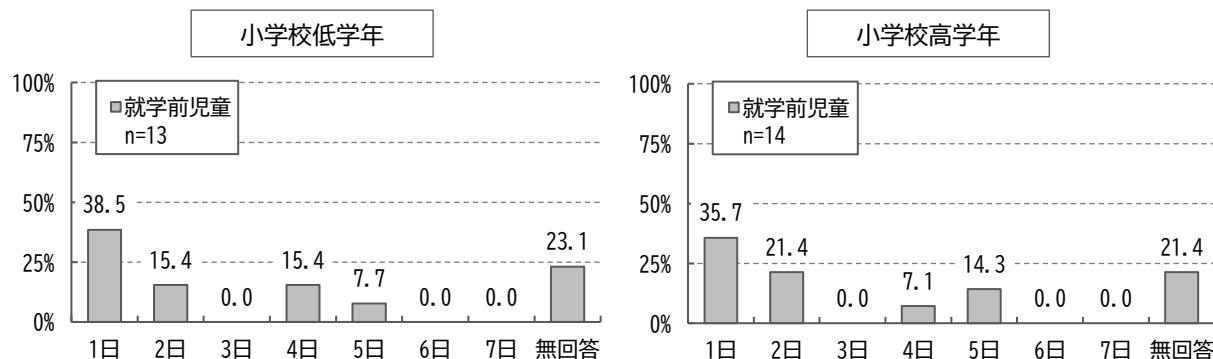
- 「放課後児童クラブ（学童保育）」では、低学年時期、高学年時期いずれも「5日」(低学年時期63.0%、高学年時期36.8%)が最も高くなっています。

問25.5・問26.4 「放課後児童クラブ（学童保育）」希望日数（1週当たり）



- 「放課後子ども教室」では、低学年時期、高学年時期いずれも「1日」(低学年時期38.5%、高学年時期35.7%)が最も高くなっています。

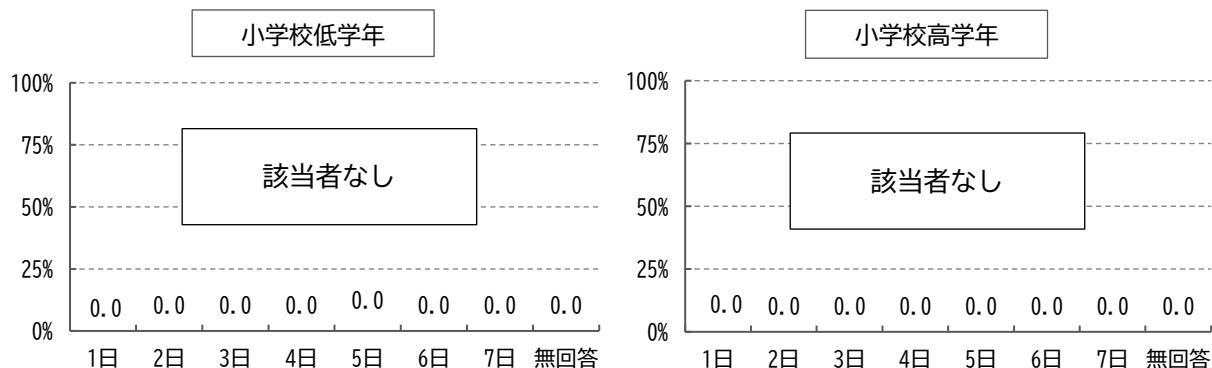
問25.6・問26.5 「放課後子ども教室」希望日数（1週当たり）





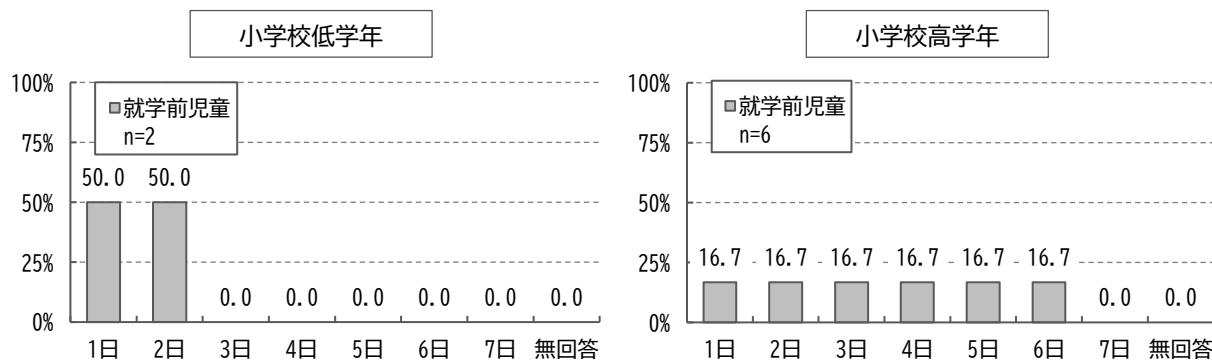
○「ファミリー・サポート・センター」は、希望者がいません。

問25.7・問26.6 「ファミリー・サポート・センター」希望日数（1週当たり）



○「その他（公民館、公園など）」は、以下のとおりです。

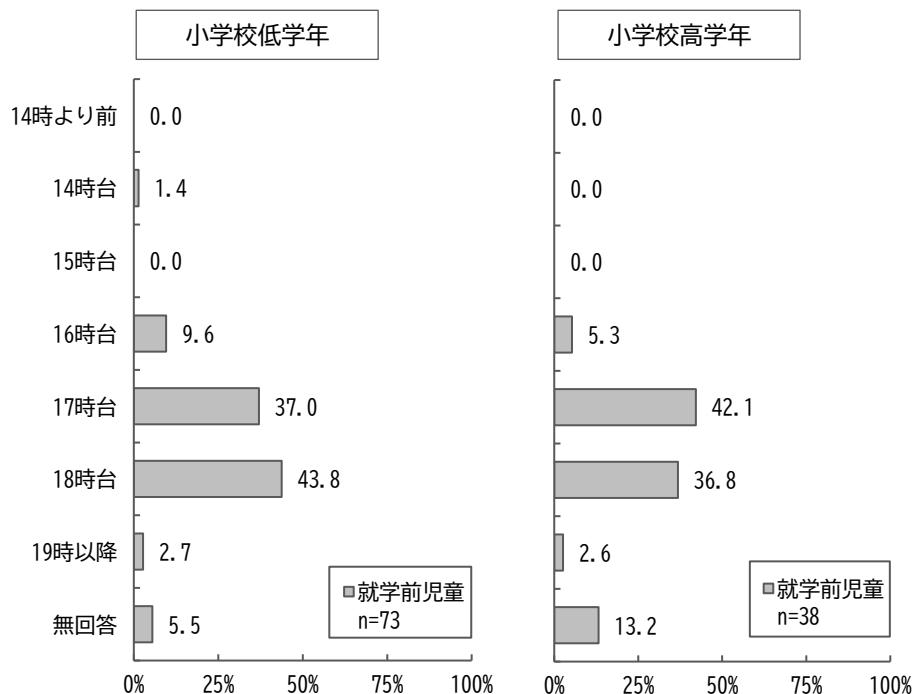
問25.8・問26.7 「その他（公民館・公園など）」希望日数（1週当たり）





○放課後児童クラブの下校時からの利用希望時間帯をみると、低学年時期では「18時台」(43.8%)、高学年時期では「17時台」(42.1%)が最も高くなっています。

問25.5・問26.4 「放課後児童クラブ」下校時からの利用希望時間



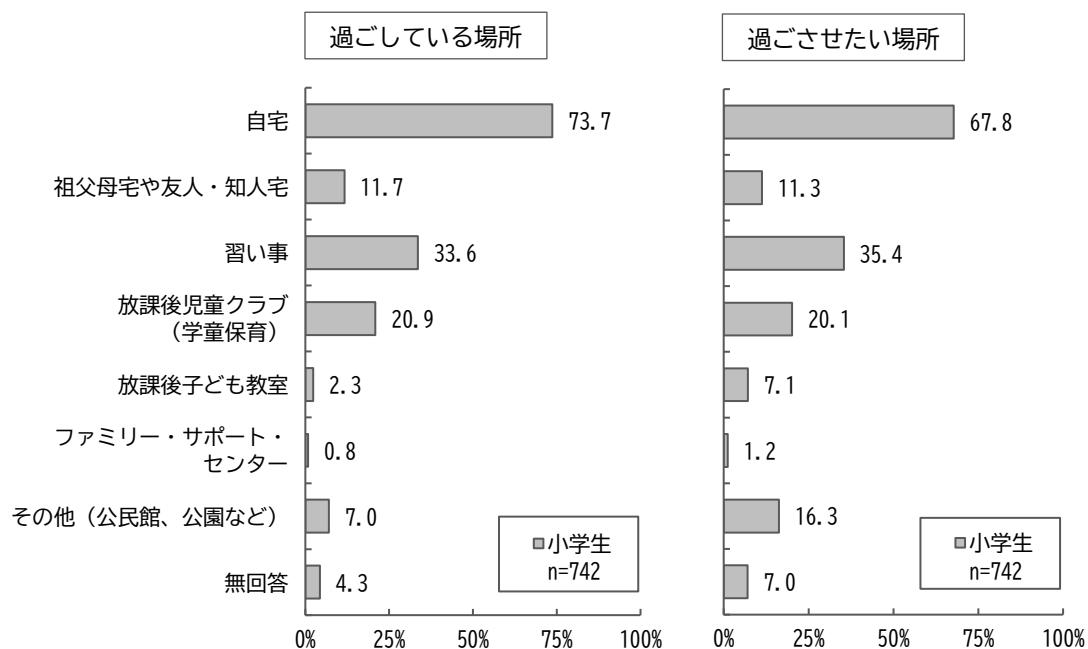


②小学生

○小学生が放課後に過ごしている場所についてみると、「自宅」(73.7%)が最も高く、次いで「習い事」(33.6%)、「放課後児童クラブ（学童保育）」(20.9%)となっています。

○放課後に過ごさせたい場所についてみると、「自宅」(67.8%)が最も高く、次いで「習い事」(35.4%)、「放課後児童クラブ（学童保育）」(20.1%)となっています。

[問13・問14] 放課後の過ごし方の現状と希望

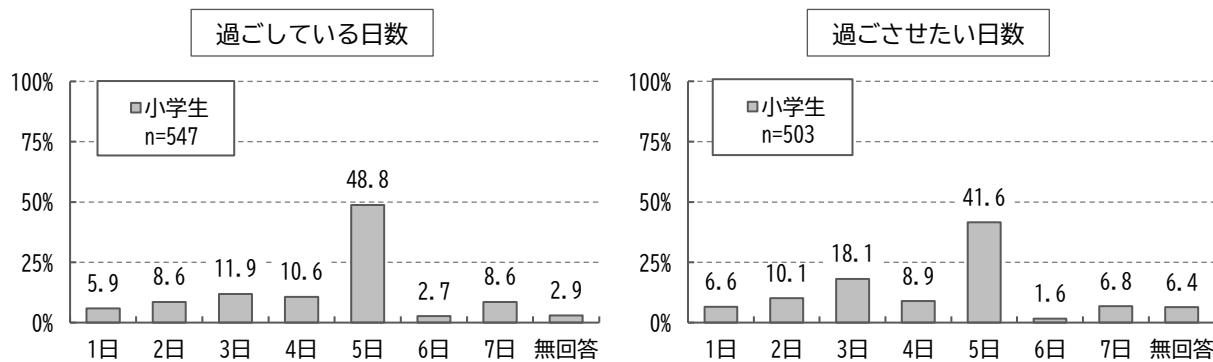


飯田市



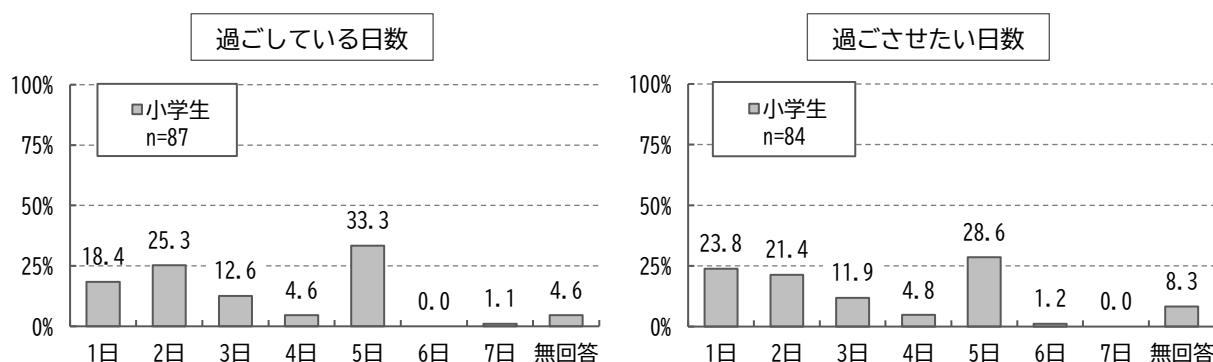
○場所別に1週当たりの日数をみると、「自宅」では、過ごしている日数、過ごさせたい日数いずれも「5日」(過ごしている日数48.8%、過ごさせたい日数41.6%)が最も高くなっています。

[問13.1・問14.1] 「自宅」日数（1週当たり）



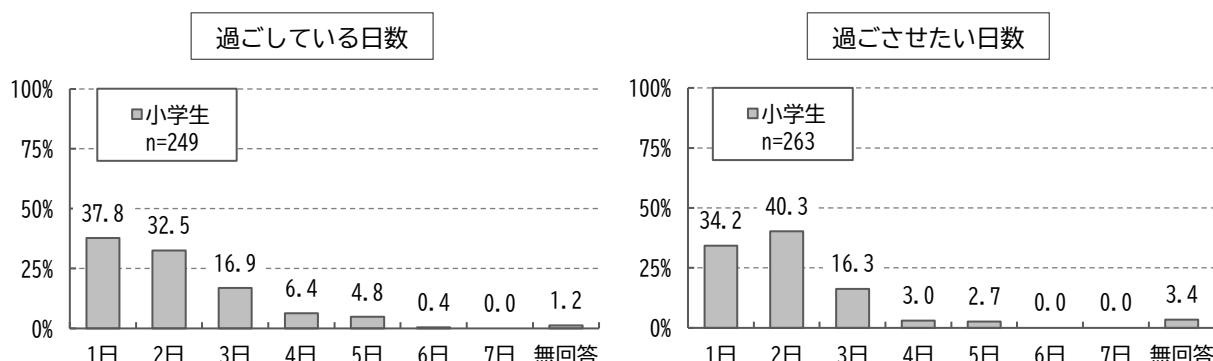
○「祖父母宅や友人、知人宅」では、過ごしている日数、過ごさせたい日数いずれも「5日」(過ごしている日数33.3%、過ごさせたい日数28.6%)が最も高くなっています。

[問13.2・問14.2] 「祖父母宅や友人、知人宅」日数（1週当たり）



○「習い事」では、過ごしている日数は「1日」(37.8%)、過ごさせたい日数は「2日」(40.3%)が最も高くなっています。

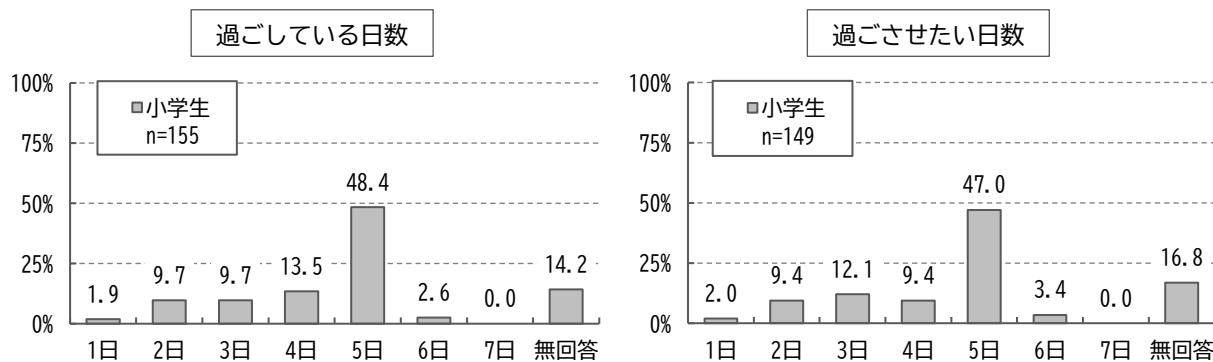
[問13.3・問14.3] 「習い事」希望日数（1週当たり）





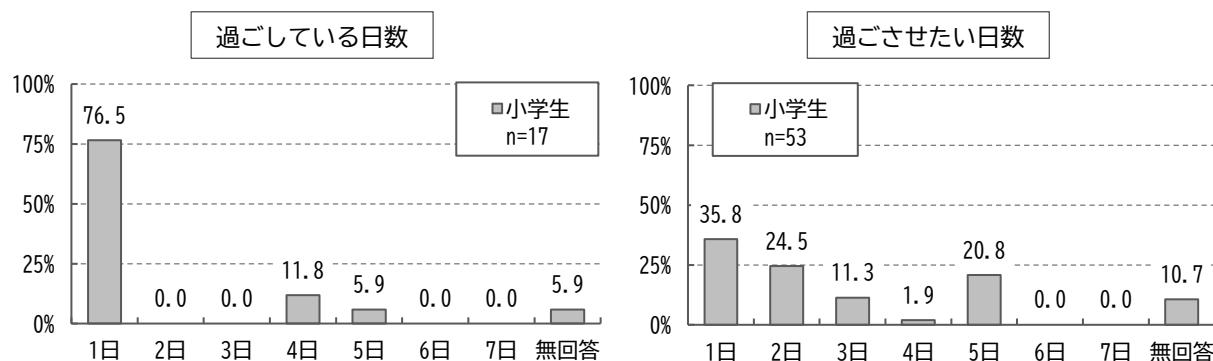
○「放課後児童クラブ（学童保育）」では、過ごしている日数、過ごさせたい日数いずれも「5日」（過ごしている日数48.4%、過ごさせたい日数47.0%）が最も高くなっています。

[問13.4・問14.4] 「放課後児童クラブ（学童保育）」日数（1週当たり）



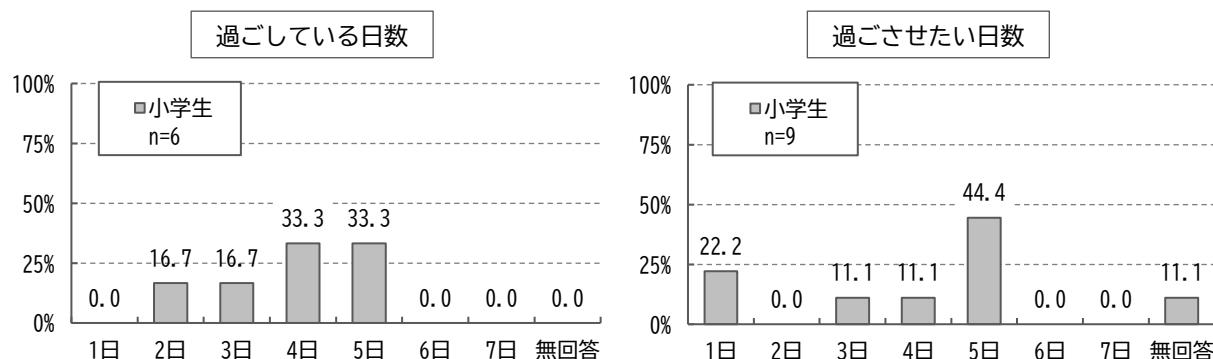
○「放課後子ども教室」では、過ごしている日数、過ごさせたい日数いずれもは「1日」（過ごしている日数76.5%、過ごさせたい日数35.8%）が最も高くなっています。

[問13.5・問14.5] 「放課後子ども教室」日数（1週当たり）



○「ファミリー・サポート・センター」では、過ごしている日数は「4日」「5日」（各33.3%）、過ごさせたい日数は「5日」（44.4%）が最も高くなっています。

[問13.6・問14.6] 「ファミリー・サポート・センター」日数（1週当たり）

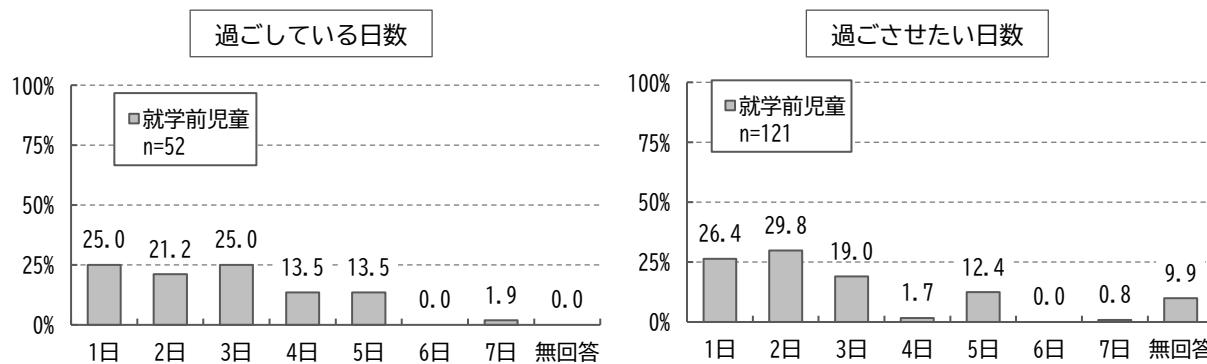


飯田市



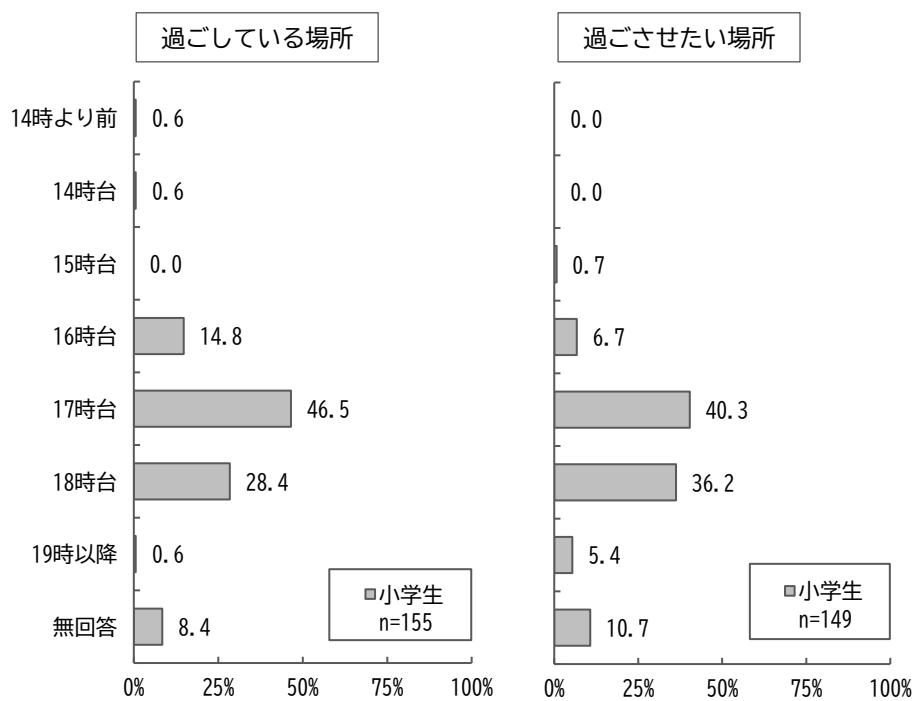
○「その他(公民館、公園など)」では、過ごしている日数は「1日」「3日」(各25.0%)、過ごさせたい日数は「2日」(29.8%)が最も高くなっています。

[問13.7・問14.7] 「その他(公民館・公園など)」日数(1週当たり)



○放課後児童クラブの下校時からの利用時間帯をみると、過ごしている場所、過ごさせたい場所いずれも「17時台」(過ごしている場所46.5%、過ごさせたい場所40.3%)が最も高くなっています。

[問13.4・問14.4] 「放課後児童クラブ」下校時からの利用時間

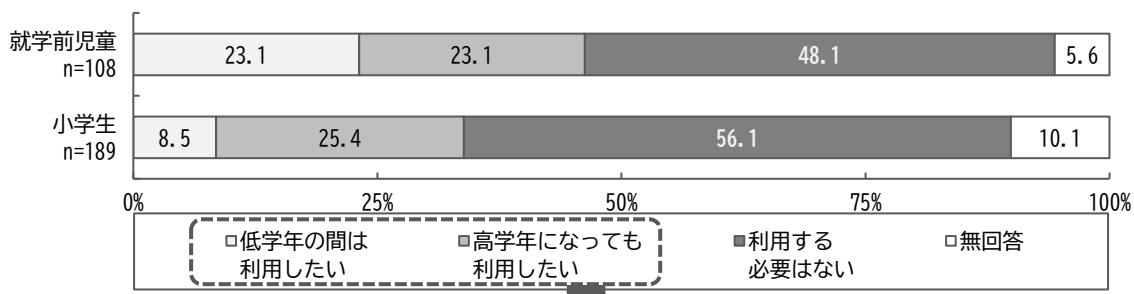




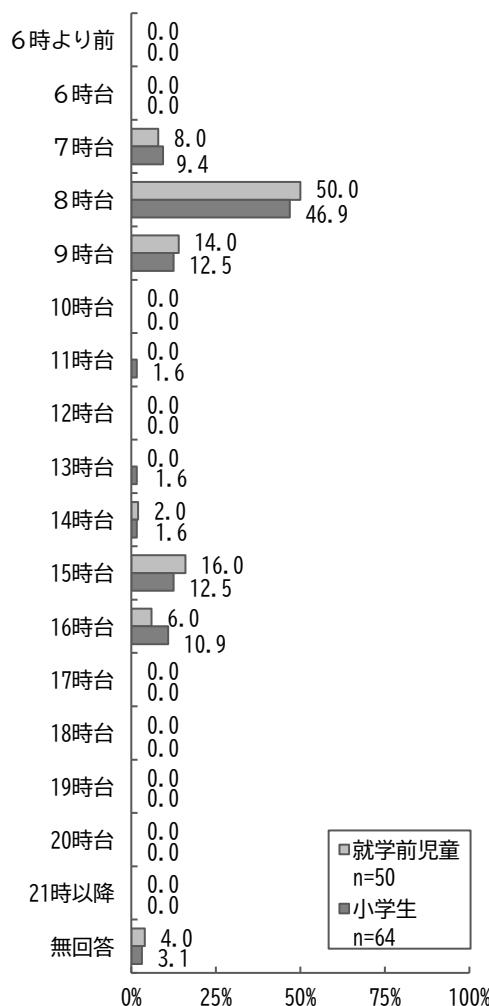
(2) 土曜日、日曜日・長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

- 放課後児童クラブの土曜日の利用希望をみると、「低学年のは間は利用したい」(就学前児童23.1%、小学生8.5%)、「高学年になんでも利用したい」(就学前児童23.1%、小学生25.4%)となっています。
- 希望開始時間を見ると、就学前児童、小学生いずれも「8時台」(就学前児童50.0%、小学生46.9%)が最も高くなっています。
- 希望終了時間を見ると、就学前児童、小学生いずれも「18時台」(就学前児童46.0%、小学生42.2%)が最も高くなっています。

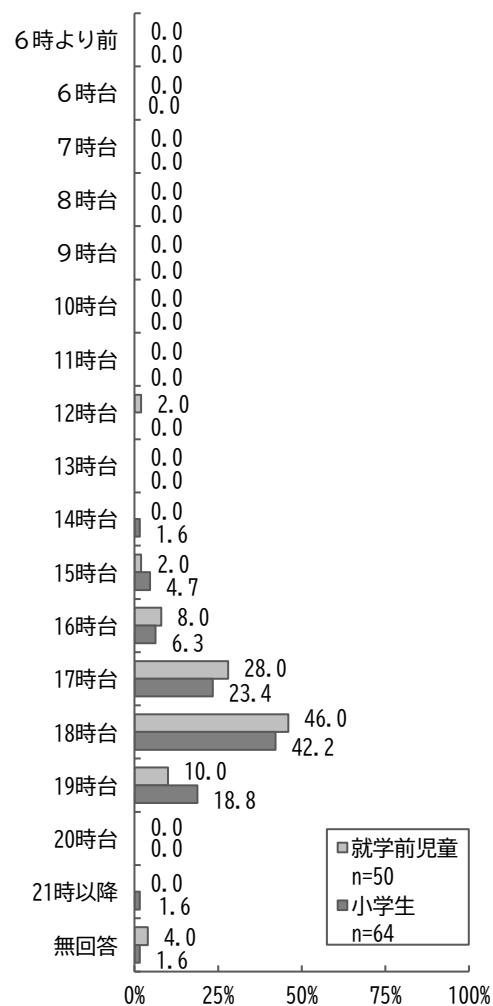
問27(1)[問15(1)] 放課後児童クラブの土曜日の利用希望（利用希望・利用者）



問27(1)[問15(1)] 希望開始時間



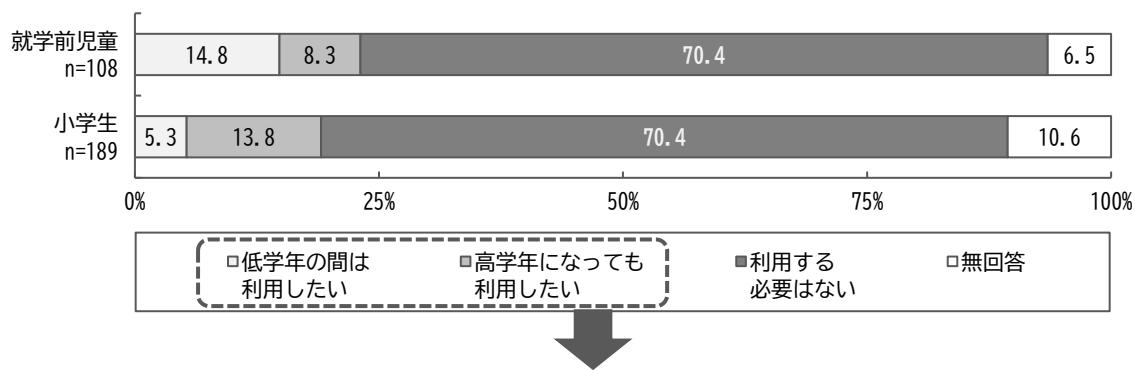
問27(1)[問15(1)] 希望終了時間



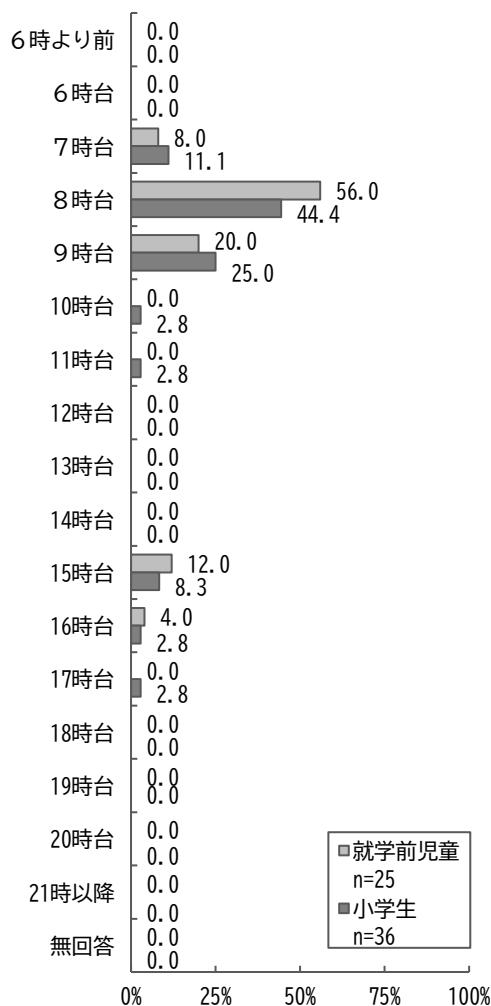


- 放課後児童クラブの日曜日、祝日の利用希望をみると、「低学年の中は利用したい」「高学年になっても利用したい」と回答した方は就学前児童23.1%、小学生では19.1%となっています。
- 希望開始時間みると、就学前児童、小学生いずれも「8時台」(就学前児童56.0%、小学生44.4%)が最も高くなっています。
- 希望終了時間みると、就学前児童、小学生いずれも「18時台」(就学前児童48.0%、小学生38.9%)が最も高くなっています。

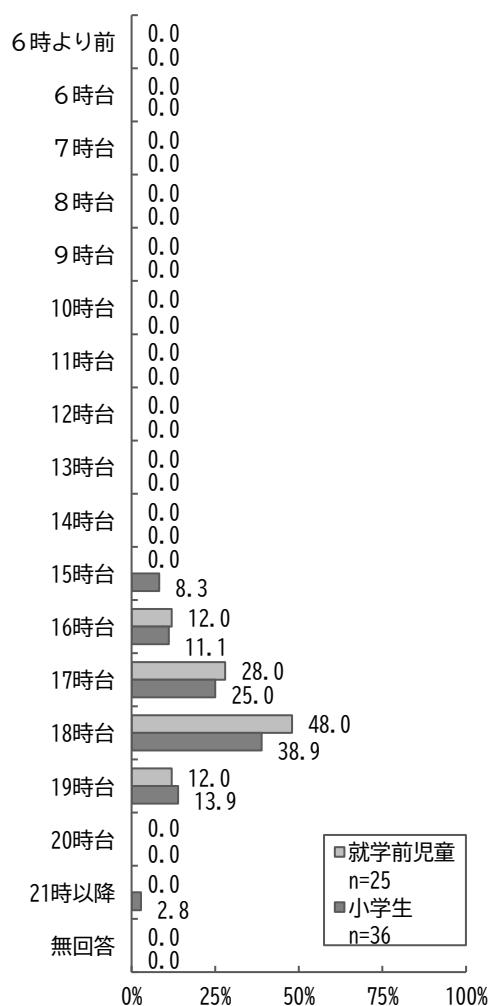
問27(2)[問15(2)] 放課後児童クラブの日曜日、祝日の利用希望（利用希望・利用者）



問27(1)[問15(2)] 希望開始時間



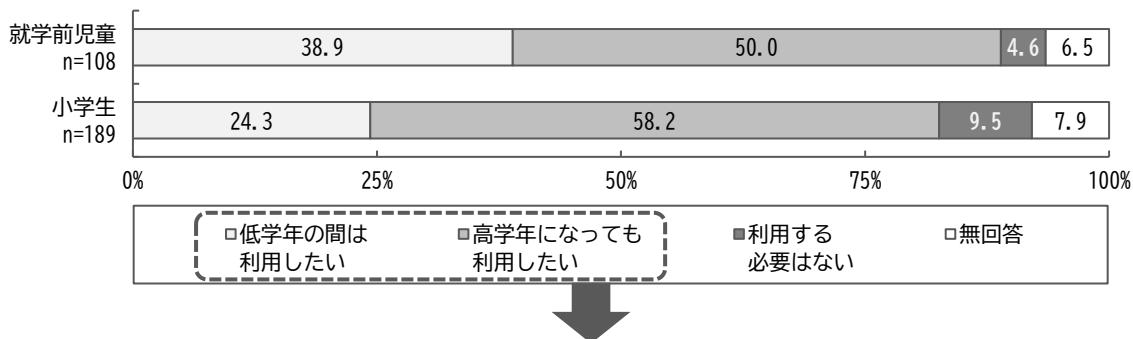
問27(1)[問15(2)] 希望終了時間



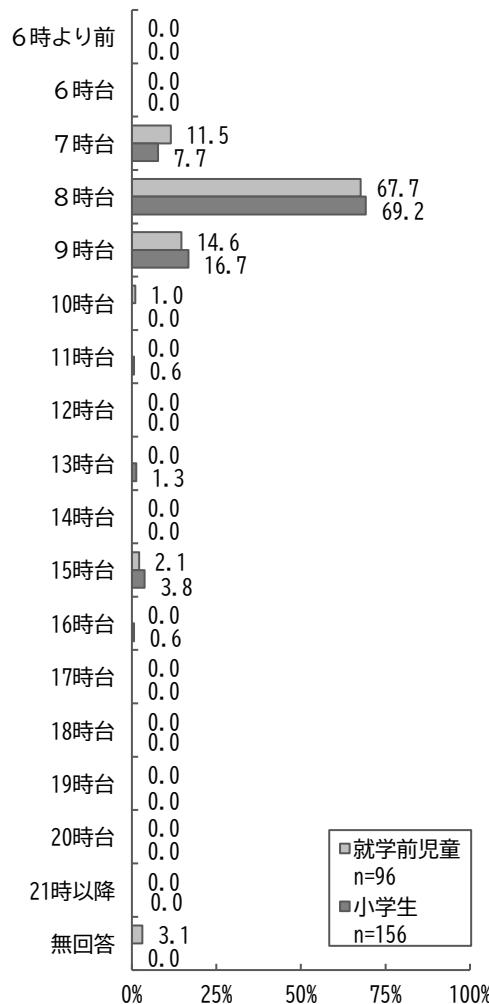


- 放課後児童クラブの長期休暇期間中の利用希望をみると、「低学年のは間は利用したい」「高学年になっても利用したい」と回答した方は就学前児童88.9%、小学生では82.5%となっています。
- 希望開始時間みると、就学前児童、小学生いずれも「8時台」(就学前児童67.7%、小学生69.2%)が最も高くなっています。
- 希望終了時間みると、就学前児童、小学生いずれも「18時台」(就学前児童43.8%、小学生41.7%)が最も高くなっています。

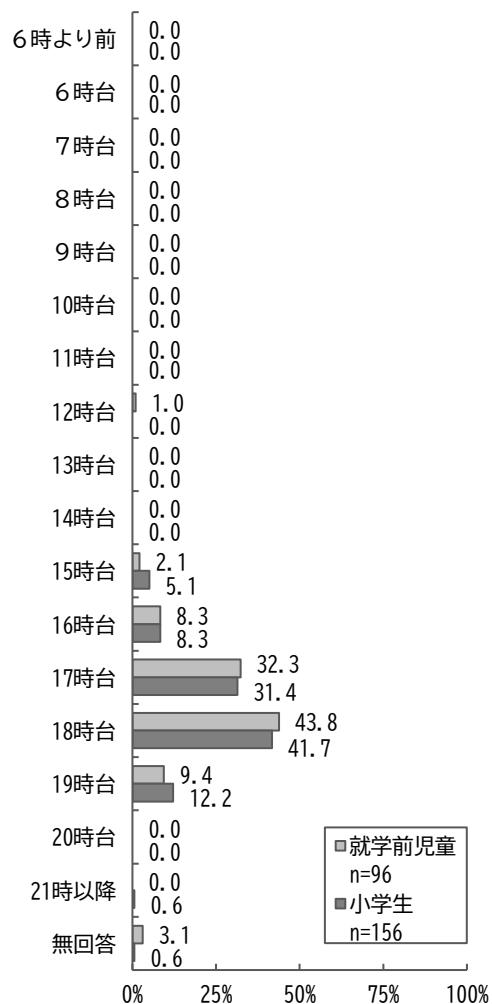
問28[問16] 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望（利用希望・利用者）



問28[問16] 希望開始時間



問28(1)[問16] 希望終了時間

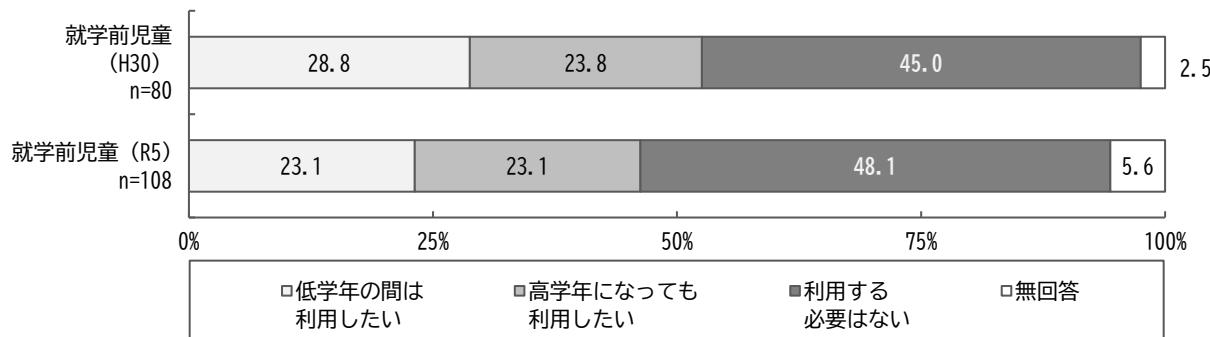




○放課後児童クラブの土曜日の利用希望を前回調査と比較すると、就学前児童、小学生いずれも利用希望（「低学年の間は利用したい」+「高学年になっても利用したい」の合計）は就学前児童で6.4ポイント、小学生で6.1ポイント減少しています。

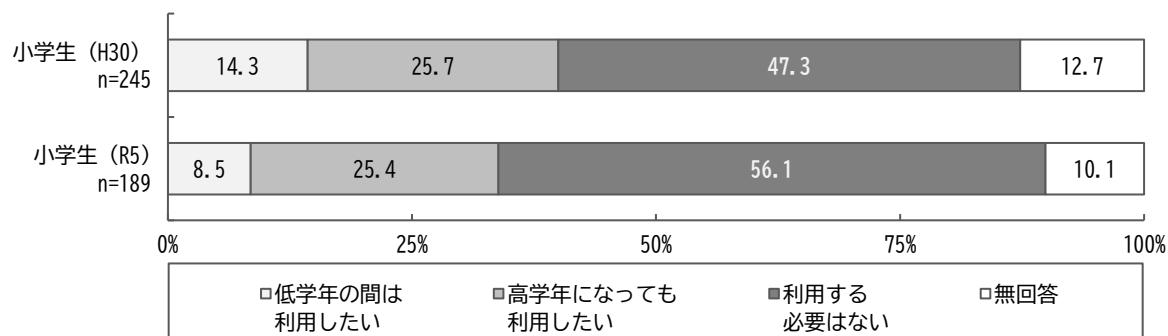
就学前児童

問27(1) 放課後児童クラブの土曜日の利用希望（経年比較）



小学生

[問15(1)] 放課後児童クラブの土曜日の利用希望（経年比較）

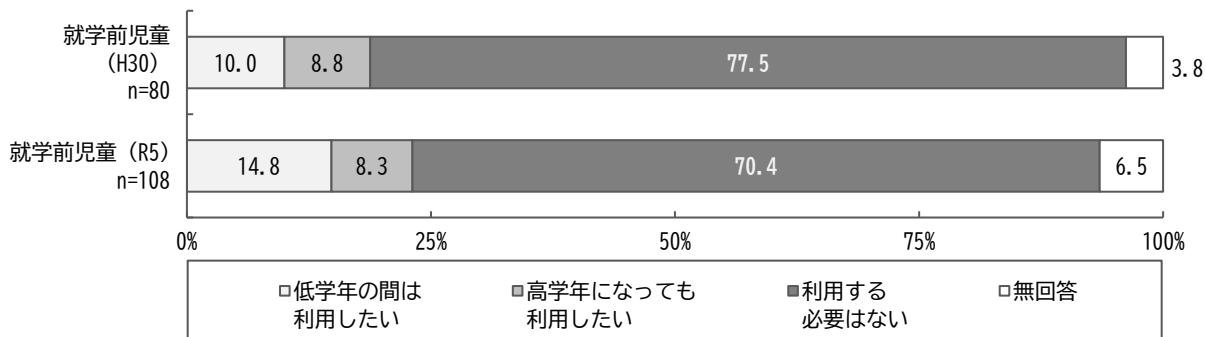




○放課後児童クラブの日曜日・祝日の利用希望を前回調査と比較すると、就学前児童、小学生いずれも利用希望（「低学年の間は利用したい」+「高学年になっても利用したい」の合計）は、就学前児童で4.3ポイント、小学生で2.7ポイント増加しています。

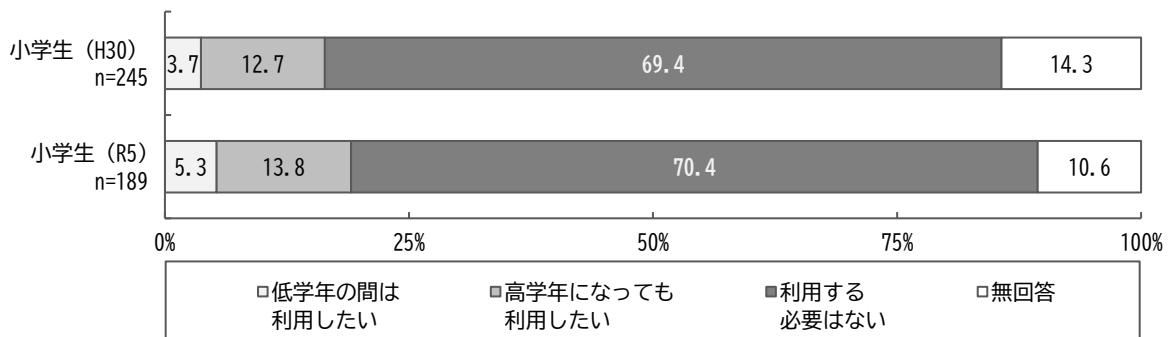
就学前児童

問27(2) 放課後児童クラブの日曜日・祝日の利用希望（経年比較）



小学生

〔問15(2)〕 放課後児童クラブの日曜日・祝日の利用希望（経年比較）

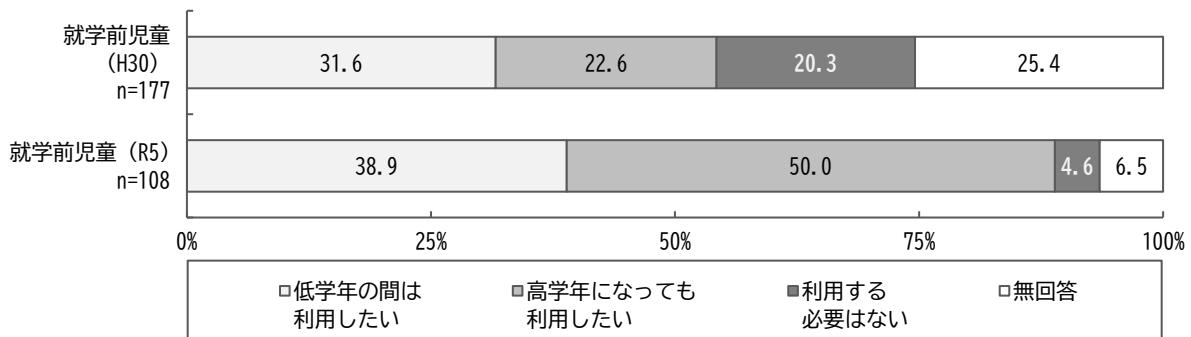




○放課後児童クラブの長期休暇期間中の利用希望を前回調査と比較すると、就学前児童、小学生いずれも利用希望（「低学年の間は利用したい」+「高学年になっても利用したい」の合計）は、就学前児童で34.7ポイント、小学生で53.4ポイント増加しています。

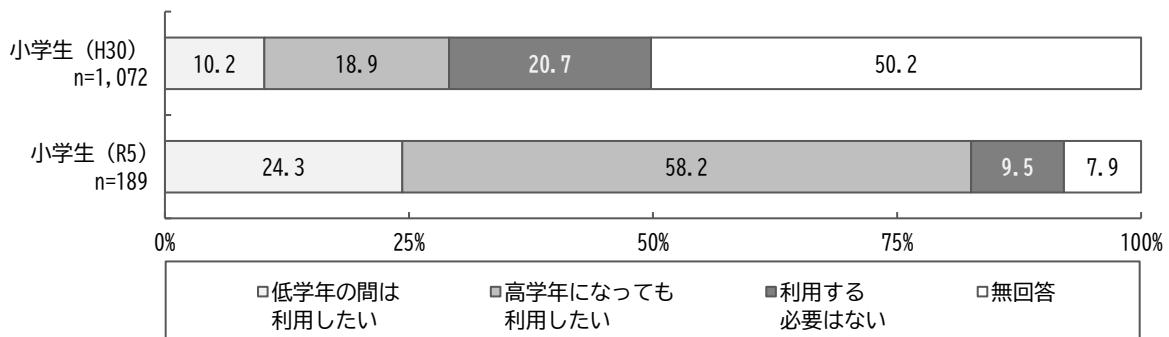
就学前児童

問28 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望（経年比較）



小学生

[問16] 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望（経年比較）



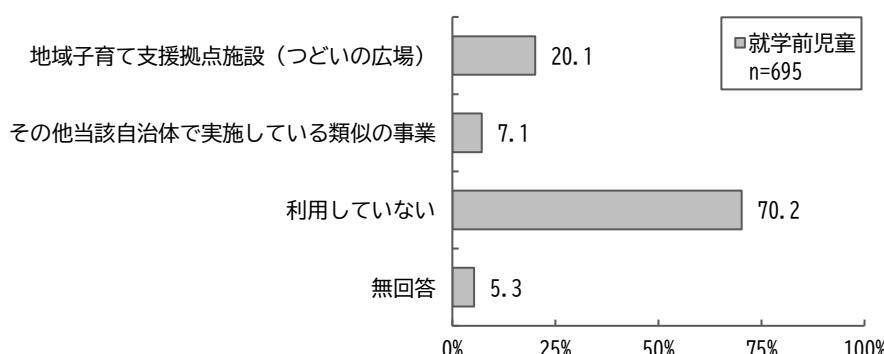


6 地域の子育て支援事業の状況と今後の利用希望

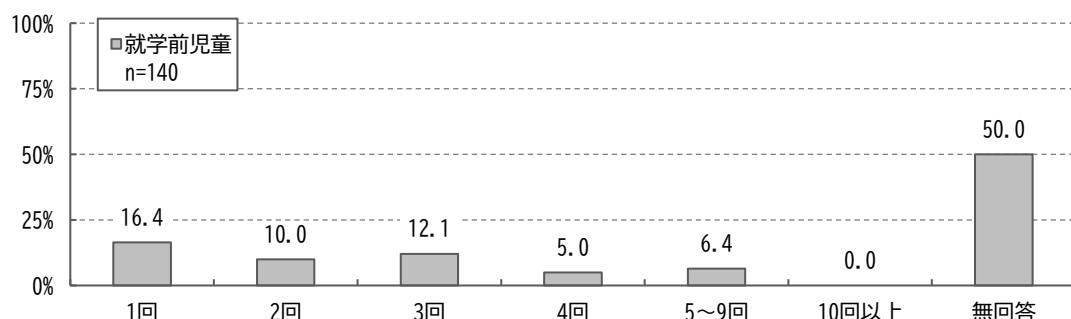
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

- 「地域子育て支援拠点施設（つどいの広場）」の利用割合は20.1%となっています。
- 「地域子育て支援拠点施設（つどいの広場）」利用者の1週当たりの利用回数をみると、「1回」(16.4%)が最も高くなっています。
- 「地域子育て支援拠点施設（つどいの広場）」利用者の1か月当たりの利用回数をみると、「1回」(21.4%)が最も高くなっています。

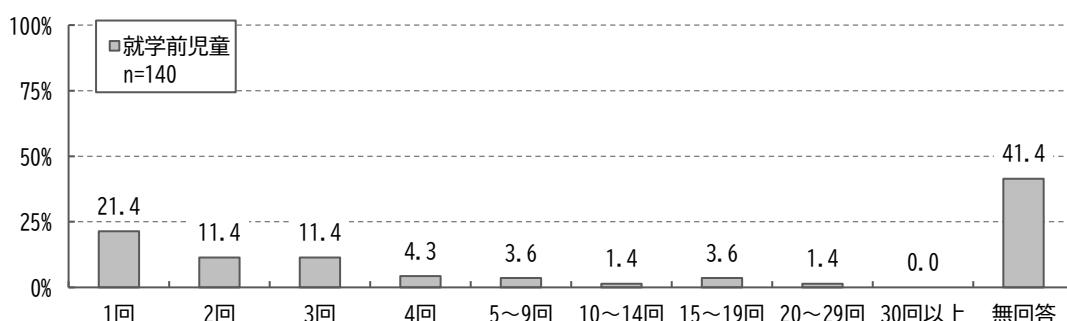
問16 子育て支援センターの利用状況



問16.1 地域子育て支援拠点施設（つどいの広場）の利用回数（1週当たり）



問16-1 地域子育て支援拠点施設（つどいの広場）の利用回数（1か月当たり）

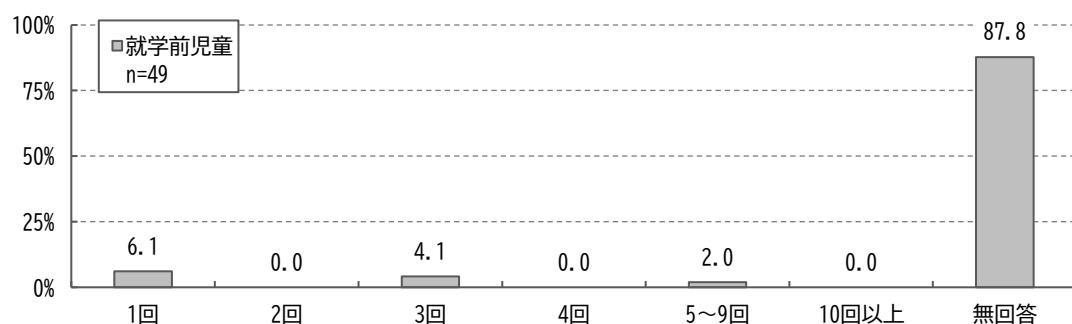


飯田市

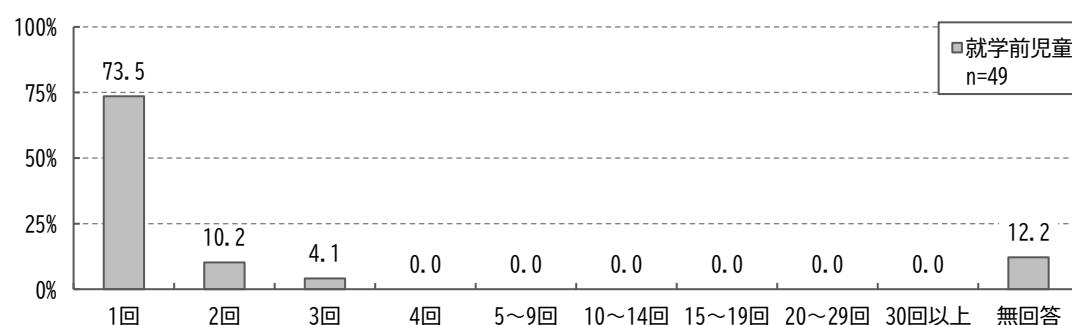


- 「類似の事業」利用者の1週当たりの利用回数をみると、「1回」(6.1%)が最も高くなっています。
- 「類似の事業」利用者の1か月当たりの利用回数をみると、「1回」(73.5%)が最も高くなっています。

問16.2 類似の事業の利用回数（1週当たり）



問16-2 類似事業の利用回数（1か月当たり）

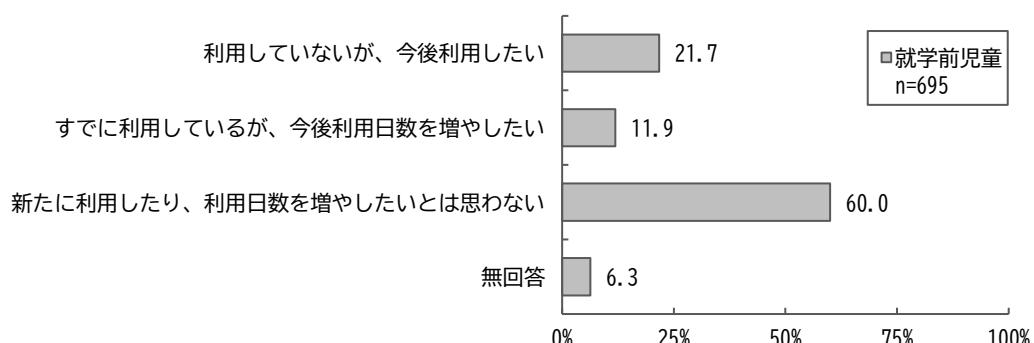




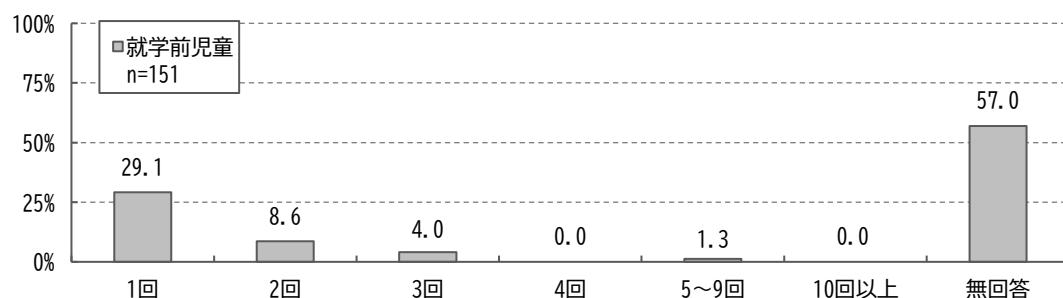
(2) 今後の利用意向

- 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向をみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が60.0%となっています。
- 未利用者の今後1週当たりの利用希望回数をみると、「1回」(29.1%)が最も高くなっています。また、今後1か月あたりの利用希望回数をみると、「1回」(30.5%)が最も高くなっています。

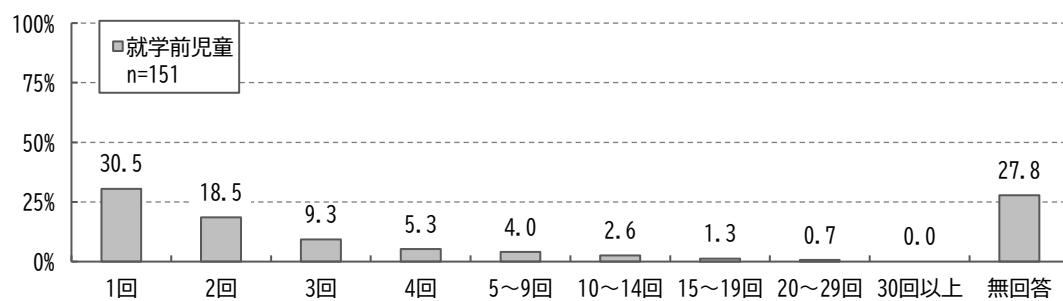
問17 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向



問17.1 未利用者の今後の利用希望回数（1週当たり）



問17.1 未利用者の今後の利用希望回数（1か月当たり）

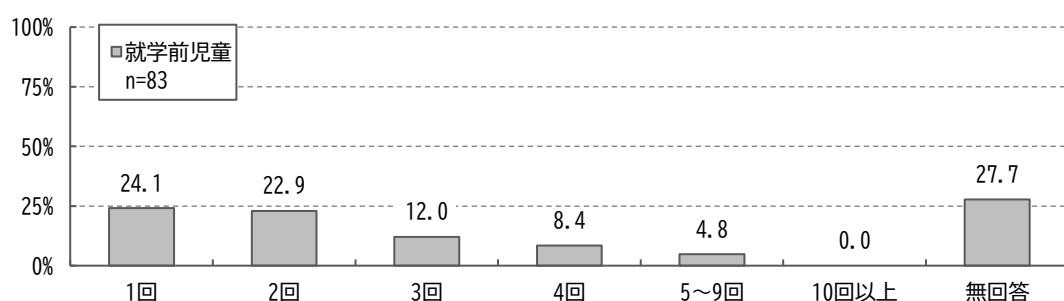


飯田市

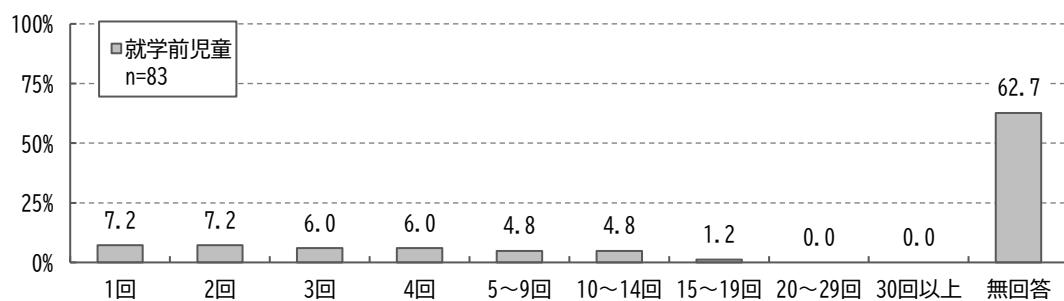


○既利用者が今後増やしたい1週当たりの利用希望回数をみると、「1回」(24.1%)が最も高くなっています。また、増やしたい1か月あたりの利用希望回数をみると、「1回」「2回」(各7.2%)が最も高くなっています。

問17.2 既利用者の今後増やしたい利用回数（1週当たり）



問17.2 既利用者の今後増やしたい利用回数（1か月当たり）





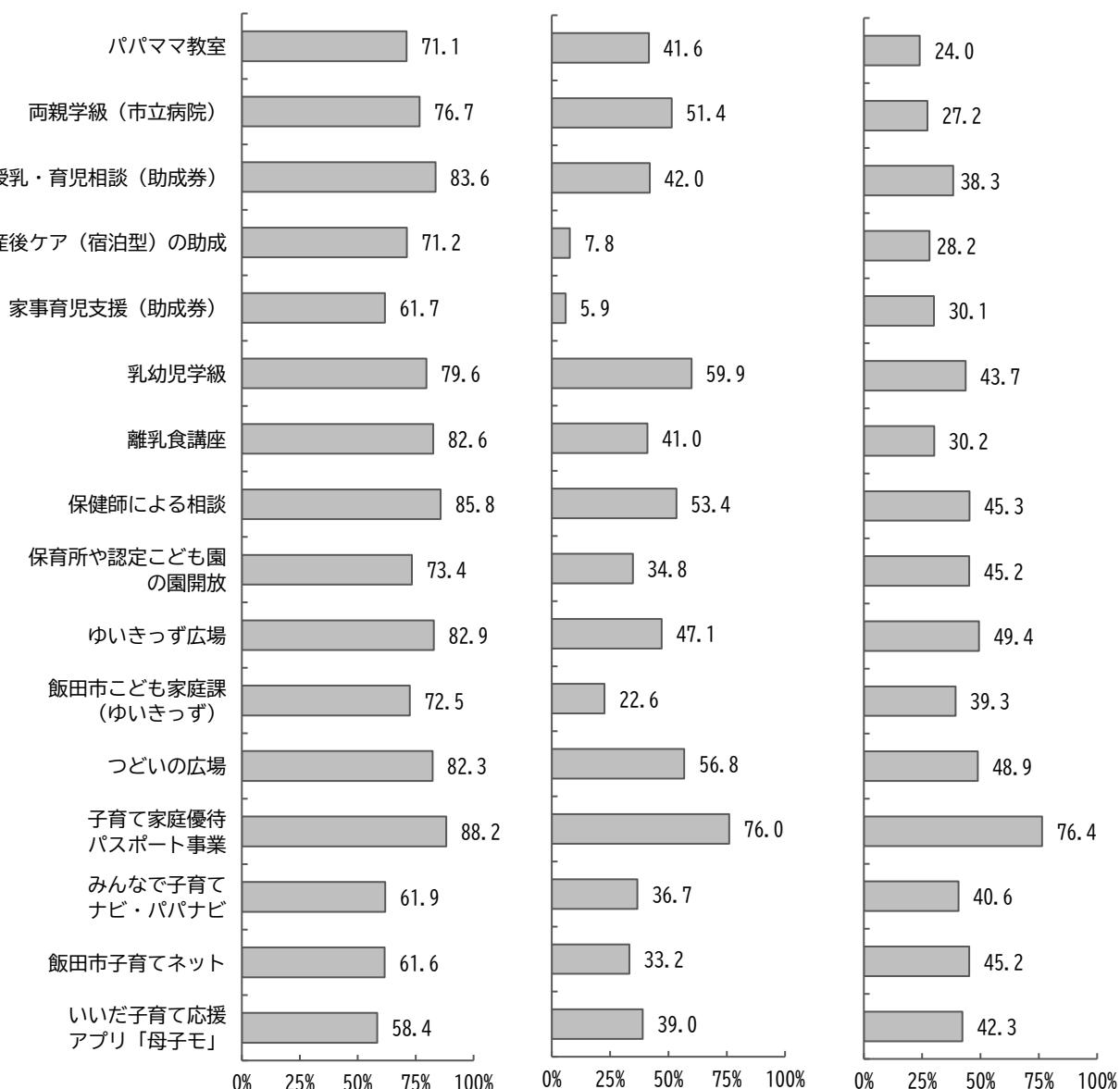
(3) 子育て支援事業の認知度、利用状況と今後の利用意向について

- 子育て支援事業の認知度をみると、「子育て家庭優待パスポート事業」(88.2%)が最も高く、次いで「保健師による相談」(85.8%)、「授乳・育児相談(助成券)」(83.6%)となっています。
- 子育て支援事業の利用状況をみると、「子育て家庭優待パスポート事業」(76.0%)が最も高く、次いで「乳幼児学級」(59.9%)となっています。
- 子育て支援事業の利用意向をみると、「子育て家庭優待パスポート事業」(76.4%)が最も高くなっています。

問18 子育て支援事業の認知度、利用状況、今後の利用意向

A. 子育て支援事業の認知度 B. 利用したことがある C. 今後利用したい

就学前児童 n=695



第4章

育児休業制度の利用状況



第4章 育児休業制度の利用状況

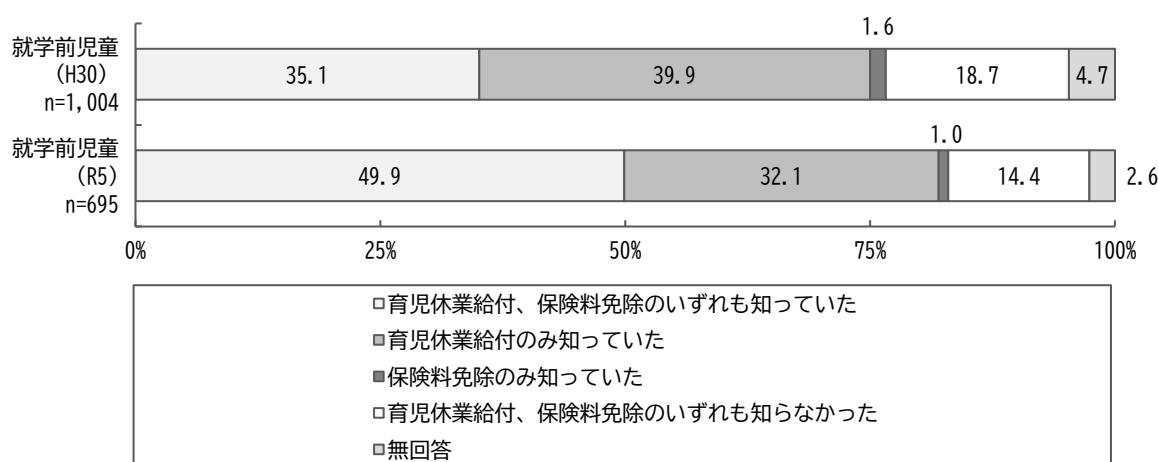
1 育児と仕事の両立支援制度について

(1) 両立支援制度の認知状況

○国の両立支援制度（職場における育児休業給付と保険料免除）の認知度をみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」(49.9%) が最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」(32.1%) となっています。一方で「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」と回答した方が14.4%となっています。

○前回調査と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が14.8ポイント増加し、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が4.3ポイント減少しています。

問29 国の両立支援制度の認知状況（経年比較）



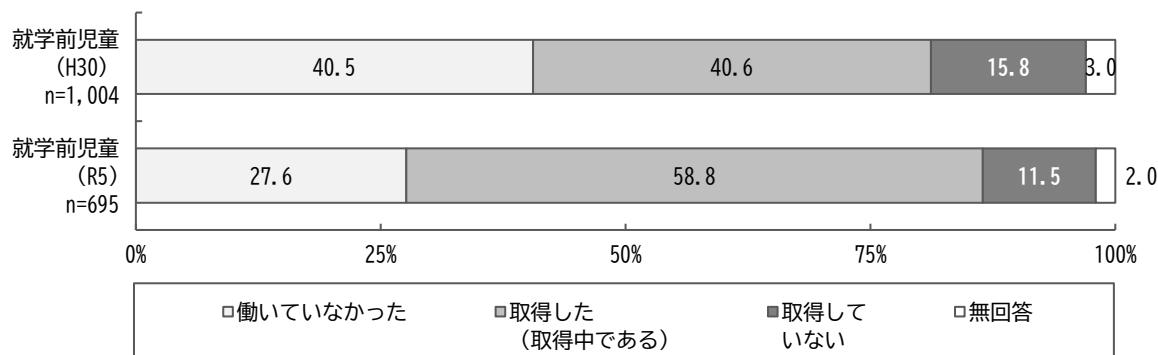


(2) 育児休業制度の利用状況

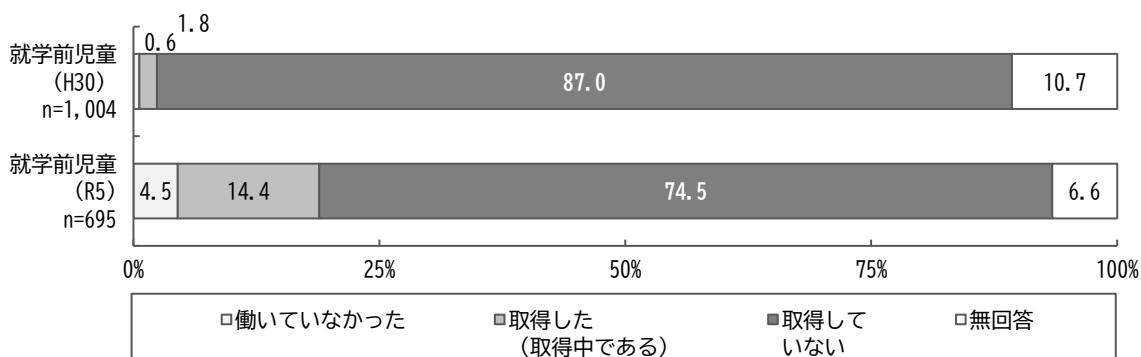
○育児休業制度の利用状況をみると、就学前児童では、「取得した（取得中である）」母親では58.8%、父親では14.4%となっています。前回調査と比較すると、「取得した（取得中である）」母親は18.2ポイント、父親は12.6ポイント増加しています。

問30 育児休業制度の利用状況（経年比較）

就学前児童（母親）



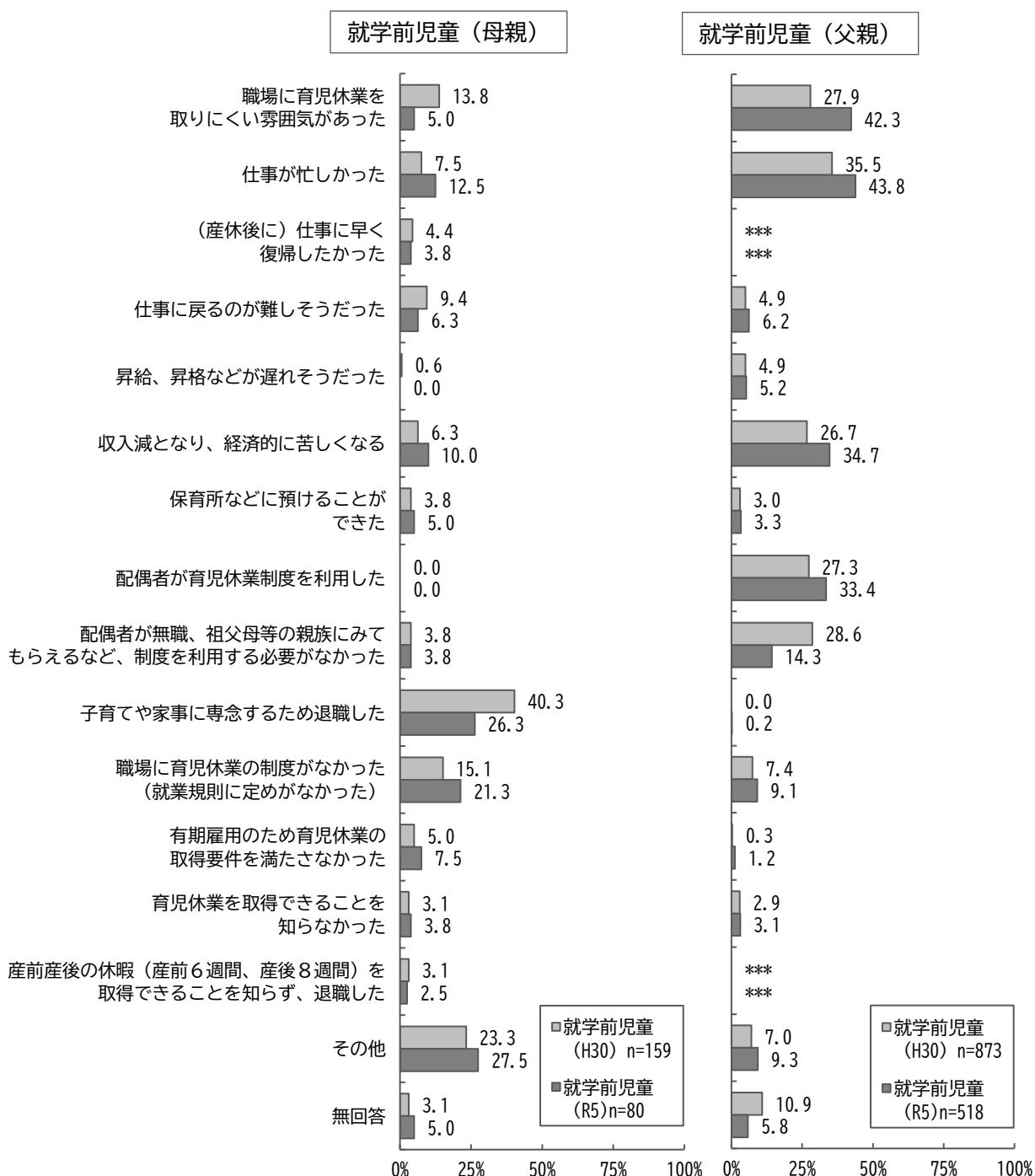
就学前児童（父親）





○育児休業を取得していない理由をみると、母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」(26.3%)が最も高くなっています。父親では、「仕事が忙しかった」(43.8%)が最も高くなっています。また、「その他」の理由としては、母親・父親ともに「自営業のため」「フリーランスのため」と回答しています。前回調査と比較すると、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」は14.0ポイント、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が8.8ポイント減少、父親では「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が14.3ポイント減少し、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が14.4ポイント増加しています。

問30-1 育児休業を取得していない理由（経年比較）

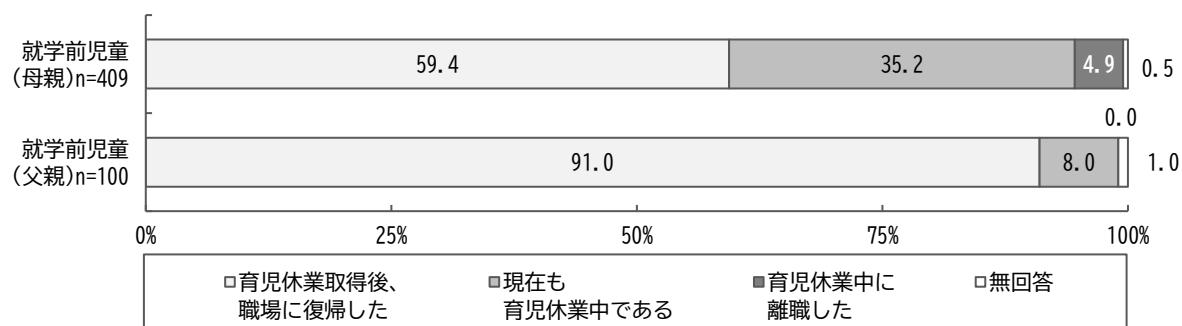




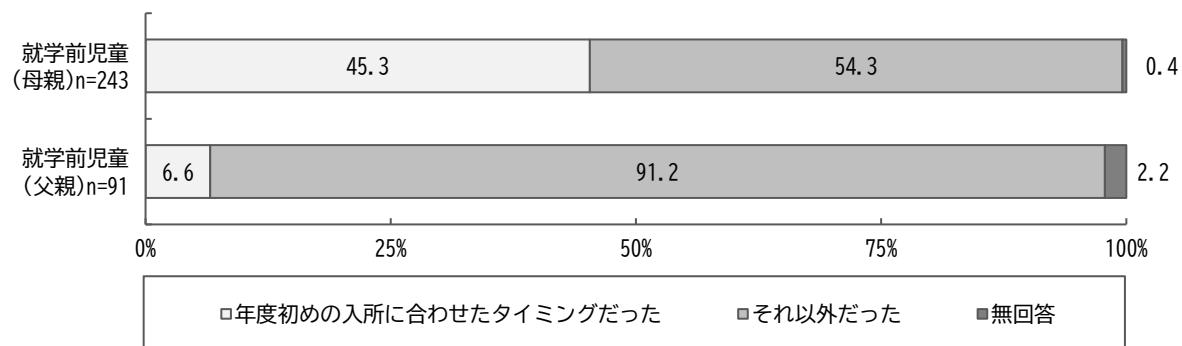
(3) 職場復帰の状況

- 育児休業取得後の対処をみると、母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」(59.4%) が最も高く、次いで「現在も育児休業中である」(35.2%) なっています。父親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」(91.0%) が最も高くなっています。
- 育児休業取得後に職場へ復帰した時期をみると、母親、父親といずれも「それ以外だった」(母親54.3%、父親91.2%) となっています。

問30-2 育児休業取得後の職場への対処



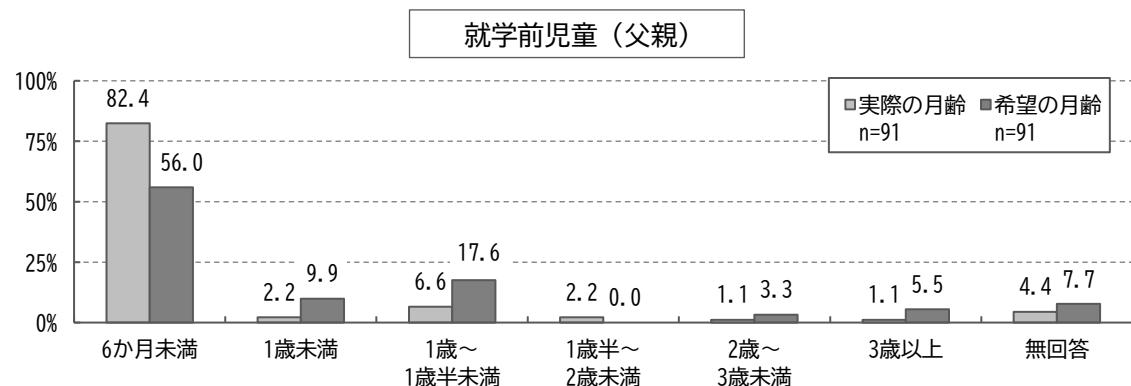
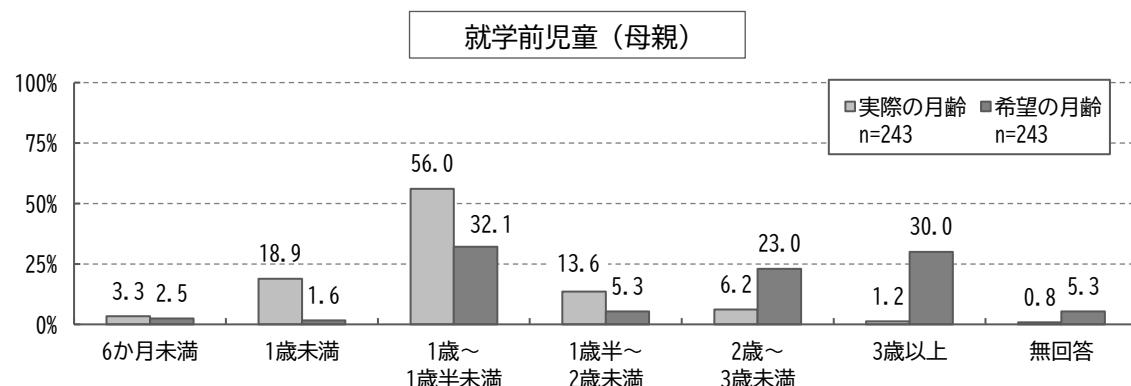
問30-3 育児休業後に職場へ復帰した時期



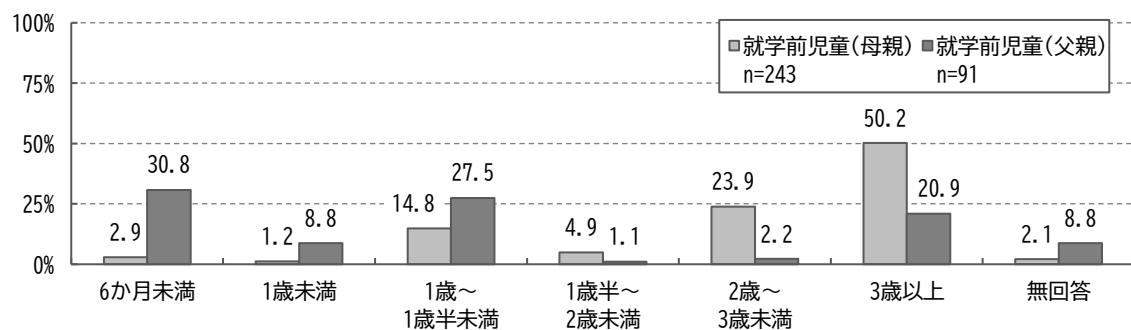


- 母親が育児休業から復帰したときの子どもの実際の月齢と希望の月齢をみると、いずれも「1歳～1歳半未満」（実際の月齢56.0%、希望の月齢32.1%）が最も高くなっています。また、希望する期間のうち、「3歳以上」を希望した母親は30.0%となっています。
- 父親では、実際の月齢、希望の月齢ともに「6か月未満」（実際の月齢82.4%、希望の月齢56.0%）が最も高くなっています。
- 3歳までの育児休業制度があった場合に取得を希望する子どもの月齢をみると、母親では「3歳以上」（50.2%）、父親では「6か月未満」（30.8%）が最も高くなっています。

問30-4 育児休業から復帰したときの子どもの実際の月齢と希望する月齢



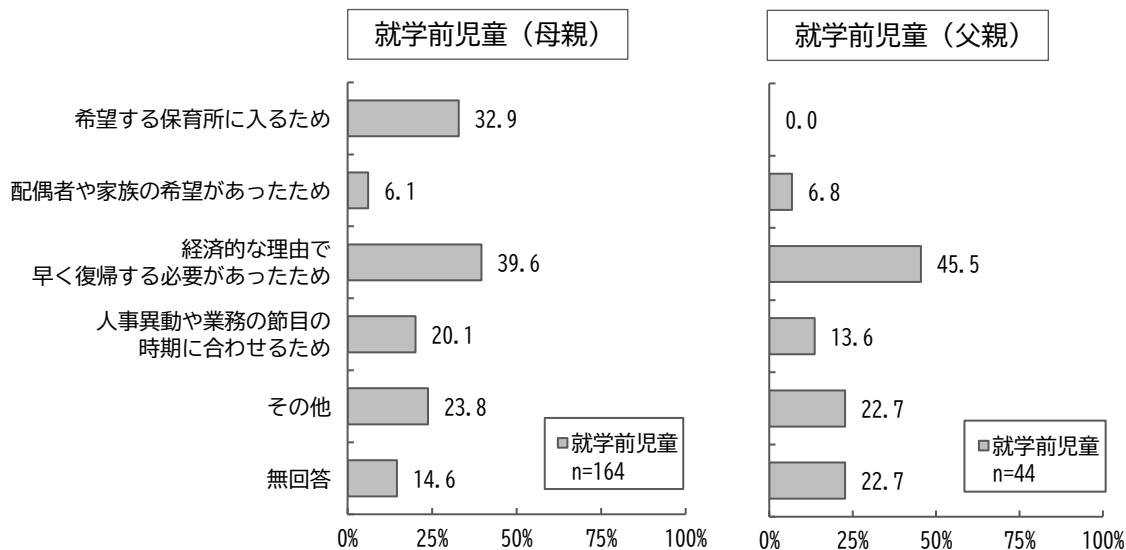
問30-5 3歳までの育児休業があった場合の子どもの希望する月齢



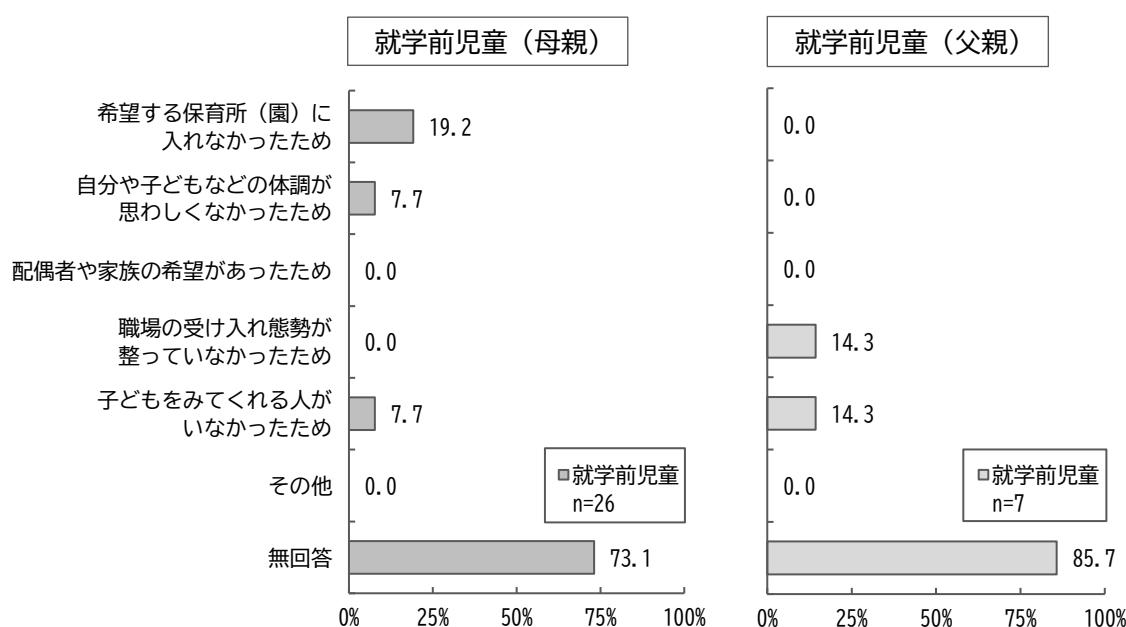


- 育児休業から「希望の時期」より早く職場復帰した理由をみると、母親、父親いずれも「経済的な理由で早く復帰する必要があった」（母親39.6%、父親45.5%）が最も高くなっています。
- 「希望の時期」より遅く職場復帰した理由をみると、母親では、「希望する保育所（園）に入れなかったため」（19.2%）が最も高くなっています。

問30-6(1) 育児休業から「希望の時期」より早く職場復帰した理由



問30-6(2) 育児休業から「希望の時期」より遅く職場復帰した理由



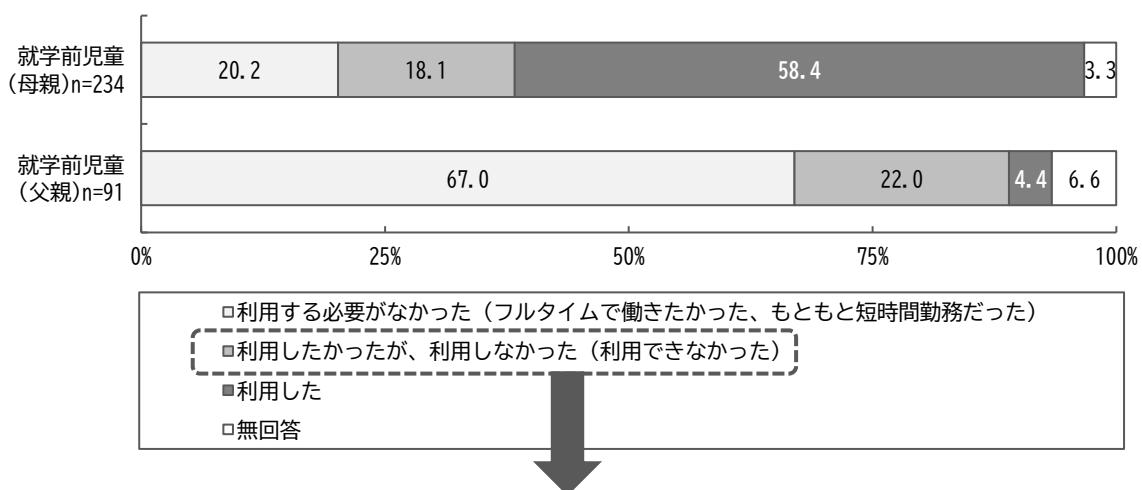


(4) 短時間勤務制度の利用状況

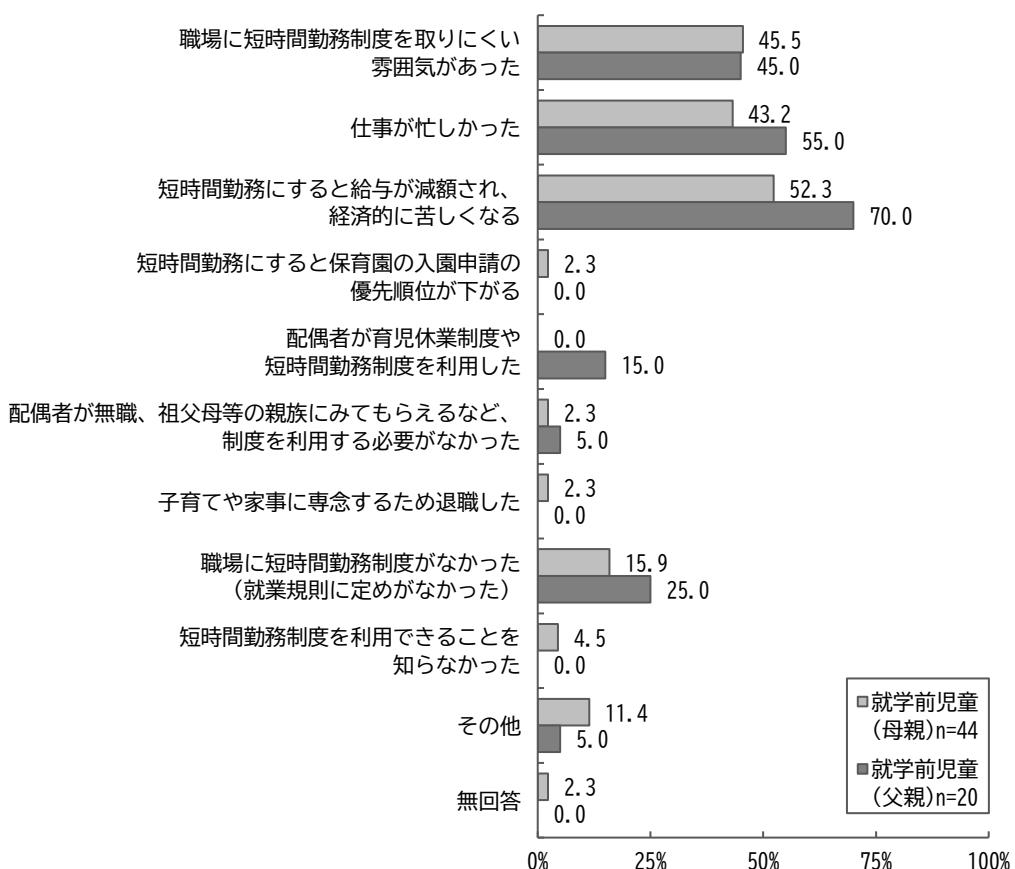
○職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況をみると、「(短時間勤務制度を)利用した」では母親が58.4%となっていますが、父親は4.4%に留まっています。

○職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかった理由をみると、母親、父親いずれも「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」(母親52.3%、父親70.0%)が最も高く、次いで母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(45.5%)、父親では「仕事が忙しかった」(55.0%)となっています。

問30-7 職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況



問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由

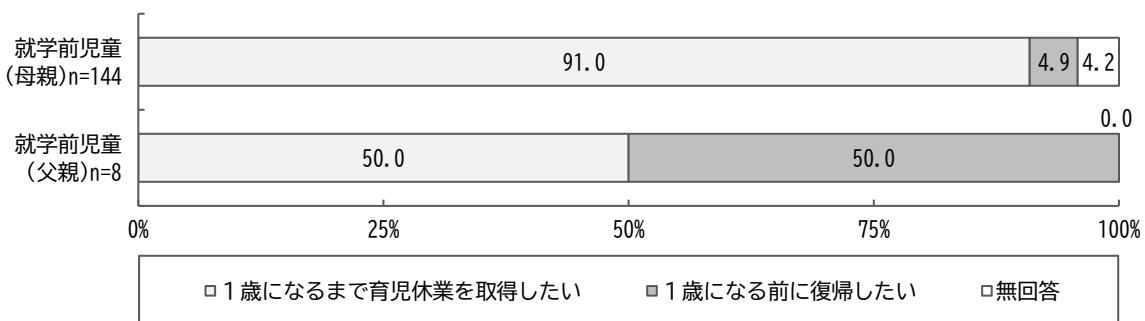




(5) 育児休業取得期間の希望

○1歳になった時に預け先が保障される場合の育児休業取得の希望をみると、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が91.0%となっています。

問30-9 1歳になったときに預け先が保障される場合の育児休業取得の希望



第5章

子育て支援の充実



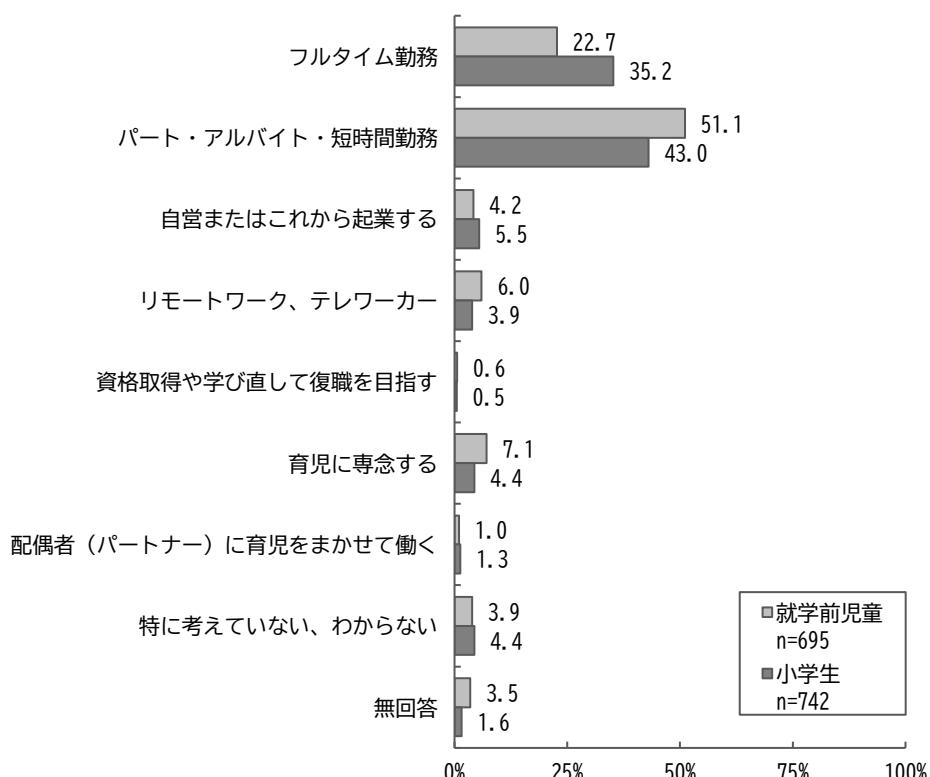
第5章 子育て支援の充実

1 子育てについて

(1) 子育て中の働き方について

○子育て中の働き方として希望するスタイルについてみると、就学前児童、小学生いずれも「パート・アルバイト・短時間勤務」(就学前児童51.1%、小学生43.0%)が最も高くなっています。

問31[問17] 子育て中の働き方として希望するスタイル

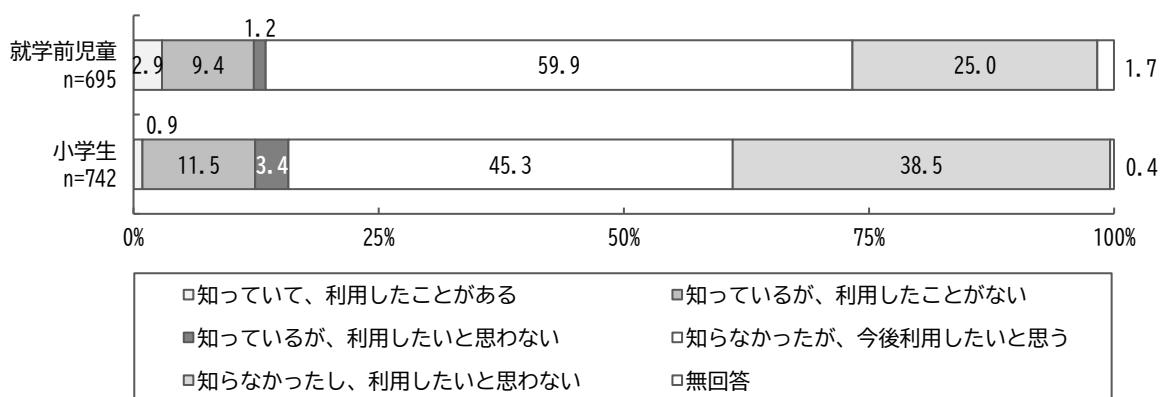




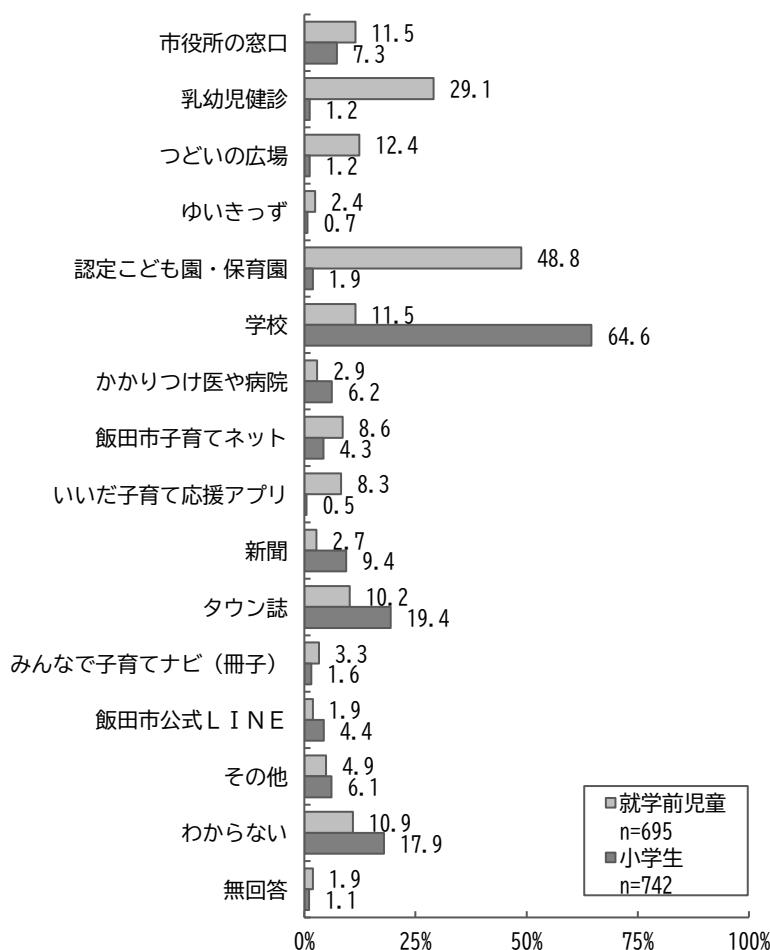
(2) 子育てのことについて

- 児童手当や認定こども園等入所に関する手続きがマイナンバーカードを使用してオンライン手続きできることを知っているかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「知らなかったが、今後利用したいと思う」(就学前児童59.9%、小学生45.3%)が最も高くなっています。
- 市の子育てに関する情報の入手方法をみると、就学前児童では「認定こども園・保育園」(48.8%)、小学生では「学校」(64.5%)が最も高くなっています。

問32[問18] マイナンバーカードを使用したオンライン手続きを知っているか



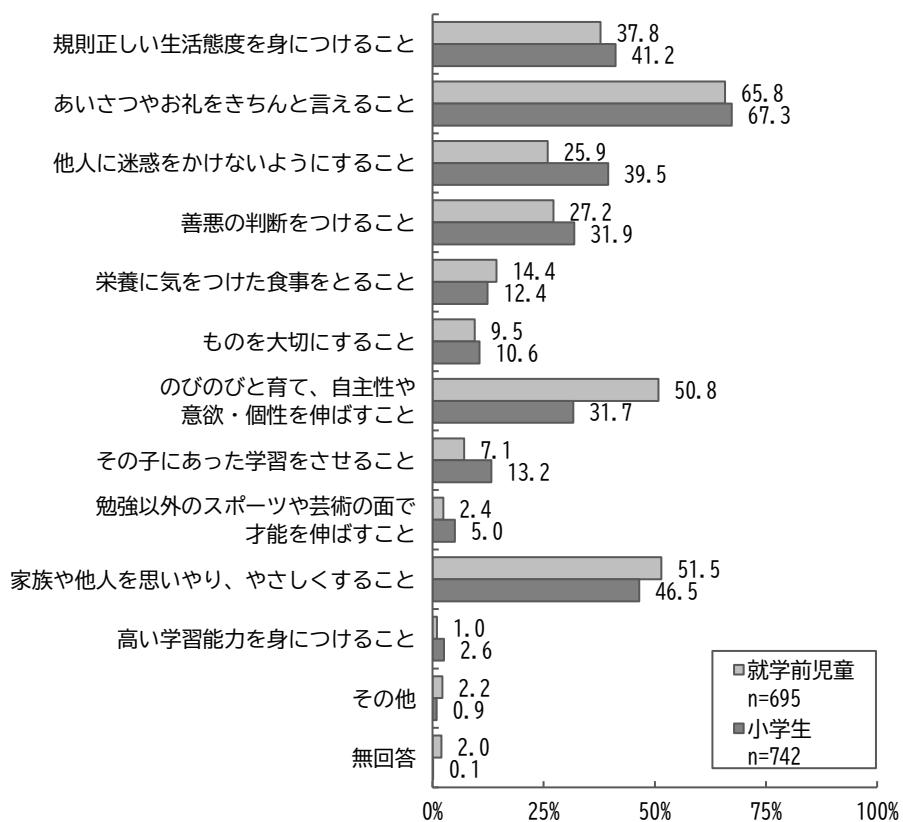
問33[問19] 市の子育てに関する情報の入手方法



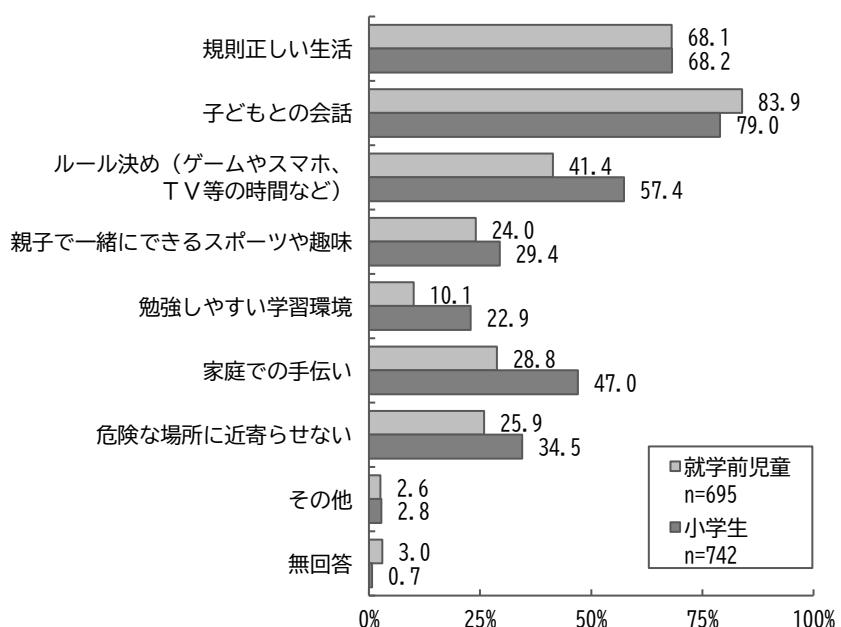


- 子育てにおいて、大切にしていることをみると、就学前児童、小学生いずれも「あいさつやお礼をきちんと言えること」(就学前児童65.8%、小学生67.3%)が最も高くなっています。
- 子どもと一緒に過ごす中で心掛けていることをみると、就学前児童、小学生いずれも「子どもとの会話」(就学前児童83.9%、小学生79.0%)が最も高くなっています。

問34[問20] 子育てにおいて、大切にしていること



問35[問21] 子どもと一緒に過ごす中で心掛けていること

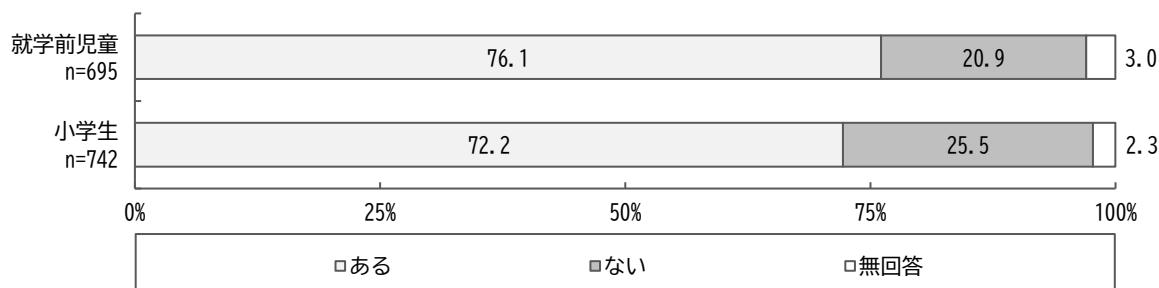




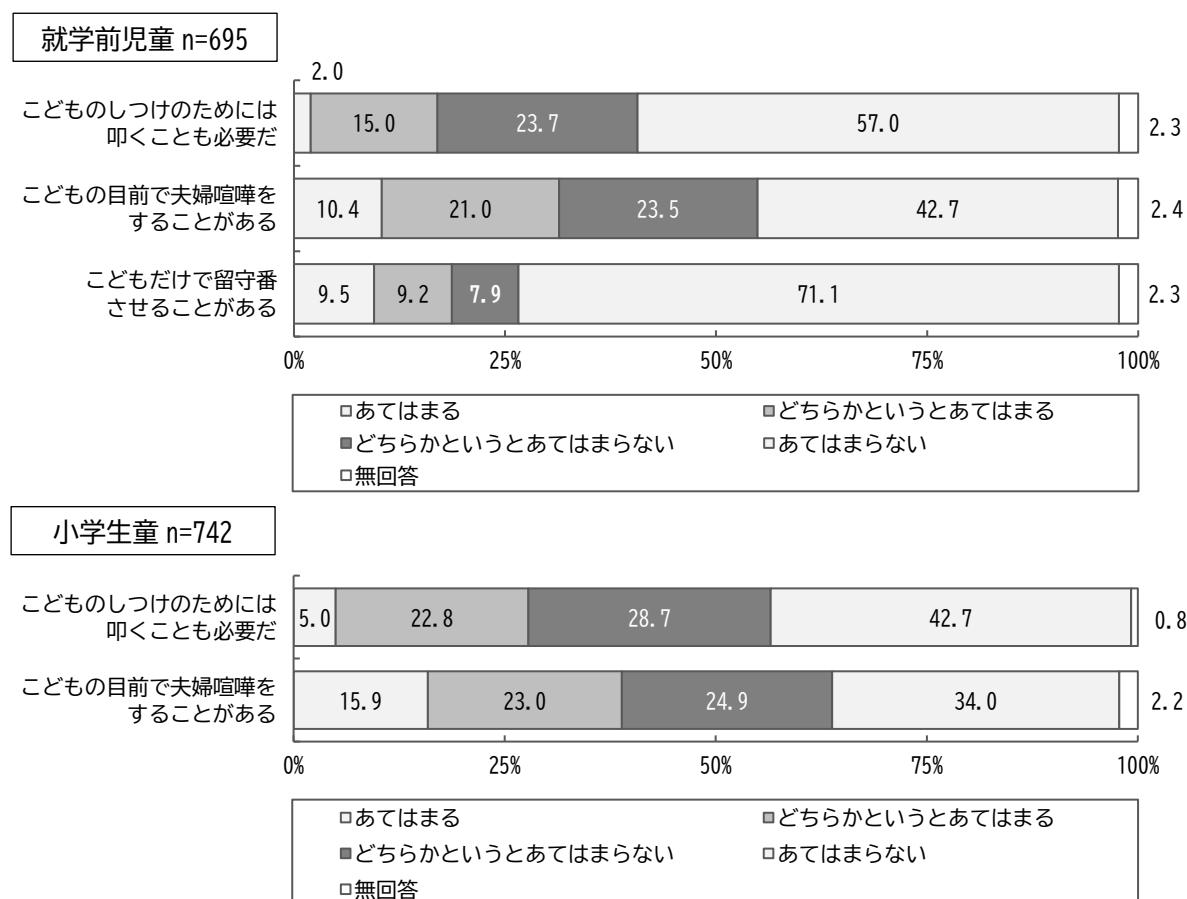
(3) 子育てに関する悩みや不安

- 子育てに関して不安感や負担感を感じることの有無をみると、「ある」と回答した方が就学前児童では76.1%、小学生では72.2%となっています。
- これまでの子育ての中であったり思つたりしたことはあるかについてみると「子どものしつけのためには叩くことも必要だ」では、「あてはまる」(あてはまる+どちらかというとあてはまるの合計)が就学前児童では17.7%、小学生では27.8%となっています。
- 「子どもの目前で夫婦喧嘩をすることがある」では「あてはまる」(あてはまる+どちらかというとあてはまるの合計)が就学前児童では31.4%、小学生では38.9%となっています。
- 「子どもだけで留守番させることがある」では「あてはまる」(あてはまる+どちらかというとあてはまるの合計)が就学前児童では18.7%となっています。

問36[問22] 子育てに関して不安感や負担感を感じることの有無



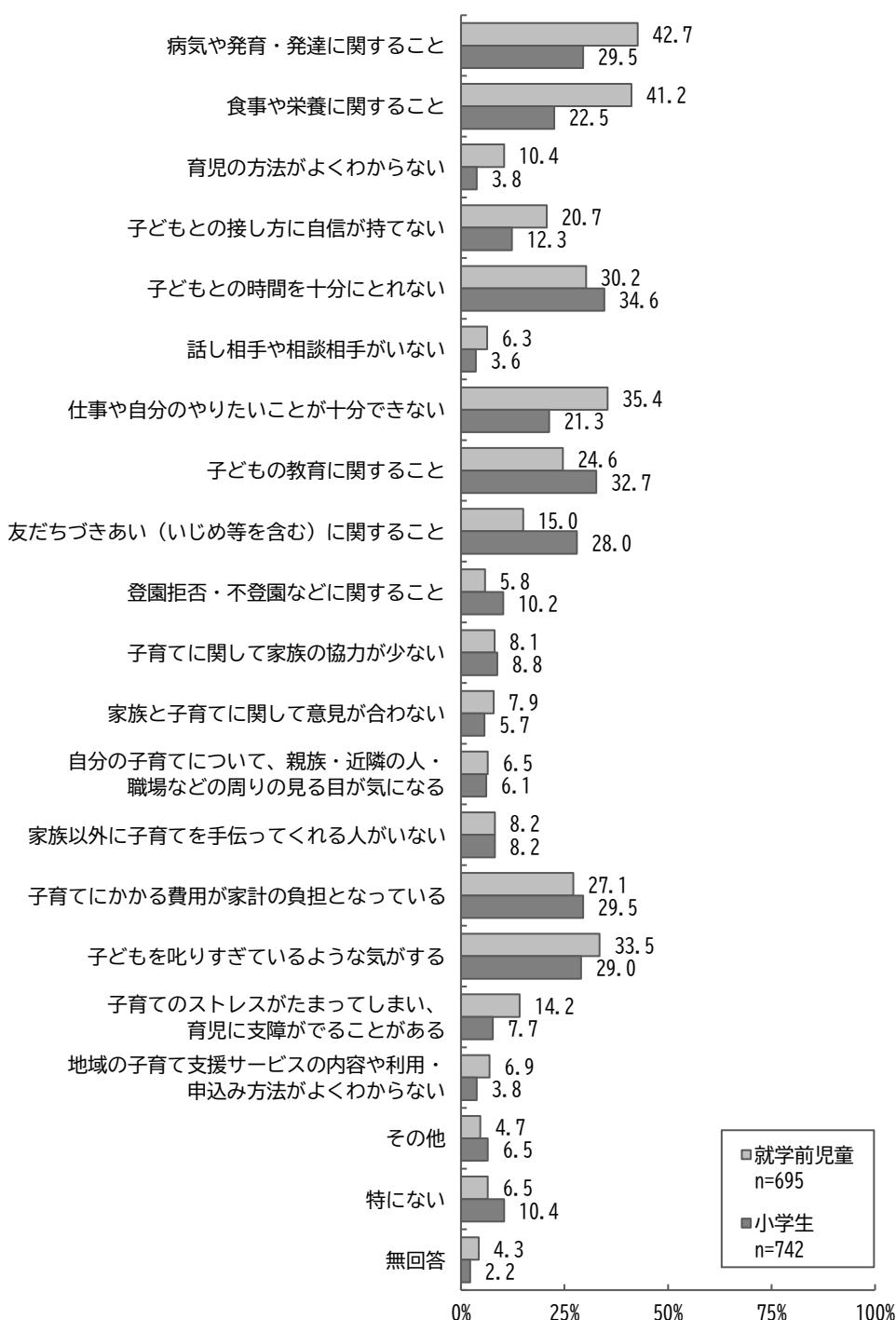
問38[問24] これまでの子育ての中であったり思つたりしたことはあるか





○日頃悩んでいること、気になることをみると、就学前児童では「病気や発育・発達に関するここと」(42.7%)、小学生では「子どもとの時間を十分にとれない」(34.6%)が最も高くなっています。

問37[問23] 日頃悩んでいること、気になること

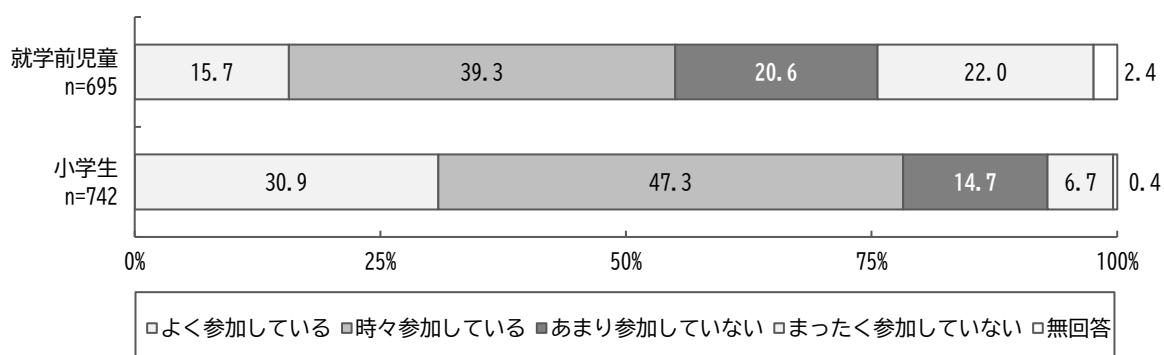




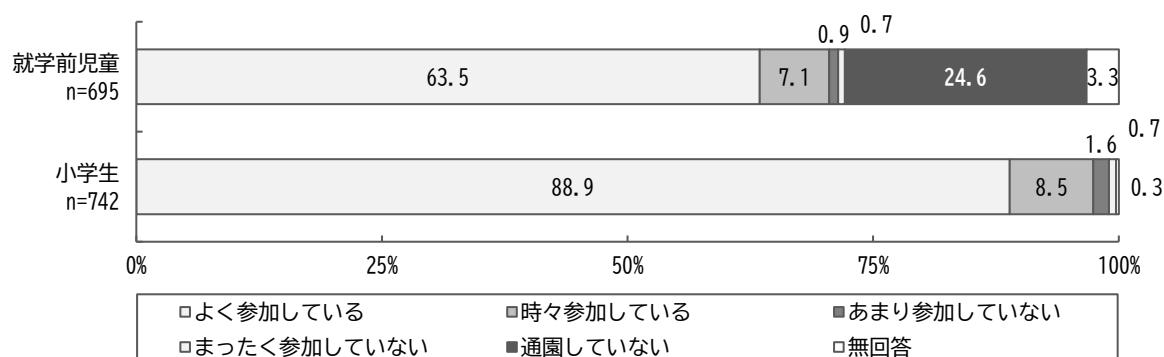
(4) 子育て家庭の暮らし向きについて

- 地域の行事等に参加しているかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「時々参加している」(就学前児童39.3%・小学生47.3%)が最も高くなっています。
- 子どもが通う園・学校の行事に参加しているかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「よく参加している」(就学前児童63.5%・小学生88.9%)が最も高くなっています。
- 同居している家族との間で、子育てや子どもの教育についてよく話をするかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「よく話す」(就学前児童56.4%・小学生44.3%)が最も高くなっています。

問39①[問25①] 地域の行事等に参加しているか

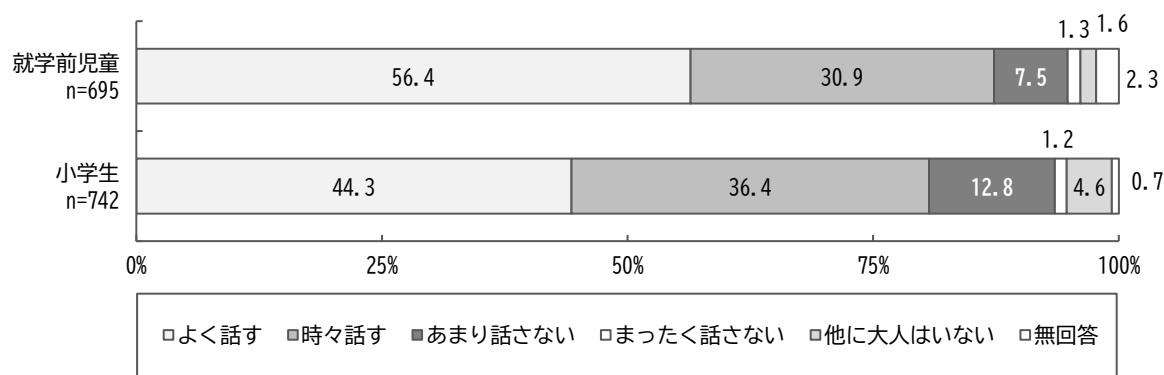


問39②[問25②] 子どもが通う園・通う学校の行事に参加しているか



※「通園していない」の選択肢は就学前児童のみ

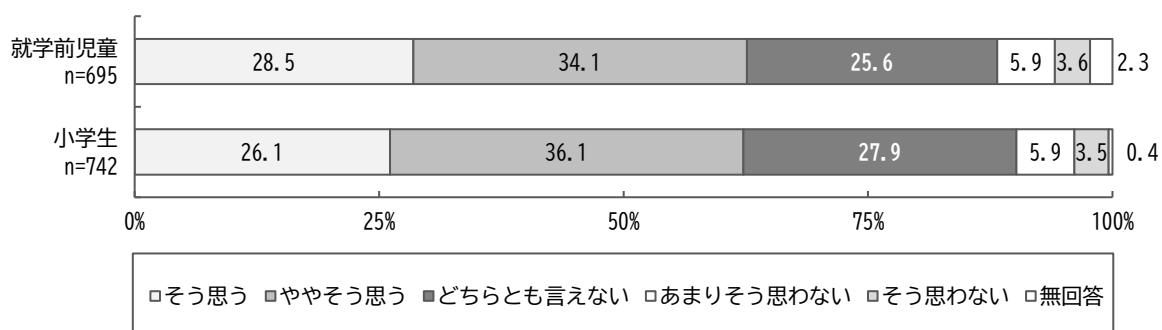
問39③[問25③] 家族で、子育てや子どもの教育についてよく話をするか



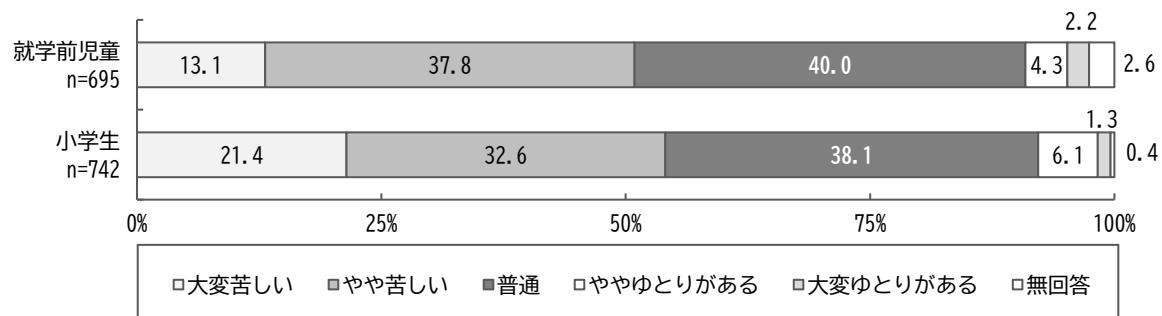


- 生活上の困難（失業や低所得、病気、要介護の状態など）を解決するために、地域の人々はお互いに協力することが望ましいかについてみると、就学前児童、小学生いずれも「ややそう思う」（就学前児童34.1%・小学生36.1%）が最も高くなっています。
- 現在の暮らしの状況についてみると、就学前児童、小学生いずれも「普通」（就学前児童40.0%・小学生38.1%）が最も高くなっています。
- お子さんが生まれてから現在までの間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道のいずれかを止められたことの有無についてみると、就学前児童、小学生ともに「なかった」（就学前児童95.3%、小学生94.7%）が最も高くなっています。一方、「あった」は就学前児童で1.4%、小学生で3.6%となっています。

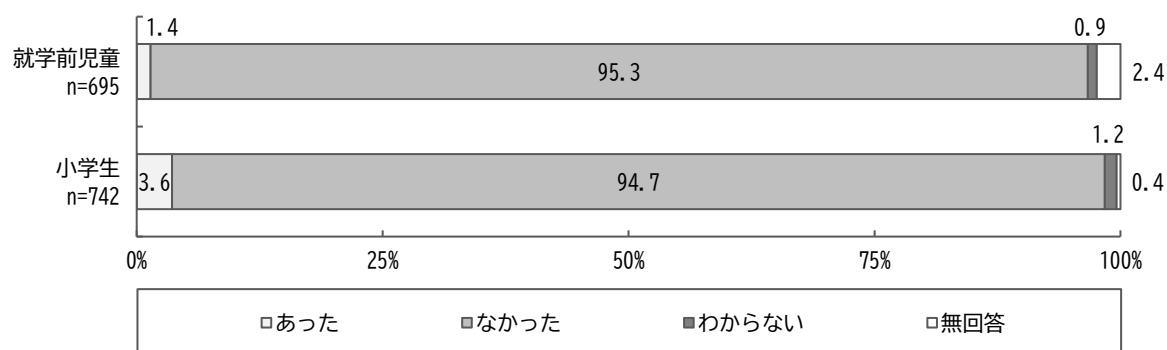
問39④[問25④] 生活上の困難を解決するために、地域の人々と協力することが望ましいか



問40[問26] 現在の暮らしの状況



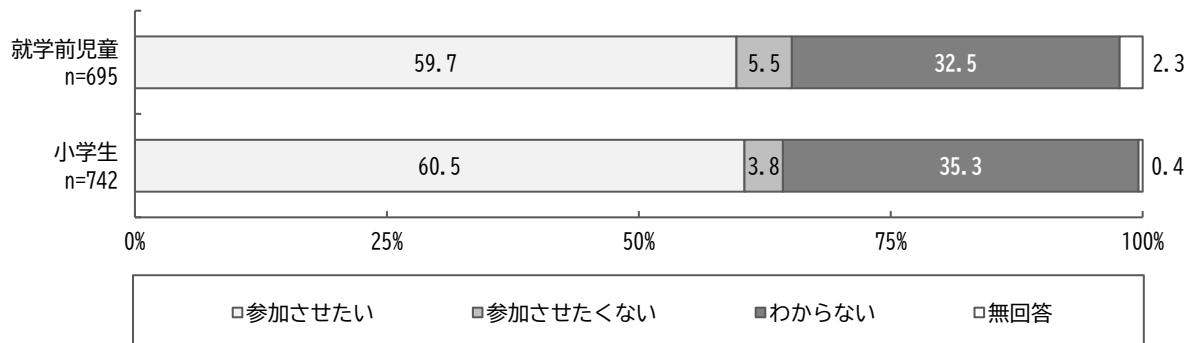
問41[問27] 経済的理由の料金滞納で電気・ガス・水道を止められたことの有無



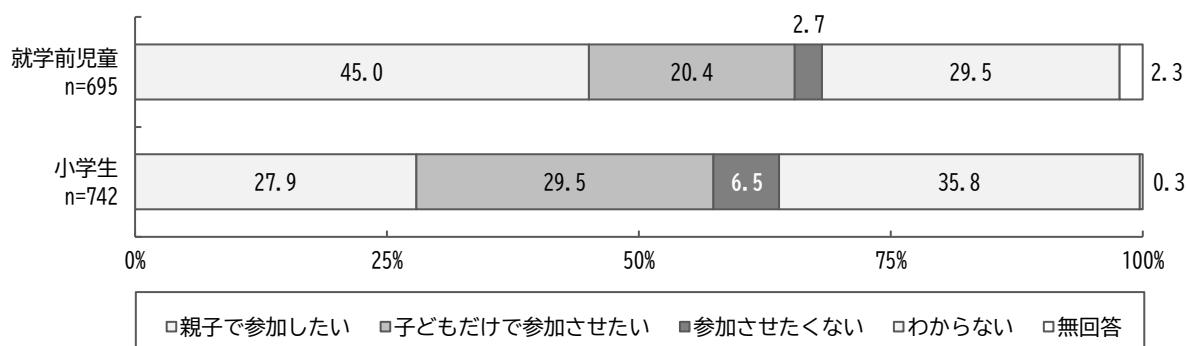


- ボランティア等による無料の学習塾に参加させたいかをみると、就学前児童、小学生ともに「参加させたい」（就学前児童59.7%、小学生60.5%）が最も高くなっています。
- 地域に「子ども食堂」があったら、参加させたいかをみると、就学前児童では「親子で参加したい」（45.0%）、小学生では「わからない」（35.8%）が最も高くなっています。

問42[問28] ボランティア等による無料の学習塾に参加させたいか



問43[問29] 地域に「子ども食堂」があったら、参加させたい

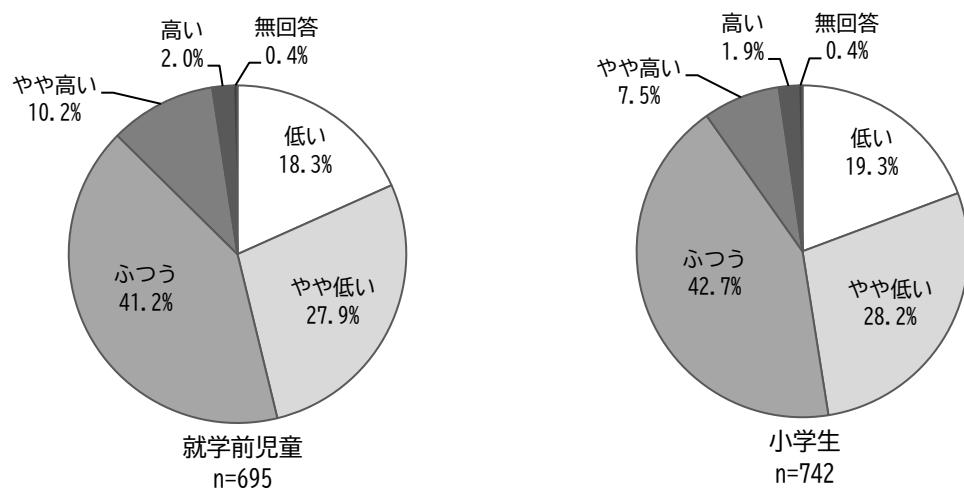




(5) 子育て環境や支援の満足度

○「子育ての環境や支援に対する満足度」が高いと感じる保護者（「高い」+「やや高い」）をみると、就学前児童（12.2%）、小学生（9.4%）となっており、ふつうと感じる保護者は就学前児童では41.2%、小学生では42.7%となっています。一方、低いと感じる保護者（「低い」+「やや低い」）をみると、就学前児童（46.2%）、小学生（47.5%）となっています。

問44[問30] 子育ての環境や支援に対する満足度



資料編

資料編

1 就学前児童保護者の調査票

就学前児童の保護者の方へ

子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査票

[調査ご協力のお願い]

皆さまには、日頃より市政にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

本市では、「子ども・子育て支援法」に基づき、令和2年3月に「第2期飯田市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、様々な子育て支援事業に取り組んでいます。

この度、令和7年からの第3期（令和7~11年度）計画を策定するにあたり、保護者の方の子育て状況、ご要望やご意見、利用ニーズ等を把握するため、アンケート調査のご協力をお願いするものです。

本調査は匿名で行い、ご本人が特定されることはありません。率直なご意見をご記入ください。調査結果は、統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありません。

設問が多く、ご負担をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力いただけますよう、よろしくご願意申上げます。

飯田市長 佐藤 健

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートは封筒の宛名の子どもについて、保護者が方がご記入ください。
- 選択肢がある場合には、番号を印字で記入してください。
- 数字で年齢や時間（約束）をご記入いただく質問は、枠内に具体的な数字をご記入ください。
また、時間については24時間制でご記入ください。 記入例：午後6時 → 18時
- 設問によっては回答いただく方が限られている場合がありますので、ことわり書きや矢印印にて從つてお答えください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。

■インターネットでの回答

パソコン、スマートフォン又はタブレットのいずれかを用いて、下記のQRコード又は右下のQRコードを読み取りアクセスし、画面の案内に従って下記のID、パスワードを入力し、質問項目にお答えください。 調査票を返送していただく必要があります。

※英数字IDは重複登録も許さるので、個人で特定するものはあります。

回答用
(URL) <https://wsurvey.jp/s.php?clear=1&a=iida-221>

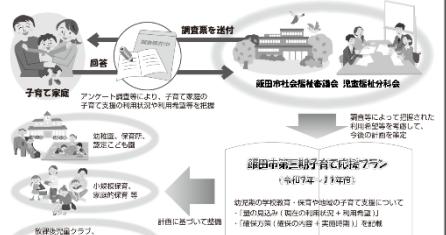

QRコード

※回答を中断した場合は再度QRコードを読み取り、上記のID・パスワードを入力し、再開してください。

■ご回答いただくうえでご不明な点や調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

飯田市子育て支援課 電話 0265-22-4511 (内線 5346)

いただいたご回答は、飯田市の子育て支援の充実に活かします



お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの地区はどこですか。【□は1つだけ】

1. 桜北	2. 桜南	3. 羽場	4. 丸山	5. 東野
6. 墓光寺	7. 松尾	8. 下久堅	9. 上久堅	10. 千代
11. 鶴江	12. 常丘	13. 川路	14. 三様	15. 山本
16. 伊賀良	17. 鶴	18. 上郷	19. 上村	20. 東信濃

問2 実名のお子さんの生年月を数字でご記入ください。

西暦	20	年	月	生まれ
----	----	---	---	-----

問3 実名のお子さんのきのうのいいだいは何人ですか。
※実名のお子さんはあめんこ数を数字でご回答ください。

※「4. 4人以上」に○をつけた方は、具体的な人数を数字でご回答ください。

1. 1人	2. 2人
3. 3人	4. 4人以上 (<input type="text"/> 人)

<p>問3-1 理想の子どもの数と実際の子どもの数は違いますか。【〇は1つだけ】</p> <p>1. 理想より多い ⇒ 問3-2へ 2. 理想より少ない ⇒ 問3-2へ 3. 理想と実際と同じ・変わらない ⇒ 問4へ</p> <p>問3-1で「1. 理想より多い」または「2. 理想より少ない」に〇をついた方にうかがいます。</p> <p>問3-2 あなたが思う理想的の子どもの人数は几人ですか。【〇は1つだけ】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>1. 1人</td> <td>2. 2人</td> <td>3. 3人</td> <td>4. 4人</td> <td>5. 5人以上</td> </tr> </table> <p>問3-1で「2. 理想より少ない」に〇をつけた方にうかがいます。</p> <p>問3-3 その理由は何ですか。【〇は3つまで】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>1. これら出産を予定しているから</td> <td>2. その子について手をかけられるから</td> </tr> <tr> <td>3. 子育てや教育にかかる費用が大きい</td> <td>4. 仕事と子育ての両立が難しい</td> </tr> <tr> <td>5. 身体的・精神的な負担が大きい</td> <td>6. 高齢年齢や健康などの問題で出産が難しい</td> </tr> <tr> <td>7. 住居の狭い</td> <td>8. 子育てを手助けしてくれる人が近くにいない</td> </tr> <tr> <td>9. 社会的や経済問題など不安がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10. 保育園、認定こども園などの保育サービスが十分でない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11. 子どもを生む前でための家庭環境がよくない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12. 子育てよりも自分の生活を優先したい</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13. 子どもがあまり好きではない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14. その他 ()</td> <td></td> </tr> </table> <p>問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。【〇は1つだけ】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>1. 母親</td> <td>2. 父親</td> <td>3. その他 ()</td> </tr> </table> <p>問5 この調査票にご回答いたしている方の配偶者の有無についてお答えください。 【〇は1つだけ】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>1. 配偶者がいる</td> <td>2. 配偶者はいない</td> </tr> </table> <p>問6 お子さんの育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。【〇は1つだけ】 ※宛名のお子さんからみた関係でお答えください。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>1. 父母ともに</td> <td>2. 主に母親</td> <td>3. 主に父親</td> </tr> <tr> <td>4. 主に祖父母</td> <td>5. その他 ()</td> </tr> </table>	1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人以上	1. これら出産を予定しているから	2. その子について手をかけられるから	3. 子育てや教育にかかる費用が大きい	4. 仕事と子育ての両立が難しい	5. 身体的・精神的な負担が大きい	6. 高齢年齢や健康などの問題で出産が難しい	7. 住居の狭い	8. 子育てを手助けしてくれる人が近くにいない	9. 社会的や経済問題など不安がある		10. 保育園、認定こども園などの保育サービスが十分でない		11. 子どもを生む前でための家庭環境がよくない		12. 子育てよりも自分の生活を優先したい		13. 子どもがあまり好きではない		14. その他 ()		1. 母親	2. 父親	3. その他 ()	1. 配偶者がいる	2. 配偶者はいない	1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母	5. その他 ()	<p style="text-align: right;">お子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます</p> <p>問7 お子さんの育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（どこ）ですか。 【〇はあてはまるものすべて】※お子さんからみた関係でお答えください。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>1. 父母ともに</td> <td>2. 母親</td> <td>3. 父親</td> </tr> <tr> <td>4. 祖父母</td> <td>5. 認定こども園（保育園・幼稚園も含む）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. その他 ()</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>問8 お子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境は何ですか。 【〇はあてはまるものすべて】※お子さんからみた関係でお答えください。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>1. 家庭</td> <td>2. 地域</td> </tr> <tr> <td>3. 認定こども園（保育園・幼稚園も含む）</td> <td>4. その他 ()</td> </tr> </table> <p>問9 日常に、お子さんをみてもらえる親友・知人はありますか。【〇はあてはまるものすべて】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>1. 日常的に祖父母等の家族にみてもらえる</td> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">⇒ 問9-1へ</td> </tr> <tr> <td>2. 緊急時もしくは用事の際にみに祖父母等の親友にみてもらえる</td> </tr> <tr> <td>3. 日常的に子どもをみてもられる友人・知人がいる</td> </tr> <tr> <td>4. 緊急時もしくは用事の際に子どもをみてもられる友人・知人がいる</td> </tr> <tr> <td>5. いぢれもない</td> <td>⇒ 問10へ</td> </tr> </table> <p>問9で「1.」または「2.」に〇をつけた方にうかがいます。</p> <p>問9-1 祖父等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。 【〇はあてはまるものすべて】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる</td> </tr> <tr> <td>2. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担が大きくなる</td> </tr> <tr> <td>3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きくなる</td> </tr> <tr> <td>4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい</td> </tr> <tr> <td>5. 子どもの教育や育児にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある</td> </tr> <tr> <td>6. その他 ()</td> </tr> </table>	1. 父母ともに	2. 母親	3. 父親	4. 祖父母	5. 認定こども園（保育園・幼稚園も含む）		6. その他 ()			1. 家庭	2. 地域	3. 認定こども園（保育園・幼稚園も含む）	4. その他 ()	1. 日常的に祖父母等の家族にみてもらえる	⇒ 問9-1へ	2. 緊急時もしくは用事の際にみに祖父母等の親友にみてもらえる	3. 日常的に子どもをみてもられる友人・知人がいる	4. 緊急時もしくは用事の際に子どもをみてもられる友人・知人がいる	5. いぢれもない	⇒ 問10へ	1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	2. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担が大きくなる	3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きくなる	4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	5. 子どもの教育や育児にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	6. その他 ()
1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人以上																																																										
1. これら出産を予定しているから	2. その子について手をかけられるから																																																													
3. 子育てや教育にかかる費用が大きい	4. 仕事と子育ての両立が難しい																																																													
5. 身体的・精神的な負担が大きい	6. 高齢年齢や健康などの問題で出産が難しい																																																													
7. 住居の狭い	8. 子育てを手助けしてくれる人が近くにいない																																																													
9. 社会的や経済問題など不安がある																																																														
10. 保育園、認定こども園などの保育サービスが十分でない																																																														
11. 子どもを生む前でための家庭環境がよくない																																																														
12. 子育てよりも自分の生活を優先したい																																																														
13. 子どもがあまり好きではない																																																														
14. その他 ()																																																														
1. 母親	2. 父親	3. その他 ()																																																												
1. 配偶者がいる	2. 配偶者はいない																																																													
1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親																																																												
4. 主に祖父母	5. その他 ()																																																													
1. 父母ともに	2. 母親	3. 父親																																																												
4. 祖父母	5. 認定こども園（保育園・幼稚園も含む）																																																													
6. その他 ()																																																														
1. 家庭	2. 地域																																																													
3. 認定こども園（保育園・幼稚園も含む）	4. その他 ()																																																													
1. 日常的に祖父母等の家族にみてもらえる	⇒ 問9-1へ																																																													
2. 緊急時もしくは用事の際にみに祖父母等の親友にみてもらえる																																																														
3. 日常的に子どもをみてもられる友人・知人がいる																																																														
4. 緊急時もしくは用事の際に子どもをみてもられる友人・知人がいる																																																														
5. いぢれもない	⇒ 問10へ																																																													
1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる																																																														
2. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担が大きくなる																																																														
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きくなる																																																														
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい																																																														
5. 子どもの教育や育児にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある																																																														
6. その他 ()																																																														

飯田市



問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
【□はあてはまるものすべて】

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的・精神的な負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担を感じていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問10 お子さんの子育て（教育を含む）をするうえで、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所はありますか。【□は1つだけ】

1. いる／ある ⇒ 問10-1へ 2. いない／ない ⇒ 問11へ

問10で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問10-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
【□はあてはまるものすべて】

- | | | |
|--------------------------|----------------------|---------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 | 3. 近所の人 |
| 4. 子育て支援施設（つどいの広場） | 5. 飯田市こども家庭課（ひさいしきく） | |
| 6. 保健センター（保健師） | 7. 地区の保健師 | |
| 8. 郡家こども園（保育園・幼稚園も含む）の先生 | | |
| 9. 主任兒童委員・民衆兒童委員 | 10. かかりつけの医師 | |
| 11. 子育て関連担当窓口 | 12. その他 () | |

問11 子育て（教育を含む）をする上で、問題（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。自由にご記入ください。

お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

母親についてうかがいます

※父子家庭の場合は、記入不要で△⇒問13へ

問12 場現在の就労（当職業、家族従事者含む）についてお答えください。【□は1つだけ】

※就労日数と1日当たりの就労時間によって、フルタイム（パート・アルバイト）、パート・アルバイトが、を選択してください。

- | | |
|---|---------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | ⇒問12-1へ |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | |

6. これまで就労したことない

問12で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問12-1 以下の（1）、（2）の設問にお答えください。

(1) 1週当たりの就労日数・1日当たりの就労時間（残業時間を含む）を□□に数字でご記入ください。

※日数や時間が一定でない場合はもともと多いバーンをお答えください。

※若林、若林、介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※現時は、24時間（例）09時頃、18時頃のよう）で記入ください。

■家を出る時刻 [] 時頃 派遣時刻 [] 時頃

問12で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問12-2 仕事と子育ての両立について保護者の方とはどのような状況ですか。【□は1つだけ】

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 仕事を優先している | 2. やむをえず子育てより仕事を優先している |
| 3. 仕事と子育ての両立を図るよう努めている | 4. やむをえず仕事より子育てを優先している |
| 5. 子育てを優先している | 6. その他 () |

4

5

問11で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

うかがいます。

問12-3 フルタイムへの転換希望はありますか。【□は1つだけ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外での就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外をやめて子育てや家事に専念したい

問12で「5.」または「6.」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。

問12-4 就労したいという希望はありますか。【□はそれぞれ1つだけ】

また、該当する箇所に数字をご記入ください。

1. 仕事をやめ家事などに専念したい（就労の予定はない）
 2. 1年より先、一番下の子どもが [] 歳になったころに就労したい
 3. すぐにでも、もしくは1年内に就労したい
- ⇒希望する就労形態
- (1) フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
(2) パートタイム・アルバイト等（①以外）
→1週当たり [] 日程度 1日当たり [] 時間程度

父親についてうかがいます

※母子家庭の場合は、記入不要で△⇒問14へ

問13 現在の就労（当職業、家族従事者含む）についてお答えください。【□は1つだけ】

- | | |
|---|---------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | ⇒問13-1へ |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | |

6. これまで就労したことない

問12で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問13-1 以下の（1）、（2）の設問にお答えください。

(1) 1週当たりの就労日数・1日当たりの就労時間（残業時間を含む）を□□に数字でご記入ください。

※日数や時間が一定でない場合はもともと多いバーンをお答えください。

※若林、若林、介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

■家を出る時刻 [] 時頃 派遣時刻 [] 時頃

問12で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問13-2 仕事と子育ての両立について保護者の方とはどのような状況ですか。【□は1つだけ】

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 仕事を優先している | 2. やむをえず子育てより仕事を優先している |
| 3. 仕事と子育ての両立を図るよう努めている | 4. やむをえず仕事より子育てを優先している |
| 5. 子育てを優先している | 6. その他 () |

問12で「3.」または「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問13-3 フルタイムへの転換希望はありますか。【□は1つだけ】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外での就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外をやめて子育てや家事に専念したい

問12で「5.」または「6.」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。

問13-4 就労したいという希望はありますか。【□はそれぞれ1つだけ】

また、該当する箇所に数字をご記入ください。

1. 仕事をやめ家事などに専念したい（就労の予定はない）
 2. 1年より先、一番下の子どもが [] 歳になったころに就労したい
 3. すぐにでも、もしくは1年内に就労したい
- ⇒希望する就労形態
- (1) フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
(2) パートタイム・アルバイト等（①以外）
→1週当たり [] 日程度 1日当たり [] 時間程度

6

7



<p>お子さんの平日の「定期的な教育・保育」の利用状況について</p> <p>うかがいます</p> <p>*ここいう「定期的な教育・保育」とは、月曜日～土曜日に利用している事業を指します。 具体的には、保育園や認定こども園（幼稚園も含む）など、問14-1に示した事業が含まれます。</p> <p>問14 お子さんは現在、保育園や認定こども園（幼稚園も含む）などの「定期的な教育・保育」を利用されていますか。【〇は1つだけ】</p> <p>1. 利用している ⇒問14-1へ 2. 利用していない ⇒問14-5へ</p> <p>問14-1～問14-4は、問14で「1. 利用している」に〇をつけた方にうかがいます。</p> <p>問14-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。 また、希望としてはどのくらい利用したいですか。</p> <p>(1) 現在の利用状況 活動時間(時刻)は、24時間制でご記入ください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>1週当たり</td> <td><input type="text"/></td> <td>日程度</td> </tr> <tr> <td>1日当たり</td> <td><input type="text"/></td> <td>時間程度</td> <td><input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> 時</td> </tr> </table> <p>(2) 希望の利用状況 活動時間(時刻)は、24時間制でご記入ください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>1週当たり</td> <td><input type="text"/></td> <td>日程度</td> </tr> <tr> <td>1日当たり</td> <td><input type="text"/></td> <td>時間程度</td> <td><input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> 時</td> </tr> </table>	1週当たり	<input type="text"/>	日程度	1日当たり	<input type="text"/>	時間程度	<input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> 時	1週当たり	<input type="text"/>	日程度	1日当たり	<input type="text"/>	時間程度	<input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> 時	<p>問14-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。【〇は1つだけ】</p> <p>1. 本市内 2. 他の市町村</p> <p>問14-4 平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由は何ですか。 【〇はあてはまるものすべて】</p> <p>1. 子どもの教育や発達のため 2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している 3. 子育て（教育を含む）をしている方に成育予定がある／求職中である 4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している 5. 子育て（教育を含む）をしている方に病気や障害がある 6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である 7. その他 ()</p> <p>問14-5 利用していない理由は何ですか。【〇はあてはまるものすべて】</p> <p>1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない 2. 子どもの祖父母や親戚がいる 3. 近所の人や父母の友人・知人がいる 4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない 6. 利用したいが、延長・夜間等の開所時間の条件が合わない 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない 8. 子どもがまだ小さいため () 虐くらいいなったら利用しようと考えている 9. その他 ()</p>
1週当たり	<input type="text"/>	日程度													
1日当たり	<input type="text"/>	時間程度	<input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> 時												
1週当たり	<input type="text"/>	日程度													
1日当たり	<input type="text"/>	時間程度	<input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> 時												

<p>すべての方にうかがいます。</p> <p>問15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。【〇はあてはまるものすべて】 ※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（調査日現在）</p> <p>1. 認定こども園（幼稚園も含む）（標準時間6時間以内で幼児教育を行う施設） 2. 認定こども園（幼稚園も含む）の預かり保育（認定こども園で4時間以上預かってもらうこと） 3. 保育園（保育所型と幼稚園型認定こども園を含む標準時間11時間以内または短時間8時間以内で預かっている間に子どもを預かる施設） 4. 事業所内保育施設（企業が主に従業員向けに運営する施設） 5. その他認可外の保育施設 6. ファミリー・サポート・センター（地域住民が有償で子どもを預かる事業） 7. 家庭的保育（保育者の家庭で5人以下の子どもを保育する事業） 8. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業） 9. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが自治体が認証・認定した施設） 10. その他 ()</p> <p>※こちらも遅めで遅園制度：保育所などの利用要件を緩和し、親が就労していくなくても時間単位などで子どもを預けられるようにする新たな遅園制度のことです。</p> <p>問15-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。【〇は1つだけ】</p> <p>1. 本市内 2. 他の市町村</p> <p>問15-2 保育園にお子さんを何歳から預けることが適当だと思いますか。</p> <p>(お子さんが) <input type="text"/> 歳 <input type="text"/> か月から</p> <p>問15-3 保育園での保育を希望する理由は何ですか。【〇はあてはまるものすべて】</p> <p>1. 働いている時間帯に子どもを見る人がいないから 2. 家庭だけでなく、園を活用してしつけや教育をしたいから 3. 家庭に収入を得るために、できるだけ早く収穫したいから 4. 上の子が園に通うには、下の子を預けて保育する必要があるから 5. 給食を食べさせてくれるから 6. 新の時間（地域活動や趣味等に允る時間）がほしいから 7. トイレトレーニングをしてくれるから 8. 同じ年の子どもと一緒に遊ぶことが大切だと思うから 9. 家庭での子育てに不安があるから 10. その他 ()</p>	<p>問15-4 保育園を通して何を基本に選びますか（選びましたか）。【〇は3つまで】</p> <p>1. 母乳の餌育（職場が自宅の場合は自宅）に近いこと 2. 父母の両親（職場が自宅の場合は自宅）に近いこと 3. 駅の離場に近いこと、近所の子どもと同じ園に通わせたい 4. 犬の離場や近所の子に聞わらば、地元小学校の通学区内に通わせたい 5. その他、場所に対することを基本に選ぶ（具体的に） 6. 园の評議・衛生を基準にして選ぶ 7. 応対や水遊びなど外遊びをしっかりさせるかで選ぶ 8. その他の相談や施設に関する事を基本に選ぶ（具体的に） 9. 土・水・草木など触れ合いたい、対外取組など自然体験をさせてくれること 10. 大人や地域とのつなりを学ぶこと 11. レッスン（はなしの先生など）をしっかりしてくれること 12. 文字や数字などを教えてくれること 13. 英語ができるか（外国の人がいたり多文化に触れる機会が豊富なこと） 14. スポーツ教育を教えてくれること 15. 音楽・絵画などの体験ができること 16. 長く預かってくれること 17. 乳児のうちから預かってくれること 18. 心の離しやや育ちの持続を持っていても預かってくれること 19. アレルギー対応がしっかりしていること 20. 他の不安：子育への懸念を聞いてくれること 21. その他の保育内容に附することを基本に選ぶ</p> <p>お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます</p> <p>問16 お子さんのお子さんは、現在、子育て支援センター（親子が集まって過ごしたり相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していませんか。【〇はあてはまるものすべて】 また、利用している方はお子さんの利用回数（頻度）を数字でご記入ください。</p> <p>1. 地域子育て支援施設性状（つどいの広場） 1週当たり <input type="text"/> 回 毎度 もしくは 1ヶ月当たり <input type="text"/> 回 程度 2. その他の施設性状で実施している親子の事業（具体名） 1週当たり <input type="text"/> 回 尚度 もしくは 1ヶ月当たり <input type="text"/> 回 尚度 3. 利用していない</p> <p>※1か月の広場／乳児兒（生後0～3歳）とその一家族が無料で利用できる親子の交流の広場です。 毎週開催されればいいとしても働くことができ、保育園でも出世です。お楽しみ会、季節の行事など楽しい催し物もあります。子育てアドバイザーが活躍し、団ぐらから気になることも相談できます。</p> <p>ひらやべりいなづら（横南）、鹿児島（生後0～3歳）とその一家族が無料で利用できる親子の交流の広場です。 (例) アカツキスクエア（横南）、ながいわいねうさん（横田）、わいわいひろば（松尾）、 わいわいぱくまつ（久山）、ゆるまわいね（上野）、karimリトルシティアント（三郷）、 おしゃべりパトフ（山本）、karimリトルスクエア（川越）</p>
--	--

飯田市



問17 同16のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いますか。【〇は1つだけ】
※該当する施設種別はおおよその利用希望回数（候補）を数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい
1週当たり 回 程度 もしくは 1ヶ月当たり 回 程度
2. すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい
1週当たりに 回 程度 もしくは 1ヶ月当たり更に 回 程度
3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない

問18 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。
(①～⑥の事業ごとに、1～3のそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれか1つに○)
※事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

事業名	1 知っている	2 これまでに利用 したことがある	3 今後利用したい
①ママママ教室	はい	いいえ	はい いいえ
先輩ママの会、パパの授業会、お母さん会などなど様々な会があります。	はい	いいえ	はい いいえ
②両親学年（市立幼稚園）	はい	いいえ	はい いいえ
ママの会やお父さんの会、お兄弟の会、両親についてなど開催されています。	はい	いいえ	はい いいえ
③授乳・児童相談（助成券）	はい	いいえ	はい いいえ
施設などで授乳や相談、助成券が受けられます。	はい	いいえ	はい いいえ
④産後ケア（産後型）の助成	はい	いいえ	はい いいえ
産後ケア施設にて、産後のケアや育児のサポートが受けられます。	はい	いいえ	はい いいえ
⑤家庭子育て支援（助成券）	はい	いいえ	はい いいえ
育児の費用や、育児の負担を軽減するための助成券が受けられます。	はい	いいえ	はい いいえ
⑥名乳幼児学校	はい	いいえ	はい いいえ
両親による育児の悩みや、両世代の子どもをもつ親とネットワークづくりを目的にしています。	はい	いいえ	はい いいえ
⑦離乳食講座	はい	いいえ	はい いいえ
離乳食に関する知識や離乳食の変遷などを学びます。	はい	いいえ	はい いいえ
⑧保健師による相談	はい	いいえ	はい いいえ
毎月の定期検査、子どもの健康、栄養を達成、食事などに体に合う相談です。	はい	いいえ	はい いいえ
⑨保健所や認定こども園の園開放	はい	いいえ	はい いいえ
保健所や認定こども園の園開放が受けられます。園の半個室を楽しむために、他の児童との交流ができます。	はい	いいえ	はい いいえ
⑩ひきつき広場	はい	いいえ	はい いいえ
駅や街の飛行場より、一緒に遊びながら利用者ができる施設で、スタッフが常駐しています。	はい	いいえ	はい いいえ

12

	1 知っている	2 これまでに利用 したことがある	3 今後利用したい
⑪地域こども家庭課（ひきつきくみせき）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
おま、おまやおまの心配、おまや学校生活で気になる様子など、お子で困りがちの場合は相談になります。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫つづのの会場	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
半日～3日のおまやおまの心配で利用できる相談の場所です。など、相談、講習会などをどうぞおいで市内に12カ所あります。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑬子育て家庭優待バスポート事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
18歳未満の子でもらいたい特典券の券面カードを発行するなど、優待で子育てサービスを受けることができます。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑭みんなで育てるビ・バナビ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
丁寧して丁寧な情報を丁寧に販賣情報館です。門前町のバナビがあります。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑮飯田市子育てネット	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
子育て情報のホームページとして、子育てに関する情報を発信しています。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑯いの子で応援アブリ「母子モモ」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
他の地域や他の県がいるが、お子がいる家庭を応援することができるアノリです。	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な教育・保育」 の利用希望についてうかがいます

問19 お子さんの土曜日と曜日・日曜日、「定期的な教育・保育」の利用希望はありますか
(-一時的な利用は除きます)。【〇は1つだけ】

また、希望がある場合は、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

*「教育・保育」とは、認定こども園(幼稚園も含む)、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、我慢・加入による預り料は含みません。

*利用希望がある場合は、利用したい時間帯を24時間帯でご記入ください。

*これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。(調査日現在)

(1) 土曜日

1. 利用する必要ない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい ⇒ 時～ 時まで ⇒ 「3.」は問19-1へ

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要ない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい ⇒ 時～ 時まで ⇒ 「3.」は問19-1へ

13

問19の(1) もしくは(2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」に〇をつけた方にうかがいます。

問19-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【〇はあてはまるものすべて】

1. 月に数回行事に入るため
2. 平日には使せられない用事をまとめて演ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. リフレッシュのため
5. その他 ()

問19の(2) もしくは(3)で、「3. 月に1～2回は利用したい」に〇をつけた方にうかがいます。
⇒ 該当しない方は、問21へ

問20 実名の子供さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の「教育・保育」の利用を希望しますか。【〇は1つだけ】

また、希望がある場合は、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

*時間(時刻)は、24時間帯でご記入ください。

*なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい ⇒ 利用したい時間帯
 時～ 時 ⇒ 「3.」は問20-1へ
3. 休みの期間中、週に数回利用したい

問20で、「3. 休みの期間中、週に数回利用したい」に〇をつけた方にうかがいます。

問20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。【〇はあてはまるものすべて】

1. 週に数回仕事を入るため
2. 買い物等の用事をまとめて演ませるため
3. 親族、親族の介護や手伝いが必要なため
4. リフレッシュのため
5. その他 ()

お子さんの病気の際の対応についてうかがいます

(平日の教育・保育を利用する方のみ)

平日の「定期的な教育・保育」を利用していると答えた保護者の方(問14で「1. 利用している」に〇をつけた方)にうかがいます。
⇒ 利用していない方は、問22へ

問21 この1年間、お子さんが病気やケガで保育園や認定こども園(幼稚園も含む)などの利用がでなかっただけではありませんか。【〇は1つだけ】

1. あった → 問21-1へ
2. なかった → 問22へ

問21で「1. あった」に〇をつけた方にうかがいます。

問21-1 この1年間に、お子さんが病気やけがで教育・保育の事業が利用できなかった場合に行つた対処方法はどのようなことですか。【〇はあてはまるものすべて】

また、その日数は毎日何日を合計であります。

*平日程度の場合は1日1日を数えます。

1年間の対処方法	日数	→ 問21-2へ
1. 父親が休んだ	<input type="text"/>	日数度
2. 母親が休んだ	<input type="text"/>	日数度
3. (両親を含む)概ね、如に子どもをみてもらつた	<input type="text"/>	日数度
4. 父親又は母親のうち就労していない方(子どもを見た)	<input type="text"/>	日数度
5. フリーラン・リバート・センターを利用した	<input type="text"/>	日数度
6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/>	日数度
7・認定保育「ひひひまはる」を利用してした	<input type="text"/>	日数度
8. その他 ()	<input type="text"/>	日数度

*1 病児保育「ひひひまはる」の利用には、子育て支援課で事前登録が必要となり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。また、一定の利用料がかかります。

*対象年齢：生後6ヶ月～4歳未満まで、保育料：月～金、8時～18時まで

問21-1で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」のいずれかに〇をつけた方にうかがいます。

問21-2 その様、「できれば病院・幼稚園のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。

【〇は1つだけ】

また、その場合の日数はどれくらいありますか。数字でご記入ください。
※病院・病児保育のための事業の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病院・病児保育施設等を利用したい ⇒ 日 ⇒ 問21-3へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問21-4へ

14



問21-2で「1. できれば病院・病後児育施設を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問21-3 上記の理由で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。【○はあてはまるものすべて】

1. 他の施設（例：認定こども園（幼稚園も含む）・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業

2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業

3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
(例：ファミリー・サポート・センター等)

4. その他 ()

問21-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問21-3 もう思われる理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 病気の子を他人に看護してもらうのは不安

2. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない

3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない

4. 利用料がかかる・高い 5. 利用料がわからない

6. 親が仕事を休んで対応する 7. その他 ()

問21-1で「3.」から「8.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問21-5 その際、「できれば父母のいすれかが仕事を休んで看病したい」と思いましたか。

【○は1つだけ】

また、その場合は日数はどれくらいありますか。数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看病したい → [] 日 → 問22へ

2. 休んで看病することは非常に難しい → 問21-6へ

問21-5で「2. 休んで看病することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問21-6 そう思われる理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 子どもの看病を理由で休みがとれない 2. 自営業なので休みない

3. 休暇日数が足りないので休みない 4. その他 ()

お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます

問22 お子さんについて、日中の定期的な医療や宿泊のため以外に、私用、娘の陪護、不定期の就労、育児等の目的で一日勝手に用いている事業はありますか。【○はあてはまるものすべて】

また、それぞれの日数を数字でご記入ください。

利用している事業	日数(年間)	→ 問23へ
1. 一時預かり（保育園など／一時的に子どもを保育する事業）	[] 日	
2. 認定こども園（幼稚園も含む）の預かり保育（通常の預かり・保育のうえ、不定期に利用する場合のみ）	[] 日	
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	[] 日	
4. ショートステイ（短期入所・生活援助事業） (一時的にこどもを宿泊へ預けさせ、食事・保護する事業)	[] 日	
5. トライアゴンクラブ（夜间改善各種事業） (施設で夜間、こどもを預け・保護する事業)	[] 日	
6. ベビーシッター	[] 日	
7. その他 ()	[] 日	
8. 利用していない		→ 問22-1へ

問22で「8. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問22-1 現在利用していない理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

1. 特に利用する必要がない 2. 利用したい事業が地域にない

3. 事業の質に不満がある

4. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない

5. 利用料がかかる・高い

6. 利用料がわからない

7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない

8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない

9. その他 ()

問23 お子さんについて、私用、娘の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用す
る必要があると思いますか。【○は1つだけ】

また、その目的はですか。【○は1つ～5のうちあてはまるものすべて】

必須な年間の日数を数字でご記入ください。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい → 問23-1へ	年間計 [] 日
①. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や娘の習い事等）、リフレッシュ目的	[] 日
②. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や娘の通院等	[] 日
③. 不定期の就労	[] 日
④. 育児休暇、育児疲れ	[] 日
⑤. その他の ()	[] 日

問23で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問23-1 問23の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いませんか。

【○はあてはまるものすべて】

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：認定こども園（保育園、幼稚園も含む））

2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：つどいの広場での一時預かり等）

3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業
(例：ファミリー・サポート・センター等)

4. その他 ()

問24 保険費の前用（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹を含む）の育児疲れや育児不安、病気など）、
により迫切で一日何日くらいの家事以外に預ける必要があると思いますか。短時間の生活援助
援助事業（ショートステイ）（定期預かり施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望
はありますか。【○は1つだけ】

また、その理由は何ですか。【○は1つ～4のうちあてはまるものすべて】

必要な年間の日数を数字でご記入ください。

※なお、半額の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	年間計 [] 泊
①. 正規勤務	[] 泊
②. 保護者や家族の育児疲れ・不安	[] 泊
③. 保護者や家族の病気	[] 泊
④. その他 ()	[] 泊

2. 利用する必要はない

お子さんが5歳以上の方に、
小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます※先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。
お子さんが5歳未満の方は、問29へ問25 お子さんは、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間を
どのような場所で過ごさせたいと思いますか。【○はあてはまるものすべて】

また、それぞれ希望する1週あたりの日数を数字でご記入ください。

※1. 放課後児童クラブ（学童保育）の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週 [] 日
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 [] 日
3. 遊び場（ピザノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 [] 日
4. 保育園で園内と一緒に小学校低学年生を預 かるサービス	週 [] 日
5. 放課後児童クラブ（学童保育）*	週 [] 日
6. 放課後子ども教室**	週 [] 日
7. ファミリー・サポート・センター	週 [] 日
8. その他（公園、公園など）	週 [] 日

※1 放課後児童クラブ…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭に
いない場合などに、預かる下で、子どもの生活の場を提供する施設です。また、一定の利用料がかかります。

※2 放課後子ども教室…専門の方の指導を受けて、放課後や平日午後や公休日などで預、スポーツ、文化芸術活動などをできる場所です。保護者が就労等で預かる場合わらず、すべての学年が利用できます。鹿児島市では、道子町小学校区・丸山小学校区・鹿児島市立小学校区・鹿児島市立中学校区で実施しています。

問26 お子さんは、小学校高学年（4～6年生）になら、放課後（平日の小学校終了後）の時間
をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。【○はあてはまるものすべて】

また、それぞれ希望する1週あたりの日数を数字でご記入ください。

※1.4. 放課後児童クラブ（学童保育）の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週 [] 日
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 [] 日
3. 遊び場（ピザノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 [] 日
4. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 [] 日
5. 放課後子ども教室	週 [] 日
6. ファミリー・サポート・センター	週 [] 日
7. その他（公園、公園など）	週 [] 日

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

飯田市



問25 または問26で「放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問29へ

問27 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

【〇はそれぞれ1つだけ】 また、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

※事業の利用には、一定の料金がかかります。

(1) 土曜日の利用希望

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯
□ 時～□ 時

(2) 日曜・祝日の利用希望

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯
□ 時～□ 時

問28 お子さんの直体・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

【〇は1つだけ】 また、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

※事業の利用には、一定の料金がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯
□ 時～□ 時

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など 職場の両立支援制度についてうかがいます

※ここからは父親、母親について追跡が渋る場合、それぞれについてお答えください。
ひとり親世帯の場合、該当する方のみお答えください。

問29 現在、国には下記のような職場での支援制度がありますが、ご存じでしたか。

【〇は1つだけ】

1. 育児休業制度、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業制度のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 司会者発表、保険料免除のいずれも知らない

*1 「育児休業給付」：雇用契約における厚生の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳)に予め定期的に休暇(休業)が支給される仕組み

*2 「育児扶助金」：子どもが前3歳(満3歳)までの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間取扱の育児休業に半する場合)期間について扶助金及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み

20

問30 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

【〇はそれぞれ1つだけ】

母親	父親
1. 働いていなかった ⇒ 間31へ	1. 働いていなかった ⇒ 間31へ
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である) ⇒ 間30-2へ
3. 取得していない	3. 取得していない ⇒ 間30-1へ

問30で「3. 取得していない」に○をつけた方にうかがいます。

問30-1 育児休業を取得していない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

母親	父親
1. 職場に育児休業を取りにくい環境があつた	1. 職場に育児休業を取りにくい環境があつた
2. 仕事を忙しかつた	2. 仕事を忙しかつた
3. (産後)に仕事に早く復帰したかった	3. 仕事に戻るのが難しそうだった
4. 仕事を忙しそうだった	4. 異常・異常なことが遅しそうだった
5. 入収減となり、経済的に苦しくなる	5. 入収減となり、経済的に苦しくなる
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園などが受けられなかった	7. 保育園などが受けられなかった
8. 保育園が育児休業制度を利用した	8. 保育園が無理、詰迫(詰迫)の範囲(ひろひめい)してもらえないなど、制度を利用する必要がなかった
9. 保育園が無理、詰迫の範囲(ひろひめい)してもらえないなど、制度を利用する必要がなかった	9. 子育てや家庭に専念するため退職した
10. 職場に育児休業の制度がなかった	10. 職場に育児休業の制度がなかった(職場規則に載らなかった)
11. 有無用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	11. 有無用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
12. 育児休業中の職場の待遇を取扱うことを知らない	12. 育児休業を取得できることを知らない
13. 産後数ヶ月(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	13. その他()
14. 産後数ヶ月(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	13. その他()

問30で「2. 取得した(取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。

問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(〇は1つだけ)

母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である	2. 現在も育児休業中である ⇒ 間30-3へ
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した ⇒ 間31へ

21

問30-3で「問30-5は、 問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、初度初めての育児休業に入所に合わせたタイミングでした。

あるいはそれ以外でしたか。(〇は1つだけ)

※年度最初での育児休業に入所を希望して、1月～2月掛けて一時期に該当の育児休業所に入所した場合は「1」にあてはまります。また、年度途中での入所を希望して離職したが、実際に希望する所に入所できなかったという場合は「1」を選択してください。

母親	父親
1. 年度最初の入所に合わせたタイミングだった	1. 年度最初の入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

問30-4 育児休業から、「実績」にあてはまる方が何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、勤務中の育児休業の期間の割合内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったです。

※数字で記入ください。

母親	父親
実績の取得期間 □歳 □ヶ月	実績の取得期間 □歳 □ヶ月
希望 □歳 □ヶ月	希望 □歳 □ヶ月

問30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休職を取得できる制度があった場合、

「希望」としてあてはまる人が何歳何ヶ月のときまで取りたかったです。

※数字で記入ください。

母親	父親
□歳 □ヶ月	□歳 □ヶ月

問30-4で実績の場所と希望が異なる方にうかがいます。

問30-5 希望の時期に職場復帰しなかったのは、どのような理由からですか。

(1)「希望」より早く復帰した方(〇はあてはまるものすべて)

母親	父親
1. 希望する保育園に入らなかったため	1. 希望する保育園に入らなかったため
2. 価格や家族の希望があったため	2. 価格や家族の希望があったため
3. 経済的理由で早く復帰する必要があったため	3. 経済的理由で早く復帰する必要があったため
4. 人気争奪や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人気争奪や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他()	5. その他()

(2)「希望」より遅く復帰した方(〇はあてはまるものすべて)

母親	父親
1. 希望する保育園に入れなかったため	1. 希望する保育園に入れなかったため
2. 自由や子どもなどの純粋な想いで遅くなかったため	2. 自由や子どもなどの純粋な想いで遅くなかったため
3. 価格や家族の希望があったため	3. 価格や家族の希望があったため
4. 戦場の受け入れ施設が整っていないかったため	4. 戦場の受け入れ施設が整っていないかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他()	6. その他()

問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問30-7 育児休業取得後、職場で利用しましたか。(〇は1つだけ)

母親	父親
1. 利用する必要がなかった	1. 利用する必要がなかった
(フルタイムで働いたかった、もともと短時間勤務だった)	(フルタイムで働いたかった、もともと短時間勤務だった) ⇒ 間31へ
2. 利用したかったが、利用しなかった	2. 利用したかったが、利用しなかった
(利用できなかった)	(利用できなかった) ⇒ 間30-8へ
3. 利用した	3. 利用した

問30-8で「2. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方にうかがいます。

問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。

【〇はあてはまるものすべて】

母親	父親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい環境があつた	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい環境があつた
2. 仕事を忙しかつた	2. 仕事を忙しかつた
3. 短時間勤務制度による給与が懸念され、経済的に苦しくなる	3. 短時間勤務制度による給与が懸念され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務制度による保育園の入園申請の複雑さが下がる	4. 短時間勤務制度による保育園の入園申請の複雑さが下がる
5. 利用した	5. 利用した
6. 配偶者が無理、祖父母等の家族にめでもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	6. 配偶者が無理、祖父母等の家族にめでもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家庭に向きづらいと離職した	7. 子育てや家庭に向きづらいと離職した
8. 戦場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	8. 戦場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らない	9. 短時間勤務制度を利用できることを知らない
10. その他()	10. その他()

問30-2で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問30-9 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業(保育園への入所等)があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があつても1歳になる前に使用しますか。(〇は1つだけ)

母親	父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になる前に復帰したい



すべての方に、その他のことについてうかがいます

問31 子育て中の両立方として希望するスタイルはどれですか。【〇は1つだけ】

1. フルタイム勤務	2. パート・アルバイト・短時間勤務
3. 白昼またはこれから起業する	4. リモートワーク、テレワーカー
5. 資格取得や学び直して復職を目指す	6. 育児に専念する
7. 配偶者（パートナー）に育児をまかせて働く	8. 特に考えていない、わからぬ

問32 岐阜市では、児童手当に関する手続き、認定こども園入所に関する手続きについて、マイナンバーカードを使ってオンラインで手続きができます。このことを知っていますか。【〇は1つだけ】

1. 知っています、利用したことがあります	2. 知っているが、利用したことがない
3. 知っているが、利用したいと思わない	4. 知らなかつたが、今後利用したいと思う
5. 知らなかつたし、利用したいと思わない	

問33 市子育てに関する情報などをどのように入手していますか。【〇は2つまで】

1. 市役所の窓口	2. 乳幼児健診	3. つどいの会場
4. ゆいきば	5. 認定こども園・保育園	6. 学校
7. かかりつけ医や病院	8. 施由市子育てネット	9. いいだ子育て応援アプリ
10. 新聞	11. タウン誌	12. みんな子育てナビ(冊子)
13. 岐阜市公式LINE	14. その他()	
15. わからぬ		

問34 子育てにおいて、大切にしていることは何ですか。【〇は3つまで】

1. 規則正しい生活習慣を身につけること	2. あいさつやお礼をきちんと言えること
3. 他人に迷惑をかけないようにすること	4. 善悪の判断をつけること
5. 栄養バランスをついた食事をとること	6. のものを大切にすること
7. のびのびと育て、自主性や個性・個性を伸ばすこと	
8. その子にあった学習をさせること	
9. 犯強以外のスポーツや芸術のことで才能を伸ばすこと	
10. 家族や他人を Asi やり、やさしくすること	11. 高い学習能力を身につけること
12. その他()	

24

問35 お子さんと一緒に過ごす中で心掛けていることは何ですか。【〇はあてはまるものすべて】

1. 規則正しい生活	2. 子どもの会話
3. ルール決め（ゲームやスマホ、TV等の時間など）	
4. 離婚で一緒にできるスポーツや趣味	5. 無理しやすい学習環境
6. 家庭での手伝い	7. 危険な場所に近寄らせない
8. その他()	

問36 子育てに関して不安感や負担感を感じることはありますか。【〇は1つだけ】

1. ある	2. ない
-------	-------

問37 子育てに関して、日常生活していること、気になることはどのようなことですか。【〇はあてはまるものすべて】

1. 病気や発育・発達に関すること	2. 食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからない	4. 子どもの接し方に自信が持てない
5. 子どもの時間管理が十分にとれない	6. 話し相手や相談相手がない
7. 仕事や自分のやりたいことが十分できない	8. 子どもの教育に関すること
9. 友だちづき（いじめ等を含む）に関すること	10. 子育てに関して家族の暴力が少ない
11. 登校拒否・不登校などに関すること	
12. 家庭と子育てに関する意見が合わない	
13. 自分の子育てについて、隣族・近隣の人・教師などの周りの見る目が気になる	
14. 家族以外に子育てを手伝ってくれる人がいない	
15. 子育てにかかる費用が家計の負担となっている	
16. 子どもを守りすぎているような気がする	
17. 子育てのストレスがためてしまい、育児に支障がでることがある	
18. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからない	
19. その他()	
20. 特にない	

問38 あなたは、これまでの子育ての中で次のようなことがあったり、思ったりしたことありますか。【〇～◎のいずれかについて、〇は1つだけ】

① こどものしつけのために、は親ぐこも必要だ	あてはまる	どちらかどいど	どちらかどいど	あてはまらない
② こどもの目前で夫婦喧嘩をすることがある	1	2	3	4
③ こどもだけで留守番させることがある	1	2	3	4

25

問39 次のことについて、もっとも多いと思うものはどれですか。
【〇は1つだけ】

① 地域の行事等に参加していますか。

1. よく参加している	2. 程々参加している
3. あまり参加していない	4. まったく参加していない

② お子さんとの違う園の行事（授業参観や運動会など）に参観していますか。

1. よく参加している	2. 程々参加している
3. あまり参加していない	4. まったく参加していない
5. 通薦していない	

③ 同郷している家族との間で、子育てや子どもの教育についてよく話をしますか。

1. よく話す	2. 程々話す	3. あまり話さない
4. まったく話さない	5. 他に大人っぽい	

お子育てへの支援や子育ての実践を継続するために、地域の人々はお互いに協力することがほしいと思いますか。

1. そう思う	2. ややそう思う	3. どちらとも言えない
4. あまりそう思わない	5. そう思わない	

問40 あなたは、ご家庭の経済の状況をどのように感じますか。【〇は1つだけ】

1. お金がない	2. やや苦しい	3. 苛酷
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	

問41 あなたの家庭では、完名のお子さんが生まれてから現在までの間に、経済的な理由による料金割引のために、電気、ガス、水道のいずれかを止められたことがありますか。
【〇は1つだけ】

1. あった	2. なかった	3. 分からない
--------	---------	----------

問42 地域に、ボランティア等による無料で勉強をみててくれる場所があつたら、将来的に完名のお子さんをお見せたいと思いまいか。【〇は1つだけ】

1. 参加させてたい	2. 参加させてたくない	3. わからない
------------	--------------	----------

問43 地域に、遅に参加してあったり食事を食べるなど交渉するこどもの居場所「こども食堂」があつたら、参加させてたいと思いまいか。【〇は1つだけ】

1. 飲干で参加したい	2. 子どもだけで参加させたい
3. 参加させたくない	4. わからない

26

問44 岐阜市における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。【〇は1つだけ】

1. 满足度が低い	2. やや満足度が高い
3. ふう	4. やや満足度が低い
5. 満足度が高い	

問45 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関するご意見がございましたら、自由にご記入ください。

調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

同封の封筒（切手不要）に入れ、
3月25日（月）までに郵便ポストへ投函をお願いします。

27



2 小学生保護者の調査票

小学生の保護者の方へ

子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査票

〔調査ご協力のお願い〕

皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本市では、「子ども・子育て支援法」に基づき、令和2年3月に「第2期飯田市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、様々な子育て支援事業に取り組んでいます。

この度、令和7年からの第3期（令和7～11年度）計画を策定するにあたり、保護者の方の子育て状況、ご要望や意見、利用ニーズ等を把握するため、アンケート調査のご協力をお願いするものです。

本調査は匿名で行い、ご本人が特定されることはありません。平塗なご意見をご記入ください。調査結果は、統計的に整理し、調査の目的以外に使用することはありません。

設問数が多く、ご負担をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力いただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

飯田市長 佐藤 健

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートは封筒の宛名のお子さんについて、保護者が方のご記入ください。
- 選択肢がある場合は、番号を記入で選んでください。
3. 年齢や勤務時間（時刻）をご記入いただく質問は、枠内に具体的な数字をご記入ください。
また、時間については24時間制で記入ください。
記入例：午後6時 → 18時
4. 設問によっては回答いただく方が限られている場合がありますので、こだわり書きや矢印に従ってお答えください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。

■インターネットでの回答

パソコン、スマートフォン又はタブレットのいずれかを用いて、下記のURL又は右下のQRコードを読み取りアクセスし、画面の案内に従って下記のID・パスワードを入力し、質問項目にお答えください。調査票を返送していただく必要はありません。

※英数字は二重意味を含むもので、他人を特定するものではありません。

(URL) <https://wsurvey.jp/s.php?clear=1&a=11a-11a-222>

QRコード

※回答を中断した場合は再度QRコードを読み取り、上記のID・パスワードを入力し、再開してください。

■ご質問にあたっての不明な点や調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

飯田市子育て支援課 電話 0265-22-4511（内線 5346）

いただいたご回答は、飯田市の子育て支援の充実に活かします

The diagram illustrates the process: After filling out the survey (調査票を提出), the information is sent to the '飯田市社会福祉審議会 活動振込分科' (Meito City Social Welfare Committee Activity Contribution Sub-Committee). This committee then uses the information to create the '飯田市第二期子育て支援プラン' (Meito City Second Period Childcare Support Plan). The plan is used to improve child support measures (子育て支援の充実) and is also used to create the '飯田市第二期子育て支援プラン' (Meito City Second Period Childcare Support Plan).

お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの地区はどこですか。【〇は1つだけ】

1. 桜北	2. 桜南	3. 羽場	4. 丸山	5. 束野
6. 宝光寺	7. 松尾	8. 下久堅	9. 上久堅	10. 千代
11. 鹿江	12. 産丘	13. 川路	14. 三様	15. 山本
16. 伊賀良	17. 鶴	18. 上郷	19. 上村	20. 由信瀬

問2 お子さんの学年を教えてください。【〇は1つだけ】

1. 1年生	2. 2年生	3. 3年生
4. 4年生	5. 5年生	6. 6年生

問3 完名のお子さんのさうたいは個人ですか。
※複数のお子さんを始めた数を数字で記入ください。
※「14. 4人以上」に○をつけた方は、具体的な人数を数字でご回答ください。

1. 1人	2. 2人
3. 3人	4. 4人以上 () 人

問4 この調査票にご回答いただいた方はどなたですか。完名のお子さんからみた関係でお答えください。【〇は1つだけ】

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問5 この御歴史にご回答いただいたいる方の配偶者の有無についてお答えください。【〇は1つだけ】

1. 配偶者がいる	2. 配偶者がない
-----------	-----------

問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。【〇は1つだけ】
※お子さんからみた関係でお答えください。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親
4. 主に祖父母	5. その他 ()	

お子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問7 口頭、お子さんをみてもらえる親族・友人はいますか。【〇はあてはまるものすべて】

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	⇒ 問7-1へ
2. 祖父もしくは用事の際に祖父母等の親族にみてもらえる	
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	
4. 祖父もしくは用事の際に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	
5. いずれもいない ⇒ 問8へ	

問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

問7-1 祖父等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる

1. 祖父等の親族の身体的・精神的な負担が大きく心配である

3. 祖父等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい

5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある

6. その他 ()

問7で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

問7-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
【〇はあてはまるものすべて】

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的・精神的な負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問8 お子さんの子育て（教育を含む）をするうえで、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所はありますか。【〇は1つだけ】

1. いる／ある ⇒ 問8-1へ	2. ない／ない ⇒ 問9へ
------------------	----------------

問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問8-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
【〇はあてはまるものすべて】

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人	3. 近所の人
4. 子育て支援施設（つどいの広場）	5. 飯田市こども家庭課（くいきっす）	
6. 保健センター（保健師）	7. 地区の保健師	
8. 学校の先生	9. 士官児童委員・民生児童委員	
10. かかりつけの医師	11. 子育て問題担当窓口	
12. その他 ()		

問9 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと考えでしょうか。自由にご記入ください。



<p>お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます</p> <p>母親についてうかがいます ※父方家庭の場合は、記入不要です。⇒問11へ</p> <p>問10 現在の就労（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。【〇は1つだけ】</p> <p>※就労日数と1日当たりの就労時間によって、フルタイムかパート・アルバイトかを選択してください。</p> <p>1. フルタイム（「1週5日程度・1日8時間程度」で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない）</p> <p>2. フルタイム（「1週5日程度・1日8時間程度」で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である）</p> <p>3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない</p> <p>4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である</p> <p>5. 以前は就労していたが、現在は就労していない</p> <p>6. これまで就労したことない</p> <p>⇒問10-1へ</p> <p>⇒問10-4へ</p> <p>問10で「1」～「4」（就労している）に〇をつけた方にうかがいます。</p> <p>問10-1 以下の（1）、（2）の設問にお答えください。</p> <p>（1）1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）を□□に数字でご記入ください。</p> <p>※日数や時間が一定でない場合ははもともと多いターンをお答えください。 ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。</p> <p>（2）家を出る時刻と帰宅時刻を、□□に数字でご記入ください。</p> <p>※時間が一定でない場合ははもともと多いターンをお答えください。 ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。 ※時刻は、24時間制【例】09時頃、18時頃のようにご記入ください。</p> <p>家を出る時刻 : □□ 時頃 帰宅時刻 : □□ 時頃</p> <p>問10で「1」～「4」（就労している）に〇をつけた方にうかがいます。</p> <p>問10-2 仕事を子育ての両立について保護者の方はどのような状況ですか。【〇は1つだけ】</p> <p>1. 仕事を優先している 2. やむをえず子育てより仕事を優先している 3. 仕事を子育ての両立を図るよう努めている 4. やむをえず仕事より子育てを優先している 5. 子育てを優先している 6. その他（ ）</p> <p>問10で「1」～「4」（就労している）に〇をつけた方にうかがいます。</p> <p>問10-3 フルタイムへの転換希望はありますか。【〇は1つだけ】</p> <p>1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）での就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家庭に専念したい</p> <p>問10で「1」または「6」（就労していない）に〇をつけた方にうかがいます。</p> <p>問10-4 就労したいという希望はありますか。【〇はそれぞれ1つだけ】</p> <p>また、該当する箇所に数字をご記入ください。</p> <p>1. 子育てや家庭などに専念したい（就労の予定はない） 2. 1年より先、一番下の子どもが □□ 歳になったころに就労したい 3. すぐでも、もしくは1年以内に就労したい ⇒希望する就労形態 (1) フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） (2) パートタイム・アルバイト等（(1)以外） →1週当たり □□ 日程度 1日当たり □□ 時間程度</p>	<p>問10で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に〇をつけた方にうかがいます。</p> <p>問11 現在の就労（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。【〇は1つだけ】</p> <p>1. フルタイム（「1週5日程度・1日8時間程度」で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない）</p> <p>2. フルタイム（「1週5日程度・1日8時間程度」で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である）</p> <p>3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない</p> <p>4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である</p> <p>5. 以前は就労していたが、現在は就労していない</p> <p>6. これまで就労したことない</p> <p>⇒問11-1へ</p> <p>⇒問11-4へ</p> <p>問11で「1」～「4」（就労している）に〇をつけた方にうかがいます。</p> <p>問11-1 以下の（1）、（2）の設問にお答えください。</p> <p>（1）1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）を□□に数字でご記入ください。</p> <p>※日数や時間が一定でない場合ははもともと多いターンをお答えください。 ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。</p> <p>（2）家を出る時刻と帰宅時刻を、□□に数字でご記入ください。</p> <p>※時間が一定でない場合ははもともと多いターンをお答えください。 ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。 ※時刻は、24時間制【例】09時頃、18時頃のようにご記入ください。</p> <p>家を出る時刻 : □□ 時頃 帰宅時刻 : □□ 時頃</p> <p>問11で「1」～「4」（就労している）に〇をつけた方にうかがいます。</p> <p>問11-2 仕事を子育ての両立について保護者の方はどのような状況ですか。【〇は1つだけ】</p> <p>1. 仕事を優先している 2. やむをえず子育てより仕事を優先している 3. 仕事を子育ての両立を図るよう努めている 4. やむをえず仕事より子育てを優先している 5. 子育てを優先している 6. その他（ ）</p> <p>問11で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に〇をつけた方にうかがいます。</p> <p>問11-3 フルタイムへの就労希望はありますか。【〇は1つだけ】</p> <p>1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）への就労希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）での就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家庭に専念したい</p> <p>問11で「5」または「6」（就労していない）に〇をつけた方にうかがいます。</p> <p>問11-4 就労したいという希望はありますか。【〇はそれぞれ1つだけ】</p> <p>また、該当する箇所に数字をご記入ください。</p> <p>1. 仕事をや家庭などに専念したい（就労の予定はない） 2. 1年より先、一番下の子どもが □□ 歳になったころに就労したい 3. すぐでも、もしくは1年以内に就労したい ⇒希望する就労形態 (1) フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） (2) パートタイム・アルバイト等（(1)以外） →1週当たり □□ 日程度 1日当たり □□ 時間程度</p>
--	---

<p>問11で「1」～「4」（就労している）に〇をつけた方にうかがいます。</p> <p>問12 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校に行くことができなかっことはありますか。【〇は1つだけ】</p> <p>1. あつた ⇒問12-1へ 2. なかつた ⇒問12-2へ</p> <p>問12で「1」、「あつた」に〇をつけた方にうかがいます。</p> <p>問12-1 この1年間に、お子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどのようなことですか。【〇はあつてまるものすべて】</p> <p>また、その回数は毎回何回ですかで数字でご記入ください。</p> <p>※半日程度の場合1と記入します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left;">1年間での対処方法</th> <th style="text-align: right;">回数</th> </tr> <tr> <td>1. 父親が休んだ</td> <td style="text-align: right;">日程度</td> </tr> <tr> <td>2. 母親が休んだ</td> <td style="text-align: right;">日程度</td> </tr> <tr> <td>3. (両親者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった</td> <td style="text-align: right;">日程度</td> </tr> <tr> <td>4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた</td> <td style="text-align: right;">日程度</td> </tr> <tr> <td>5. ファミリー・サポート・センターを利用した</td> <td style="text-align: right;">日程度</td> </tr> <tr> <td>6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた</td> <td style="text-align: right;">日程度</td> </tr> <tr> <td>7. 病院休業「ひきこまはるる」を利用して</td> <td style="text-align: right;">日程度</td> </tr> <tr> <td>8. その他（ ）</td> <td style="text-align: right;">日程度</td> </tr> </table> <p>※1 病院休業「ひきこまはるる」の利用には、子育て支援課で事前登録が必要となり、利用前にかかりつけ医の診察が必要となります。また一定の利用料がかかります。</p> <p>対象年齢：生後6ヶ月～小学校6年生まで、保育料料：月～金、8時～18時まで</p> <p>問12-1で「1」、「父親が休んだ」または「2」、「母親が休んだ」のいずれかに〇をつけた方にうかがいます。</p> <p>問12-2 その際、「できれば病院・病後児のための医療施設等を利用したい」と思いましたか。【〇は1つだけ】</p> <p>また、その場合の日数はどれくらいありますか。数字でご記入ください。</p> <p>1. できれば病院・病後児のための医療施設等を利用したい ⇒ □□ 日 ⇒問12-3へ 2. 利用したいとは思わない ⇒問12-4へ</p>	1年間での対処方法	回数	1. 父親が休んだ	日程度	2. 母親が休んだ	日程度	3. (両親者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	日程度	4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	日程度	5. ファミリー・サポート・センターを利用した	日程度	6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日程度	7. 病院休業「ひきこまはるる」を利用して	日程度	8. その他（ ）	日程度	<p>問11で「1」～「4」（就労している）に〇をつけた方にうかがいます。</p> <p>問12 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校に行くことができなかっことはありますか。【〇は1つだけ】</p> <p>問12-1で「1」、「父親が休んだ」または「2」、「母親が休んだ」のいずれかに〇をつけた方にうかがいます。</p> <p>問12-2 その際、「できれば病院・病後児のための医療施設等を利用したい」と思いましたか。【〇は1つだけ】</p> <p>また、その場合の日数はどれくらいありますか。数字でご記入ください。</p> <p>1. できれば病院・病後児のための医療施設等を利用したい ⇒ □□ 日 ⇒問12-3へ 2. 利用したいとは思わない ⇒問12-4へ</p>
1年間での対処方法	回数																		
1. 父親が休んだ	日程度																		
2. 母親が休んだ	日程度																		
3. (両親者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	日程度																		
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	日程度																		
5. ファミリー・サポート・センターを利用した	日程度																		
6. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日程度																		
7. 病院休業「ひきこまはるる」を利用して	日程度																		
8. その他（ ）	日程度																		

飯田市



問12-2で「1.できれば病院・病後児童施設を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問12-3 上記の理由で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。【○はあてはまるものすべて】

- 1. 小児科に通院した際は子どもを保育する事業
- 2. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
- 3. その他 ()

問12-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問12-4 そう思われる理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

- 1. 病院の子育て人に看護してもらうのは不安
- 2. 地域の事業の質に不安がある
- 3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・料金など）がよくない
- 4. 利用料がかかる・高い
- 5. 利用方法がわからない
- 6. 親の仕事を休んで対応する
- 7. その他 ()

問12-1で「3.」から「8.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問12-5 その頃、「できれば父兄のいずれかが仕事を休んで看病したい」と思いましたか。

【○は1つだけ】

- また、その場合の日数はどれくらいありますか。数字でご記入ください。
- | |
|-----------------------------------|
| 1. できれば仕事を休んで看病したい ⇒ [] 日 ⇒ 問13へ |
| 2. 休んで看病することは非常に強い ⇒ 問12-6へ |

問12-5で「2. 休んで看病することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問12-6 そう思われる理由は何ですか。【○はあてはまるものすべて】

- 1. 子どもの看病を理由に休みがとれない
- 2. 自由度などで休めない
- 3. 休暇回数が足りないので休めない
- 4. その他 ()

お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます

問13 お子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。

【○はあてはまるものすべて】

また、それだけ1週あたりの日数を数字でご記入ください。

※「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用している時間も数字でご記入ください。

- | | | |
|----------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| 1. 自宅 | <input type="checkbox"/> 曜日 | 日くらいい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | <input type="checkbox"/> 曜日 | 日くらいい |
| 3. 著い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | <input type="checkbox"/> 曜日 | 日くらいい |
| 4. 放課後児童クラブ（学童保育） ⁽¹⁾ | <input type="checkbox"/> 曜日 | 日くらいい → [利用している時間] 下校時から [時台まで] |
| 5. 放課後子ども教室 ⁽²⁾ | <input type="checkbox"/> 曜日 | 日くらいい |
| 6. ファミリー・サポート・センター | <input type="checkbox"/> 曜日 | 日くらいい |
| 7. その他（公民館、公園など） | <input type="checkbox"/> 曜日 | 日くらいい |

※1 放課後児童クラブ・地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合など、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の費用には、一定的料金がかかります。

※2 放課後児童クラブ（学童保育）の場合は、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを実験する場所です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。飯田市では、近隣小学校区・丸山小学校区・東光寺小学校区・下久堅小学校区・幸町小学校で実施しています。

問14 お子さんについて、小学生のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごせたいと思いますか。【○はあてはまるものすべて】

また、それだけ希望する1週あたりの日数を数字でご記入ください。

※「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。

- | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|
| 1. 自宅 | <input type="checkbox"/> 曜日 | 日くらいい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | <input type="checkbox"/> 曜日 | 日くらいい |
| 3. 著い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | <input type="checkbox"/> 曜日 | 日くらいい |
| 4. 放課後児童クラブ（学童保育） | <input type="checkbox"/> 曜日 | 日くらいい → [利用する時間] 下校時から [時台まで] |
| 5. 放課後子ども教室 | <input type="checkbox"/> 曜日 | 日くらいい |
| 6. ファミリー・サポート・センター | <input type="checkbox"/> 曜日 | 日くらいい |
| 7. その他（公民館、公園など） | <input type="checkbox"/> 曜日 | 日くらいい |

問13または問14で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問11へ

問15 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

【○はあてはまるものすべて】

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日の利用希望

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | ⇒ 利用したい時間帯 |
| 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい | [] 時～[] 時 |
| 3. 利用する必要はない | |

(2) 日曜・祝日の利用希望

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | ⇒ 利用したい時間帯 |
| 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい | [] 時～[] 時 |
| 3. 利用する必要はない | |

問16 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

【○は1つだけ】

また、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 夏休みの利用希望

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | ⇒ 利用したい時間帯 |
| 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい | [] 時～[] 時 |
| 3. 利用する必要はない | |

問17 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

【○は1つだけ】

また、利用したい時間帯を数字でご記入ください。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(2) 冬休みの利用希望

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい | ⇒ 利用したい時間帯 |
| 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい | [] 時～[] 時 |
| 3. 利用する必要はない | |

すべての方に、その他のことについてうかがいます

問17 子育て中の抱き方として希望するスタイルはどれですか。【○は1つだけ】

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. フルタイム勤務 | 2. パート・アルバイト・短時間勤務 |
| 3. 自由またはこれから起業する | 4. リモートワーク、テレワーカー |
| 5. 資格取得や学びをして徹底自負 | 6. 育児に専念する |
| 7. 配偶者（パートナー）に育児をまかせて働く | 8. 特に考へていない、わからない |

問18 飯田市では、児童手当に関する手続き、認定こども医療等所に関する手続きについて、マイナンバーカードを使ってオンラインで手続きができます。このことを知っていますか。

【○は1つだけ】

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 知っていて、利用したことがある | 2. 知っているが、利用したことがない |
| 3. 知っているが、利用したいと思わない | 4. 知らなかったが、今後利用したいと思う |
| 5. 知らなかったし、利用したいと思わない | |

問19 市の子育てに関する情報をどのように入手していますか。【○は2つまで】

- | | | |
|---------------|---------------|-------------------|
| 1. 市役所の窓口 | 2. 乳幼児健診 | 3. つどいの広場 |
| 4. ゆいきず | 5. 認定こども医・保健園 | 6. 学校 |
| 7. かかりつけ医や病院 | 8. 飯田市子育てネット | 9. いいだ子育て応援アプリ |
| 10. 新聞 | 11. タウン誌 | 12. みんなで子育てナビ(任子) |
| 13. 飯田市公式LINE | 14. その他 () | |
| 15. わからない | | |

問20 子育てにおいて、大切にしていることは何ですか。【○は3つまで】

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 規則正しい生活習慣を身につけること | 2. あいさつやお礼をきちんと言えること |
| 3. 他人に迷惑をかけないようにすること | 4. 青春のや断をつけること |
| 5. 余裕に気をついた食事などとすること | 6. ものの大切にすること |
| 7. のびのびと育て、自主性や食欲、個性を伸ばすこと | 8. その子にあつた学習をさせること |
| 9. 勉強以外のスポーツや芸術の面で才能を伸ばすこと | 10. 家族や他人を想いや、やさしくすること |
| 11. 高い学習能力を身につけること | 12. その他の () |



問24 あなたは、これまでの子育ての中で次のようなことがあったり、思ったりしたことはありますか。【①～②のそれぞれについて、〇は1つだけ】				
	あてはまる	どちらかといふ あてはまる	どちらかといふ あてはまらない	あてはまらない
①こどもをしつけのためには 聞くことをめがけた	1	2	3	4
②子どもの目前で夫婦喧嘩を することがある	1	2	3	4
問25 次のことについて、もっとも近いと思うものはどれですか。 【①～④のそれぞれについて、〇は1つだけ】				
①地域の行事等に参加していますか。				
1. よく参加している	2. 時々参加している			
3. あまり参画していない	4. まったく参加していない			
②お子さんが通う学校の行事（授業参観や運動会など）に参加していますか。				
1. よく参加している	2. 時々参加している			
3. あまり参画していない	4. まったく参加していない			
③向いている家族との間で、子育てや子どもの教育についてよく話をしますか。				
1. よく話す	2. 時々話す	3. あまり話さない		
4. まったく話さない	5. 他に大人はない			
④子育てへの支援や子育ての課題を解決するために、地域の人々はお互いに協力することが望ましいと感じますか。				
1. そう思う	2. ややそう思う	3. どちらとも言えない		
4. あまりそう思わない	5. そう思わない			
問26 あなたは、ご家庭の家計の状況をどのように感じますか。【〇は1つだけ】				
1. 大変苦しい	2. やや苦しい			
3.普道	4. ややうどりがある			
5. 大変わらじがある				
問27 あなたのご家庭では、既名のお子さんが生まれてから現在までの間に、経済的な理由による料金削減のために、電気、ガス、水道のいずれかを止められたことがありますか。 【〇は1つだけ】				
1. あった	2. なかった	3. 分からない		

飯田市 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査結果報告書

発行日 令和6年3月

発行元 飯田市 健康福祉部 子育て支援課
〒395-0044

長野県飯田市本町1丁目15 飯田市役所りんご庁舎

TEL 0265-22-4511（代表） FAX 0265-53-8867

<https://www.city.iida.lg.jp/>